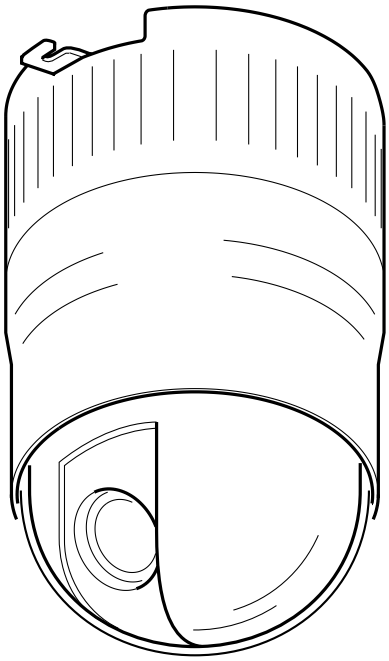
Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

コンビネーションカメラ（ドーム型）

型名 **TK-S625**

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの**「取扱説明書」**と別冊の**「安全上のご注意」**をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に**「安全上のご注意」**は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LWT0253-001A-H

はじめに

このたびはコンビネーションカメラ(ドーム型)TK-S625 を お買い上げいただきありがとうございます。

特 長

■昼夜監視可能
低照度時、IR カットフィルターの ON/OFF 切り換えによって自動的に高感度モード(白黒)に切り換えることができます。

■プライベートマスク機能搭載
撮影する場所に、映したくない場所がある場合、その部分を映さないよう設定することができます。

■光学ズーム
12 倍光学ズームレンズによって細かな監視が行えます。

■明るいズームレンズの採用
最大口径比 F1.6(WIDE 端)と明るいズームレンズの採用で、カラーモード 3.6 lx(AGC 20 dB, 50 %)の高感度を実現しています。

■同軸多重／ビデオ信号出力の両システムに対応
SW-2200/SW-2600, RM-P2200/RM-P2600, カメラコントロールユニット(CCU)を組み合わせた同軸多重システムに対応、またビデオ信号を直接カメラから出力することもできますのでCCUを使用しないシステムを組むことも可能です。

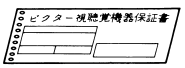
■高速回転台を装備
水平180˚／秒、垂直120˚／秒の高速回転台を装備していますので、あらかじめプリセットしたポジションをすばやく呼び出すことができます。

■高画質の実現
カメラは、高解像仕様38万画素、高感度型CCDを使用し、540本(TYP)、S/N50dBの高画質を実現しました。

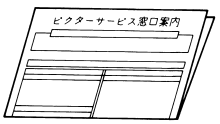
添付物・付属品

取扱説明書
(本紙)

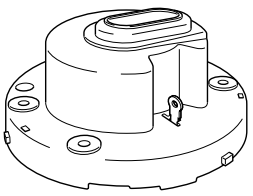
安全上のご注意



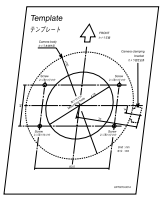
保証書



ビクターサービス
窓口案内



天井取付金具
(カバー付き)



テンプレート

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号

― ***MEMO*** ― 操作上の注意が書かれています。

ご注意 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞ 参考ページや参照項目を示しています。

もくじ

はじめに

特長 2
添付物・付属品 2
もくじ 3
安全上のご注意 4
正しくお使いいただくためのご注意 4
各部の名称とはたらき 6

接続・設置

システム接続例
・RM-P2200 のシステム 8
・RM-P2600 のシステム 9
・RM-P2580 のシステム 10
スイッチの設定 11
ケーブルの接続 14
天井取付金具の取り付け 17
カメラの取り付け 17

RM-P2200/RM-P2600 カメラの設定を変える

RM-P2200/RM-P2600

設定方法 19
メニュー画面の流れ 20
カメラ機能 1 画面 22
カメラ機能 2 画面 22
カメラタイトル／アラーム画面 23
カメラ ALC ／映像画面 24
夜間モード画面 25
オートパン / トレース画面 25
ホームポジション機能設定画面 27
ポジション映像（タイトル）設定画面 28
プライベートマスク設定 29
マニュアルパンリミット設定 30
カメラタイトル設定 32
エリア表示モード設定（タイトル） 33
エリア表示モード設定（方位） 34
リモコンアラームタイトル設定 35
オートパン設定 36
オートトレース設定 37
オートホワイトバランス調整 38
ホームポジションタイトル設定 39
プリセットポジションタイトル設定 40

RM-P2580 カメラの設定を変える

RM-P2580

設定方法 41
メニュー画面の流れ 42
カメラ機能 1 画面 44
カメラ機能 2 画面 44
カメラタイトル／アラーム画面 45
カメラ ALC ／映像画面 47
夜間モード画面 48
オートパン / パトロール / トレース画面 49
ポジション機能設定画面 50
データクリア画面 51
プライベートマスク設定 52
マニュアルパンリミット設定 53
カメラタイトル設定 55
エリア表示モード設定（タイトル） 56
エリア表示モード設定（方位） 57
リモコンアラームタイトル設定 58
オートパン設定 59
オートパトロール設定 60
オートトレース設定 61
ポジションタイトル設定 62

その他

故障かな？と思ったら 63
保証とアフターサービス 65
仕様 66

安全上のご注意

⚠警告

十分な強度を持った場所に取り付ける

本機は高速回転を行うため、振動や本機質量（約1.3 kg）などを考慮し、十分な強度を持った場所に取り付けてください。化粧合板、石膏ボード、ブラスターボードなど、天井材質に強度が足りない場合は補強材（ベニヤ合板など）を当てて補強してください。補強が不十分な場合は、振動のためモニター上で画ブレが発生したり、最悪の場合落下し、下に人がいた場合、重大な事故となる危険があります。

専用の取付金具で正しく取り付ける

必ず専用の取付金具を使用してください。落下防止ワイヤーは必ず接続し、取付ネジやナットはきちんと締め付けてください。

正しい電源、電圧で使用する

本機の電源定格はAC24V 50 Hz/60 Hzです。定格を超えた電源を供給すると故障や最悪の場合発煙、発火のおそれがあります。

本機は、本機自身や接続ケーブルへの誘雷に対しある程度の対応はしておりますが、万全ではありません。落雷の被害が考えられる取付場所では、必ず接続ケーブルにアレスターを追加する等の対応をとってください。

⚠注意

本機を設置する場合は、専門技術が必要となりますので、販売店にご依頼ください。
取り付けネジやナットでの締め付けが不確実だと落下する恐れがありますので確実に締め付けてください。

定期的に点検してください。

取付部の劣化や振動によるネジのゆるみを定期的に点検し、落下の危険がないことを確認してください。

正しくお使いいただくためのご注意

消耗部品について

以下の部品は消耗部品であり寿命時間、回数を目安に交換が必要です。
寿命時間は目安であり、使用環境や使用条件によって異なります。
消耗部品の交換は、保証期間内であっても有償となります。

- ズームレンズ組立
  - ズーム動作 200万動作
  - フォーカス動作 400万動作
- スリップリング 約500万動作
- 冷却ファン 約5万時間

オートフォーカスについて

本機はワンプッシュオートフォーカス、イージーAFの機能を備えていますが、被写体やカメラの設定ではピントが合わせられない場合があります。
この場合は、手動でピント合わせを行なってください。

オートフォーカスが合わせにくい被写体

- 画面の輝度が極端に高い（明るい）とき
- 画面の輝度が極端に低い（暗い）とき
- 画面の輝度が常に変化しているとき（点滅中のライトなど）
- コントラスト（明暗差）のほとんどないとき
- 画面上に繰り返しの縦縞パターンがあるとき

オートフォーカスが動作困難な設定

- AGCで感度アップし画面がザラついているとき

正しくお使いいただくためのご注意

●節電のため使用しないときは、システムの電源を切ってください。

●本機は屋内用カメラです。屋外での使用はできません。

●本機は吊り下げ専用です。据え置きや傾けて使用すると正常に動作しなかったり、いちじるしく寿命が短くなる場合があります。

●次のような場所への設置およびご使用はできません。

・雨や水のかかる場所
・厨房など蒸気や油分の多い場所
・使用周囲温度(－ 10℃～ 50℃)を超える場所
・腐食性ガスの発生する場所
・放射線やX線及び強力な電波や磁気の発生する場所
・振動する場所
・ほこりの多い場所

●本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。
本機周辺の通風を妨げないようにしてください。
本機は本体表面(天井面、側面)から放熱を行なっています。
壁の近くなど、熱がこもる場所に設置しないでください。

●エアコンの吹き出し口近くなど直接冷気の当たる所に設置しないでください。ドームカバー内部が結露することがあります。

●レンズを太陽などの強い光源に向けないでください。故障の原因となります。

●本機はAGC回路内蔵のため、暗い場所では自動的に感度が上がり、画面がザラついた感じになる場合がありますが、これは故障ではありません。

●AGCが動作中、トランシーバーなど強い磁気を発生する機器を本機の近くで使用すると、画像にビートなど発生することがあります。
トランシーバーなどを使用する場合は、本機から３ｍ以上はなれてお使いください。

●オートアイリス時、AGC ONの場合アイリスコントロールボタンでアイリスを可変しても、感度アップ機能が働き画面の明るさが変化しないことがあります。この場合はAGCをOFFにするかアイリスをマニュアルにしてください。

●オートアイリス時、画面の明るさによっては、(十分な光量が得られないとき)アイリスコントロールボタンが働かないことがあります。この場合は、アイリスをマニュアルにしてください。

●本機をホワイトバランスATW(自動調整)で使用したとき、自動追尾ホワイトバランス回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なることがありますが、故障ではありません。

●高輝度の被写体(ランプなど)を撮影したとき、画面上で高輝度の被写体の上下方向に白い尾引き現象が現われます。これは固体撮像素子特有の現象(スミア現象)で故障ではありません。

●本機は電子シャッターを出荷時1/60秒に設定しています。商用電源周波数50Hz地域で蛍光照明下ではリモートコントロールユニットで1/100秒に切り換えてご使用ください。(1/100秒のとき、感度が少し下がります。)

●24時間連続して長期間同じポジションを監視する場合、水平回転部の接点抵抗の増加によって映像にノイズが発生したり、リモートコントロールユニットからの操作が不安定になることが考えられます。そのため1週間に1回、システムの電源を再投入(カメラをイニシャル動作させる)し、接点のクリーニングを行なってください。

●ドームカバーは、直接手で触れないでください。カバーが汚れると画質劣下の原因となります。

●ドームカバーは、半球形をしているため半球の端では像のゆがみが発生します。本機では半球の端をマスクしており、チルト方向で水平を映すと半球の端が画角に入るため、画面の上端が黒くなったり、ピントが甘くなることがあります。その場合は、チルトリミット設定(☞22、45ページ)によって、上記エリアを映さなくする事ができます。

●光源(照明など)の付近や輝度差のある被写体を撮影すると、画面上にゴーストが発生することがありますが、これはドームカバーと内蔵レンズの特性によるもので、故障ではありません。

●特にTELE端(望遠側)付近において、マニュアル操作、オートパン動作をすると、画面が振動して見える(回転動作が滑らかでない)ことがあります。これらの現象はモーターの性能によるもので故障ではありません。

●お手入れは
・電源を切ってから行なってください。
・ドームカバー部は、レンズふき用布(又は紙)を使用して汚れをふきとってください。使用環境によっては短期間で汚れが付着することがあります。

汚れがひどい場合は、中性洗剤を水にうすめレンズふき用布(又は紙)にしみ込ませふきとってください。

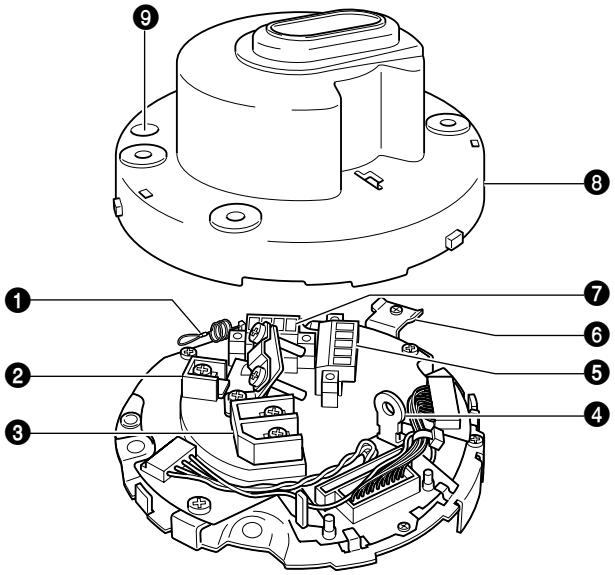
●本機は、電源を投入しない状態で低温環境にある場合、電源投入時に“ウォーミングアップ中です。しばらくお待ちください。”の文字がモニター上に点滅表示され、ウォーミングアップを開始します。ウォーミングアップは本機内部が適正温度になると終了し、通常動作が可能になりますのでウォーミングアップ表示が消えるまでしばらくお待ちください。

■ズーム動作
以下の現象は内蔵レンズの性能によるもので故障ではありません。
・ マニュアル操作あるいはプリセット選択によってTELE端付近でズーム動作が止まった後、フォーカスがかすかに動く。
・ マニュアルでズーム操作中動きがなめらかでない。
・ プリセット選択をしたとき、ズーム動作中、瞬間的にフォーカスがずれる。

■プリセットポジション
・本機で設定できるプリセットポジション数は、ホームポジションと31ヵ所のプリセットポジションで合計32ヵ所です。

各部の名称とはたらき

■ 天井取付金具（端子側）



❶ 落下防止ワイヤー
このワイヤーを、カメラの落下防止ワイヤー固定フック⓳にかけます。

❷ [VIDEO OUT/TO CCU]同軸ケーブル接続端子
本機は設定スイッチ⓭の切り換えで、カメラコントロールユニット(CCU)を接続するシステムでも、CCUを使用しない直接ビデオ出力のシステムでも対応できます。
(☞11 ページ)

- TO CCU
  同期信号、制御信号、映像信号を重畳した特殊信号用の端子です。SW-2200、SW-2600、またはカメラコントロールユニット(CCU)などと接続します。
- VIDEO OUT
  複合映像信号(1V(p-p)、出力インピーダンス 75 Ω)の出力端子です。スイッチャーなどと接続します。

❸ [AC24V ∼ INPUT] AC24V 入力端子
AC24V 電源と接続します。

❹ 安全ワイヤー取付穴
万一のカメラ落下に備え、この穴に天井スラブまたはチャンネルからのワイヤーを取り付けます。

❺ [ALARM IN / OUT]アラーム入力/アラーム出力端子 (J502)
アラーム入力、アラーム出力の端子です。(☞15ページ)

ピン番号	信　号　名	表示
1	アラーム出力 +	OUT+
2	アラーム出力 −	OUT−
3	アラーム入力	IN
4	GND	GND
5		RESERVED

❻ ロックスクリュー
カメラ本体を固定するため、このスクリューでカメラ本体固定金具⓰を必ず固定してください。

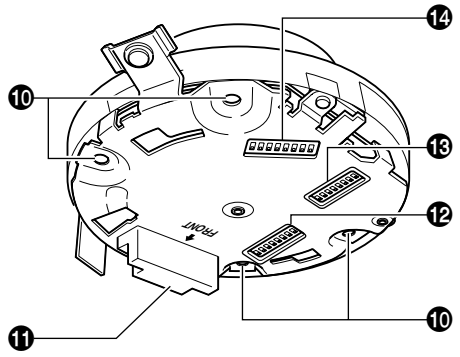
❼ [CONTROL]制御信号接続端子(J501)
リモートコントロールユニット(RM-P2580)と接続します。

ピン番号	信　号　名	記号
1	TX +	Ⓐ
2	TX −	Ⓑ
3	RX +	Ⓒ
4	RX −	Ⓓ

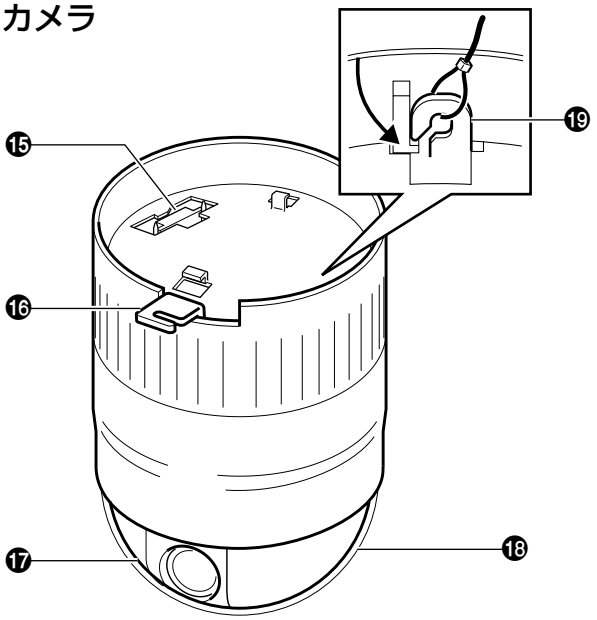
❽ カバー
保護カバーです。ケーブル類を通すときは、カバーに付いているゴム製のキャップに切り込みを入れてください。
天井取付金具への結線を行うときは、必ずケーブルをカバー❽に通してから行なってください。
(☞14 ページ)

❾ カバー固定ネジ
カバー❽と天井取付金具を固定します。
カバー❽をはずす場合は、このネジを緩めてはずします。

■ 天井取付金具（設定スイッチ側）



■ カメラ



⓾ 固定用穴(4 ヵ所)
この穴を利用して天井あるいは、天井埋込ブラケット(WB-S625 別売)などに取り付けます。

⓫ カメラ接続端子(メス)
カメラ本体の接続端子(オス)⓯ と接続します。

⓬ [マシン ID]マシン ID 設定スイッチ
RM-P2580 のシステムなど、通信方式として RS-485 マルチドロップ方式の場合、カメラごとにマシン ID を設定します。(☞12 ページ)

⓭ 設定スイッチ
ケーブル長、接続機種などの設定を行います。
(☞11 ページ)

⓮ 予備スイッチ
このスイッチはご使用になれません。

⓯ 接続端子(オス)
天井取付金具のカメラ接続端子(メス)⓫ と接続します。

⓰ カメラ本体固定金具
ロックスクリュー❻ をこの金具に締め付けてカメラ本体と天井取付金具を固定します。

⓱ レンズ部
レンズを交換することはできません。

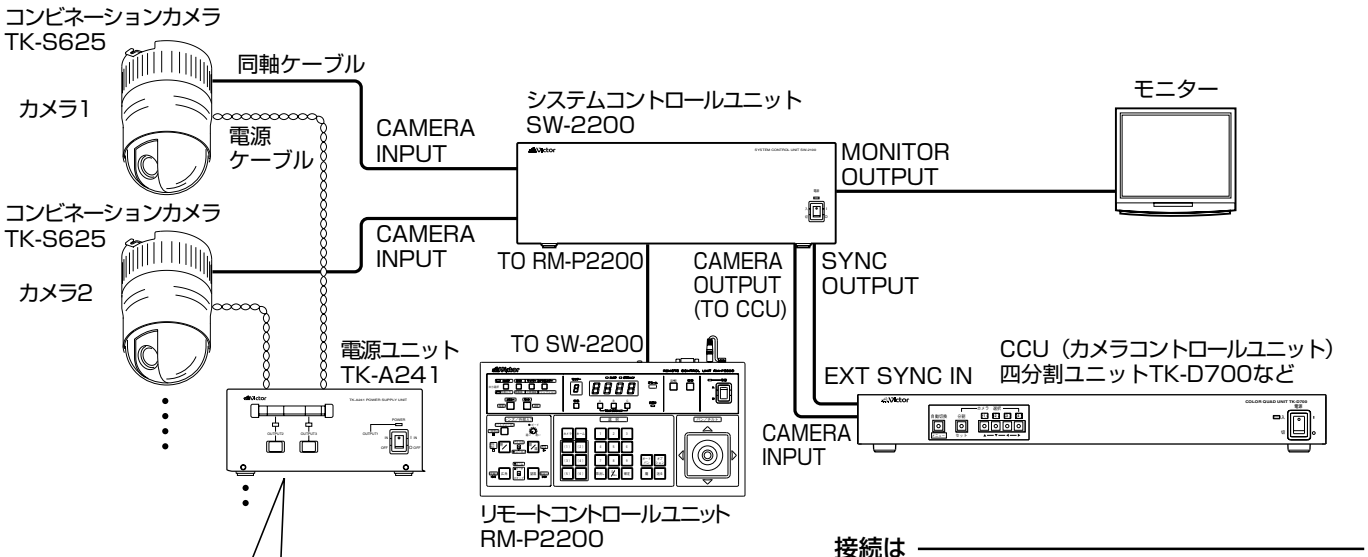
⓲ ドームカバー
ドームカバーは傷が付きやすいので、取り扱いには注意してください。

⓳ 落下防止ワイヤー固定フック
このフックに天井取付金具の落下防止ワイヤー❶ をひっかけます。

接続・設置

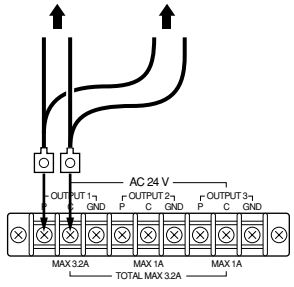
システム接続例(RM-P2200 のシステム)

システムコントロールユニット(SW-2200)1 台に、カメラ16台まで接続可能。最大80台までの拡張に対応。(各カメラごとに 32 ポジション設定可能)



接続は

- 使用機器の電源を切ってから行なってください。
- 使用機器の「取扱説明書」をお読みのうえ、行なってください。
- 接続ケーブルの種類および距離は、☞14ページ「ケーブルの接続」を、よくお読みになってから行なってください。



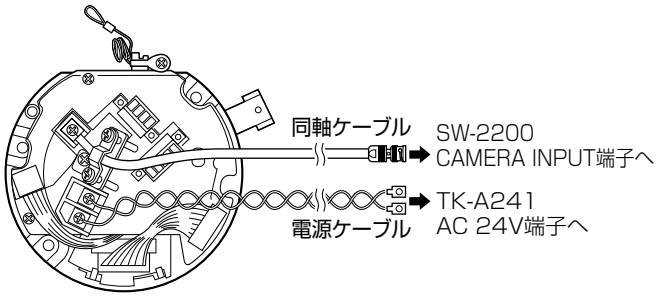
TK-A241背面端子台部

ご注意

- 電源ユニット(TK-A241)に本機を接続するときは、**"OUTPUT1"**(MAX3.2A)に接続してください。
  "OUTPUT2"(MAX1A)
  "OUTPUT3"(MAX1A)に接続すると電流容量が不足することがあります。
  本機を2台接続するときも、図の様にラグ板を用いて、どちらのカメラも **"OUTPUT1"** に接続してください。
- TK-A241は1台につきTK-S625を2台まで駆動できます。

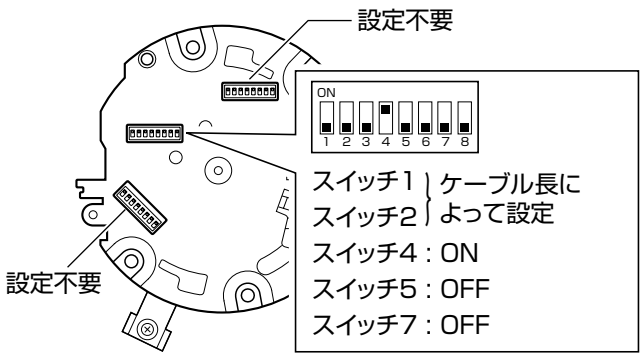
ケーブルの接続 ☞14ページ

(天井取付金具の端子側)



スイッチの設定 ☞11ページ

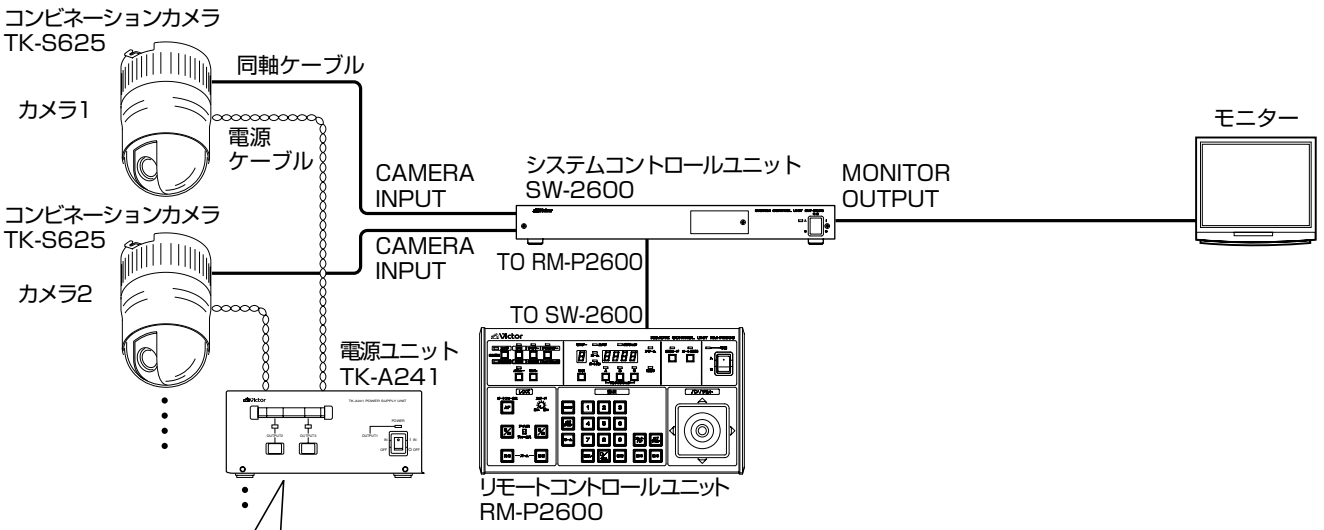
(天井取付金具の設定スイッチ側)

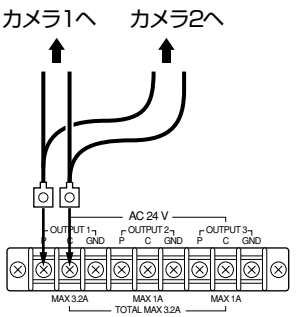


(スイッチ7 は必ず OFFに設定してください)

システム接続例(RM-P2600 のシステム)

システムコントロールユニット(SW-2600)1 台に、カメラ９台まで接続可能。(各カメラごとに 32 ポジション設定可能)





TK-A241背面端子台部

ご注意

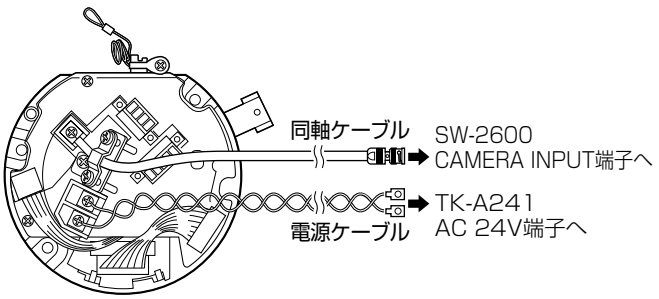
- 電源ユニット(TK-A241)に本機を接続するときは、**"OUTPUT1"**(MAX3.2A)に接続してください。
  "OUTPUT2"(MAX1A)
  "OUTPUT3"(MAX1A)に接続すると電流容量が不足することがあります。
  本機を2台接続するときも、図の様にラグ板を用いて、どちらのカメラも**"OUTPUT1"**に接続してください。
- TK-A241は1台につきTK-S625を2台まで駆動できます。

接続は

- 使用機器の電源を切ってから行なってください。
- 使用機器の「取扱説明書」をお読みのうえ、行なってください。
- 接続ケーブルの種類および距離は、☞１４ページ「ケーブルの接続」を、よくお読みになってから行なってください。

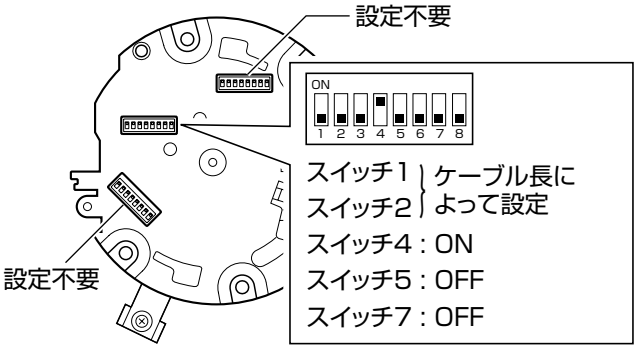
ケーブルの接続 ☞14ページ

(天井取付金具の端子側)



スイッチの設定 ☞11ページ

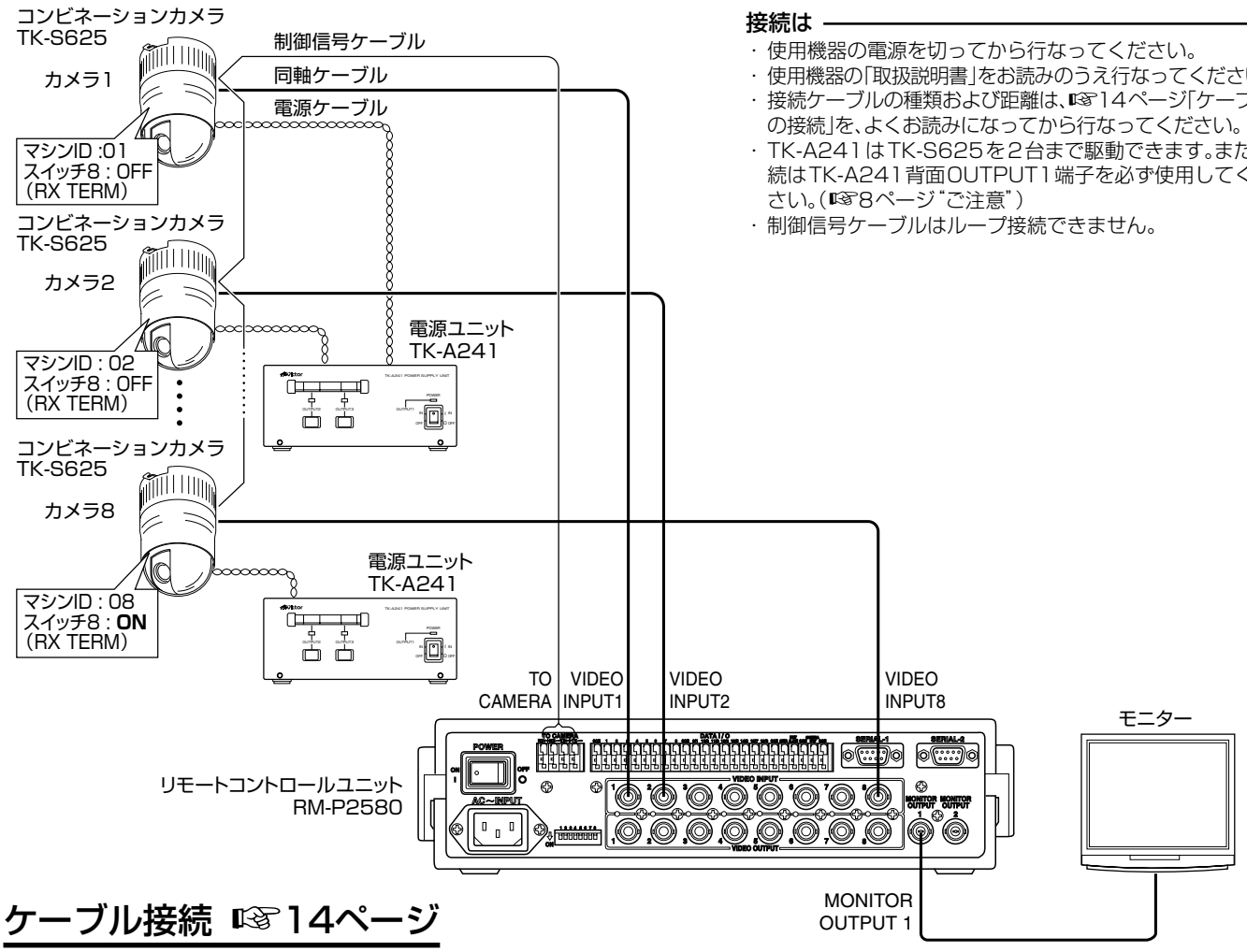
(天井取付金具の設定スイッチ側)



(スイッチ7 は必ず OFFに設定してください)

システム接続例(RM-P2580 のシステム)

カメラ８台までのシステムです。(各カメラごとに 32 ポジション設定可能)

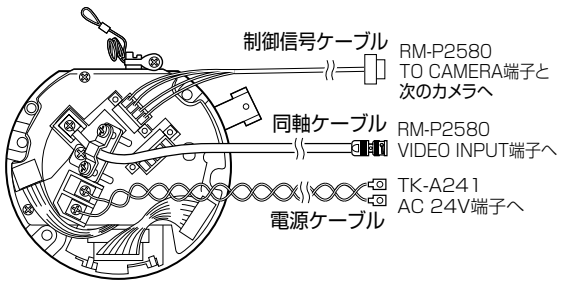


接続は

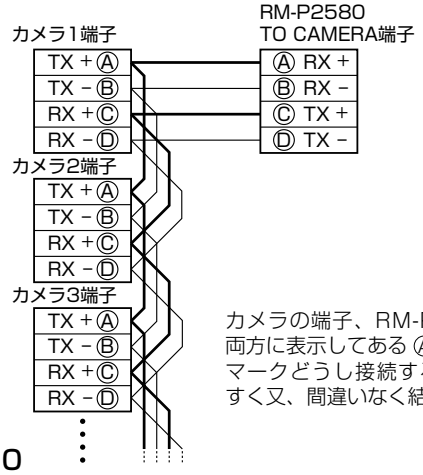
- 使用機器の電源を切ってから行なってください。
- 使用機器の「取扱説明書」をお読みのうえ行なってください。
- 接続ケーブルの種類および距離は、☞14ページ「ケーブルの接続」を、よくお読みになってから行なってください。
- TK-A241 はTK-S625を２台まで駆動できます。また接続はTK-A241背面OUTPUT1端子を必ず使用してください。(☞8ページ"ご注意")
- 制御信号ケーブルはループ接続できません。

ケーブル接続 ☞14ページ

(天井取付金具の端子側)



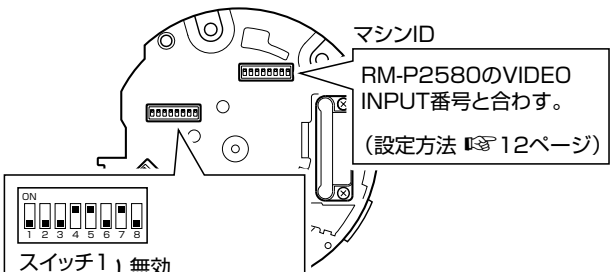
制御信号ケーブルの接続(より対ケーブル推奨)



カメラの端子、RM-P2580 の端子両方に表示してある ⒶⒷⒸⒹ を同じマークどうし接続すると、わかりやすく又、間違いなく結線できます。

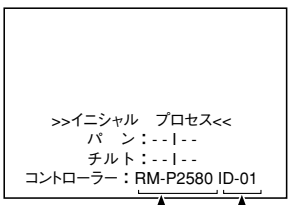
スイッチの設定 ☞11ページ

(天井取付金具の設定スイッチ側)



スイッチ1 } 無効
スイッチ2 } (OFFに設定)
スイッチ4 : ON
スイッチ5 : ON
スイッチ7 : ON
(スイッチ7を "ON" にしないとカメラの電源が入りません)
スイッチ8 : 制御信号ケーブルの末端に設置されたカメラのみ "ON" 他はすべて "OFF"。

電源投入時のカメラ1モニター画面

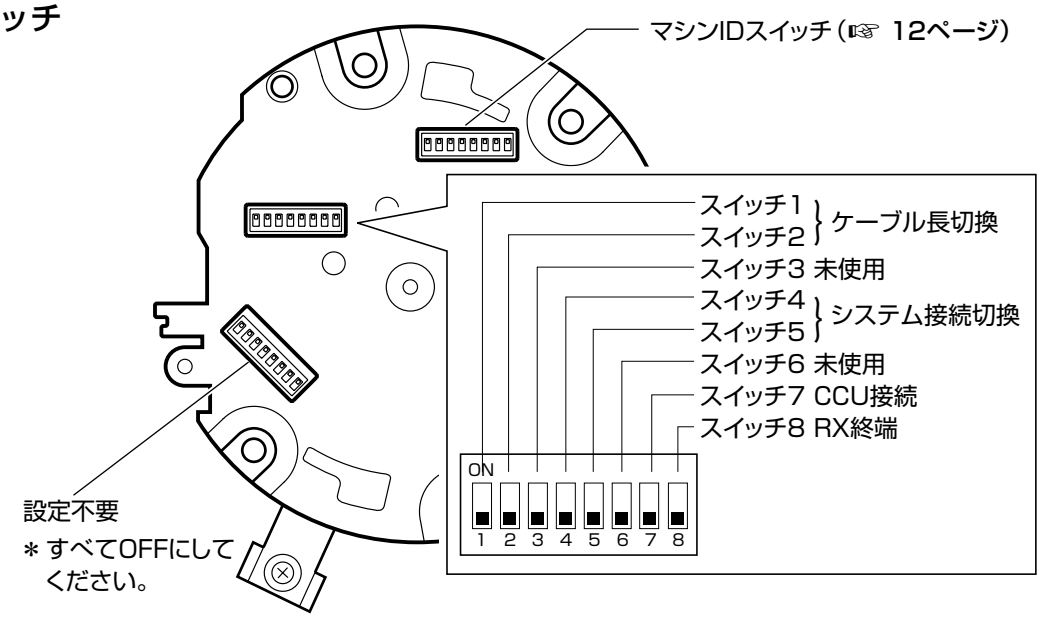


コントローラ表示 ― ID番号を表示
(IDの確認方法 ☞12ページ)

スイッチの設定

カメラを取り付ける前に、天井取付金具にあるスイッチを設定します。
設定は使用するシステムによって異なります。

■ 設定スイッチ



●ケーブル長切換（スイッチ 1、スイッチ 2）

本機とCCU（カメラコントロールユニット）もしくはSW-2200/SW-2600を接続する同軸ケーブルの距離によって設定します。

ケーブル長	スイッチ 1	スイッチ 2
0m ～ 125m	OFF	OFF
126m ～ 250m	ON	OFF
251m ～ 375m	OFF	ON
376m ～ 500m	ON	ON

（初期設定値：ケーブル長 0m ～ 125m）

RM-P2580のシステムでは設定の必要はありません。

●システム接続切換（スイッチ 4、スイッチ 5）

本機に接続する機器に合わせて設定します

接続機器	スイッチ 4	スイッチ 5
Point to Point	OFF	ON
RM-P2580	ON	ON
SW-2200/2600	ON	OFF

（初期設定値：SW-2200/2600）

Point to Point
PCなどを使用して、外部からコントロールするときに使用します。詳細は、営業部へお問い合わせください。

●CCU 接続（スイッチ 7）

本機の電源を、CCU（カメラコントロールユニット）の電源入切に連動して入切させるかどうかの設定です。CCUを使ったシステム（SW-2200のシステム）では必ず**“有”**に設定してください。

SW-2600のシステムでは、CCU（カメラコントロールユニット）を接続しませんが、**“有”**に設定してください。

CCUを使わないシステム（RM-P2580のシステム）では必ず**“無”**に設定してください。“有”だと電源が入りません。

CCU 接続	スイッチ 7
有	OFF
無	ON

（初期設定値：有）

●RX 終端（スイッチ 8）

制御信号端子RX＋、RX－間を110Ωの抵抗値で終端するかどうかの設定です。

RX 終端	スイッチ 8
終端(110 Ω)	ON
開放	OFF

（初期設定値：終端(110Ω)）

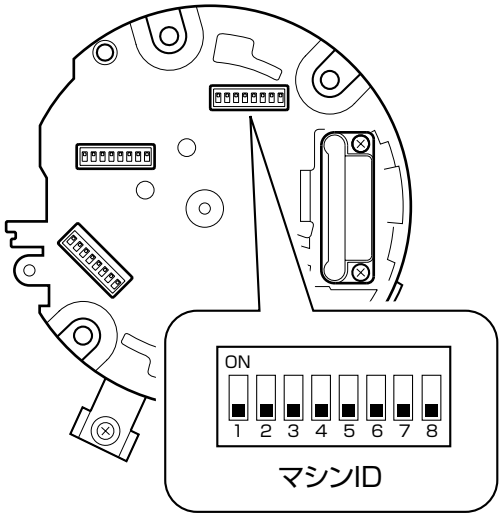
本機を含むシステムがRM-P2580などマルチドロップ(RS-485)方式の場合、制御信号ケーブルの末端に設置したカメラのみ“終端”に設定し、他のカメラは“開放”に設定します。

スイッチの設定（つづき）

■ マシン ID 設定スイッチ

RM-P2580などマルチドロップ方式でシステムを制御する場合、接続された複数のカメラをそれぞれ識別するために番号（マシンID ）を付けます。
マシンID は、RM-P2580 のVIDEO INPUT 番号と合わせてください。

●天井取付金具（設定スイッチ側）

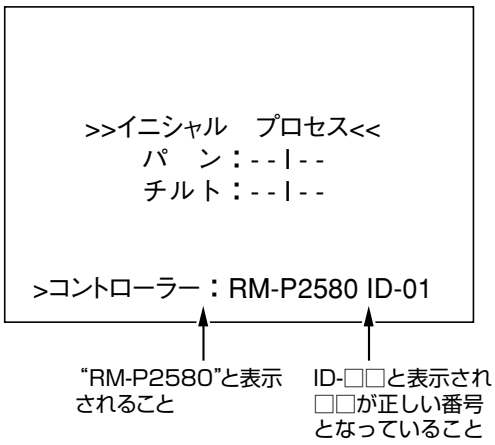


＜マシンIDの確認手順＞

1. チェックを行うカメラ映像をモニターに出力する

2. カメラの AC24V 電源を入れる

3. カメラがイニシャル動作する
下図画面が表示されます。



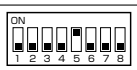
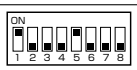
4. “RM-P2580” “ID- □□” が表示されること、RM-P2580 の VIDEO INPUT 番号と合っているか確認する。誤っていたらマシンIDを設定しなおしてください。

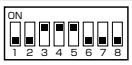
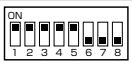
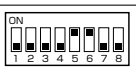
MEMO

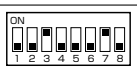
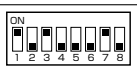
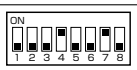
- RM-P2580を使用したシステムでは、1組の制御信号ケーブルに、複数台を接続して使用するため、各カメラのスイッチ設定が1台でもおかしいとシステム全体が動作不良となります。

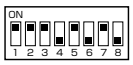
■マシンID

1番～8番の組み合わせでマシンID番号を設定します。（工場出荷時はすべてOFF）

マシンID	マシンID設置スイッチ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	

マシンID	マシンID設置スイッチ
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	
51	
52	

マシンID	マシンID設置スイッチ
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	
61	
62	
63	
64	
65	
66	
67	
68	
69	
70	
71	
72	
73	
74	
75	
76	
77	
78	

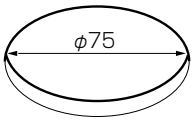
マシンID	マシンID設置スイッチ
79	
80	
81	
82	
83	
84	
85	
86	
87	
88	
89	
90	
91	
92	
93	
94	
95	
96	
97	
98	
99	

ケーブルの接続

ご注意

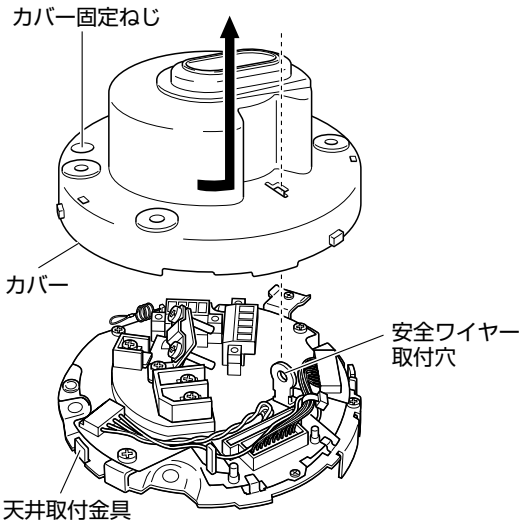
- 天井取付金具のカバーは必ず取り付けてください。カバーがないと天井に取り付けることができません。
- カバーは、天井取付金具内部へ異物の混入を防ぎます。内部に異物が入りますと故障の原因となり、最悪の場合、発煙・発火の危険があります。
- AC24Vケーブルは間違えてAC100Vに接続しないでください。間違えると本機が破損します。万一誤って接続してしまった場合、内部回路が破損している可能性がありますので、絶対にそのまま使用せず最寄りのビクターサービスで点検を受けてください。

接続手順



1. 天井に穴をあける

付属のテンプレートを使用して接続ケーブルを天井裏に通すための穴(φ 75)をあけます。

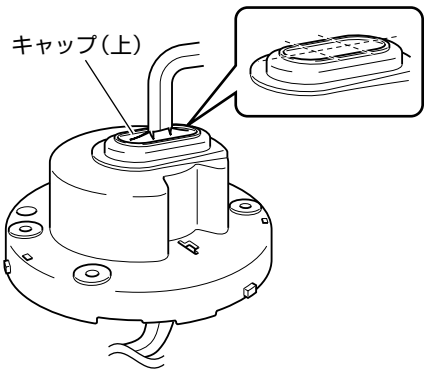


2. カバーをはずす

カバー固定ねじを緩め、カバーを反時計方向にひねって、天井取付金具からカバーをはずします。

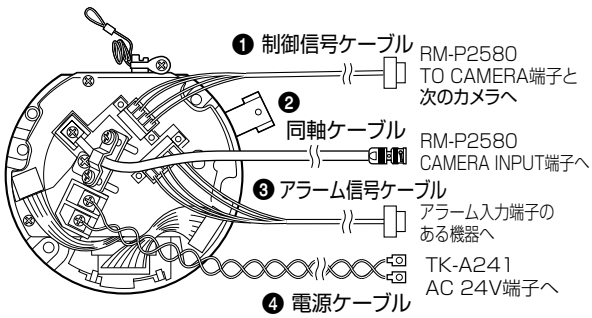
MEMO

- カバー固定ねじは、孔からねじが出ない範囲で緩めてください。



3. カバーにケーブルを通す

カバーに付いているキャップ(ゴム製)に切り込みを入れ、ケーブルを通します。切り込みは左図を参考に入れてください。



4. ケーブルを本機と接続する

天井取付金具の端子にケーブル類を接続します。
接続ケーブルはアラーム信号ケーブル、同軸ケーブル、制御信号ケーブル、AC24V 電源ケーブルがあります。

❶制御信号ケーブル(☞16 ページ)
RM-P2580 と接続します。

❷同軸ケーブル(☞15 ページ)
モニターなどを接続します。

❸アラーム信号ケーブル(☞15 ページ)
アラーム入力端子のある機器に接続します。

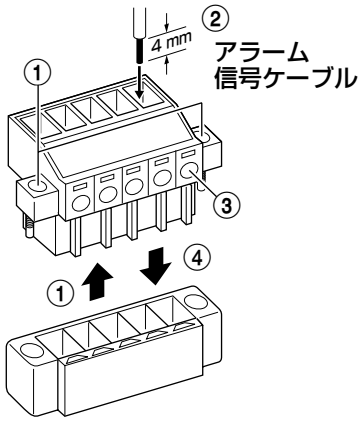
❹電源ケーブル(☞16 ページ)
AC24 V 電源に接続します。

5. カバーをつける

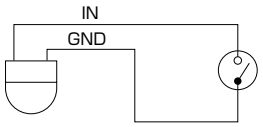
手順 ***2.*** と逆の順番でカバーを天井取付金具に取り付けます。

①天井取付金具の、安全ワイヤー取付穴をカバーの穴に合わせてかぶせ、時計方向にひねります。
②カバー固定ネジを締め付けます。

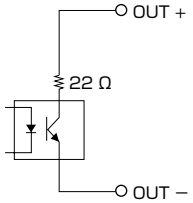
アラーム入力 / アラーム出力端子の接続



■ アラーム入力端子



■ アラーム出力端子



アラーム入力 / アラーム出力端子と、センサー、ブザーなどの外部機器を接続する

①端子台の両端のスクリューを緩め、左図の様にはずします。
②アラーム信号ケーブルの被ふくを4mmほどむいて、端子に差し込みます。
③側面のスクリューを回しアラーム信号ケーブルを固定します。
④アラーム信号ケーブルを固定したら、①ではずした端子台をもとに戻します。

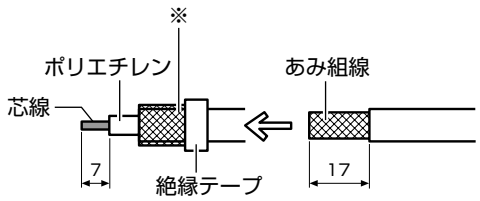
<アラーム入力端子>
赤外線センサー、ドアセンサー、金属センサー、手動スイッチなどのセンサーを接続する

- アラーム入力端子は、内部回路へのノイズ混入を防止するため無電圧接点信号を加えてください。
- 電圧を供給しないでください。
- メニューで接点がショート(メイク)時にアラームとするか、接点がオープン(ブレイク)時にアラームとするか設定可能です。
- アラーム信号は最低でも200 ms以上続けて加えるようにしてください。それより短い場合、アラーム信号として認識される保証はありません。

<アラーム出力端子>
報知器、表示器、ライト、ブザーなどの報知装置と接続する

- アラーム出力端子はフォトカプラーで絶縁されたオープンコレクター出力となっており、アラーム時 ON となります。
- この端子は、極性がありますので必ず－側端子より＋側端子の電圧が高くなるよう接続してください。逆電圧を加えると破損します。

同軸ケーブルの接続



5C-2V あるいは 3C-2V 同軸ケーブルを接続する

同軸ケーブルの先端は、左図の様に処理してから接続してください。

— MEMO

- 7C-2Vをご使用の場合、直接端子台への接続はできませんので、5C-2Vケーブルを本機に接続し7C-2Vケーブルに中継してください。
  ※ あみ組線を逆におり返し、ほつれて他へショートしないように絶縁してください。

■ CCU 接続システムの場合

CCU(カメラコントロールユニット)との最大延長距離は下記の様になります。

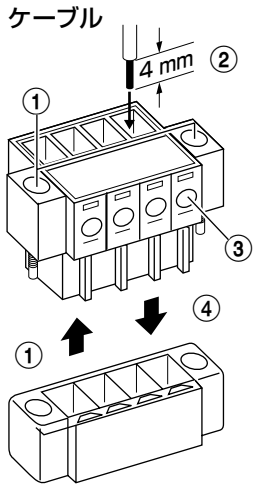
ケーブルの種類	ケーブルの最大接続距離	
	ケーブル補償なしCCU	ケーブル補償ありCCU
3C-2V	200 m	200 m
5C-2V	350 m	500 m
7C-2V	500 m	500 m

— MEMO

- CCU を使用しない直接ビデオ出力システム（RM-P2580のシステム）で使用する場合、ケーブルの延長距離が延びるほど信号が減衰して、解像度が低下しノイズが増えます。
- より太いケーブルを使用したり、ケーブル補償器を使用することで延長距離を延ばすことができます。
- 最大延長距離は、使用システム、ケーブルの特性などによって異なります。

ケーブルの接続（つづき）

制御信号ケーブルの接続



リモートコントロールユニット(RM-P2580)と接続する

RM-P2580 との最大接続距離は 1200m です。(RM-P2580 では、1 組のケーブルに複数のカメラを接続できますが、そのときのケーブル総延長は 1200m 以内となります。)

①端子台の両端のスクリューを緩め、左図の様にはずします。

②制御信号ケーブルの被ふくを4mmほどむいて、端子に差し込みます。

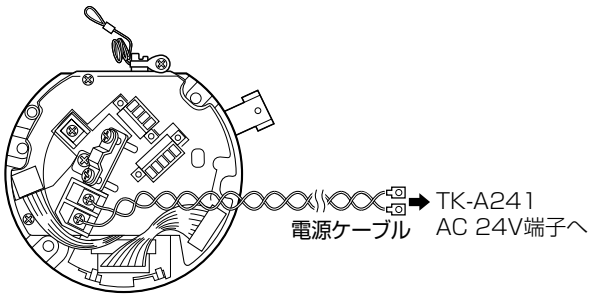
③側面のスクリューを回し制御信号ケーブルを固定します。

④制御信号ケーブルを固定したら、①ではずした端子台をもとに戻します。

MEMO

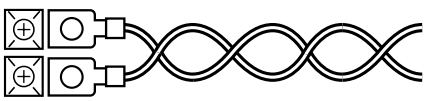
- 使用ケーブルは、0.65ー4芯（2対）より対ケーブルもしくは、イーサネットなどで用いられるカテゴリー3以上のツイストペアーケーブルを推奨します。
- 使用できるケーブルの太さは0.4mm～1.3mmです。
- 制御信号ケーブルは、TX＋とTXー信号、RX＋とRXー信号を対（ペア）になるようにしてください。

電源ケーブルの接続



AC 24V 電源と接続する

AC24V 電源ケーブルを端子台の AC24V 入力端子に接続します。このとき、接続ミスやケーブルのはずれを防ぐため、AC24 V端子との接続には、ラグ板の使用をおすすめします。



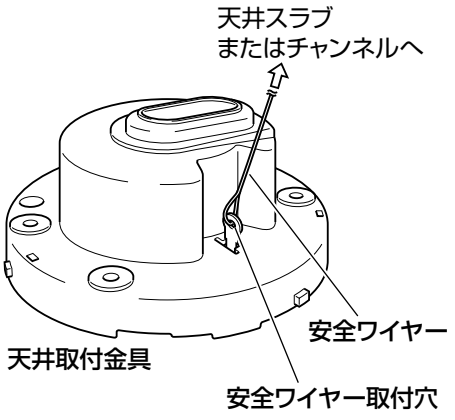
2芯VVF(ビニル絶縁ビニルシースケーブル)を使用した場合、接続距離は下記のようになります。(参考値)

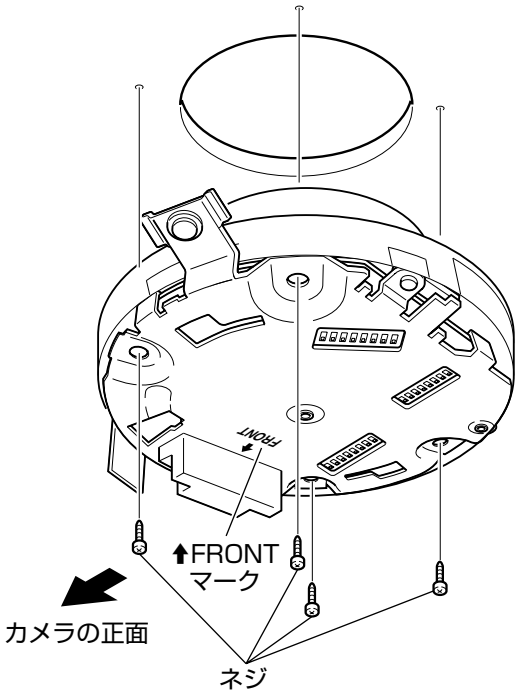
最大接続距離	100 m	260 m	410 m	500 m
導体直径	1.2 φ以上	1.8 φ以上	2,3 φ以上	2.9 φ以上

ご注意

- 細いケーブルを使用するとケーブルの抵抗値が大きくなり、本機の消費電力が最大のときに（パン、チルトとズーム同時に動作するとき）有効電圧が低下してしまいます。太い、抵抗値の小さいケーブルを使用する、もしくは電源ユニットをカメラの近くに設置し、ケーブル長を短くするなどの処置を行い、カメラの定格電流が流れたときの電圧降下を10%以内に抑えるよう設置してください。動作中電圧が低下すると、性能が不安定になったり、プリセット位置が正しく再現されないことがあります。
- AC24Vケーブルは間違えてAC100Vに接続しないでください。間違えると本機が破損します。
- 万一誤って接続してしまった場合、内部回路が破損している可能性がありますので、絶対にそのまま使用せず最寄りのビクターサービスで点検を受けてください。

天井取付金具の取り付け





1. 落下防止ワイヤーをつける

万一の落下に備え、天井スラブ又はチャンネルと天井取付金具をワイヤーで接続してください。天井取付金具とワイヤーの接続は、**安全ワイヤー取付穴**をご利用ください。（左図参考）

> ⚠注意
>
> ワイヤーおよび天井構造物は、万一の落下時に危険を防止できる強度と、適切な長さのものを選んでください。

MEMO

- ワイヤーは天井構造物と絶縁できるように接続してください。
  天井構造物が金属の場合、カメラとの絶縁をとらないと映像にノイズが入ることがあります。
- ワイヤーは付属されていませんので、市販品をおもとめください。

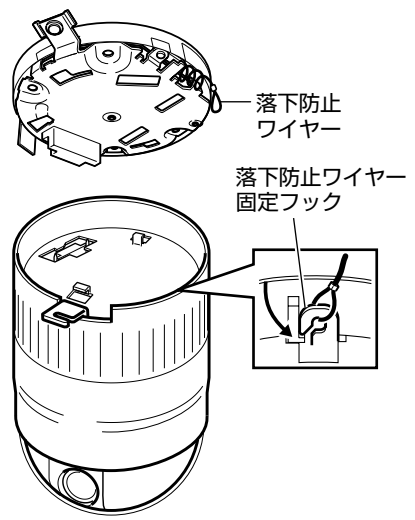
2. 天井取付金具を天井に固定する

カメラを正面に向けたい方向に天井取付金具の**“⬆FRONTマーク”**を合わせ、接続ケーブルをはさみ込まない様注意して、天井取付金具をネジ4本で天井に固定します。
固定用ネジ、ボルトはM4を使用してください。
木ネジはϕ4.1をお使いください。

MEMO

- 必ず4本のネジを用いて、確実に取付けてください。
- 天井取付金具の天井取付用ネジ穴についているシートは、天井取付金具と天井構造物の絶縁目的で使用しています。天井構造物が金属の場合カメラとの絶縁を行わないと、映像にノイズが入ることがあります。
  必ず絶縁するように設置してください。

カメラの取り付け

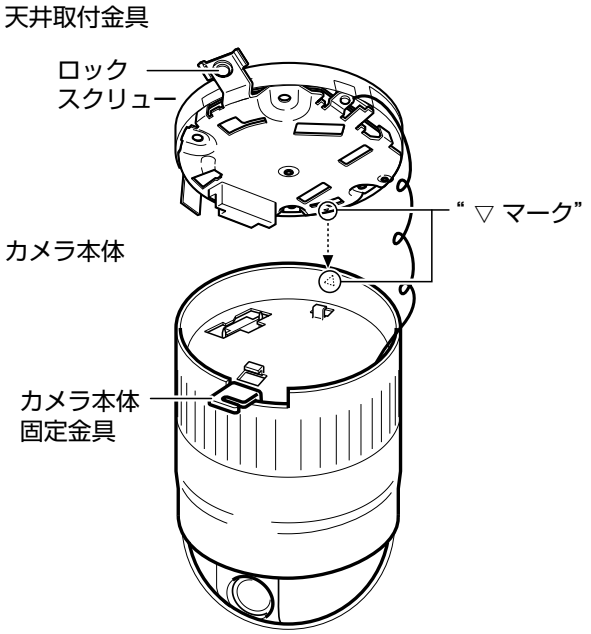


1. 落下防止ワイヤーを付ける

図のように、天井取付金具から**落下防止ワイヤー**を引き出し、カメラ本体の**落下防止ワイヤー固定フック**に引っかけます。

> ⚠注意
>
> - 落下防止ワイヤーは必ず接続してください。接続しないとカメラ本体が落下する恐れがあります。
> - 落下防止ワイヤーにカメラをぶらさげたまま放置しないでください。落下防止ワイヤーのバネ性が無くなり、カメラ本体を天井取付金具に挿入するときに、ワイヤーをはさみ込んで、確実に取り付かなくなる恐れがあります。

カメラの取付（つづき）

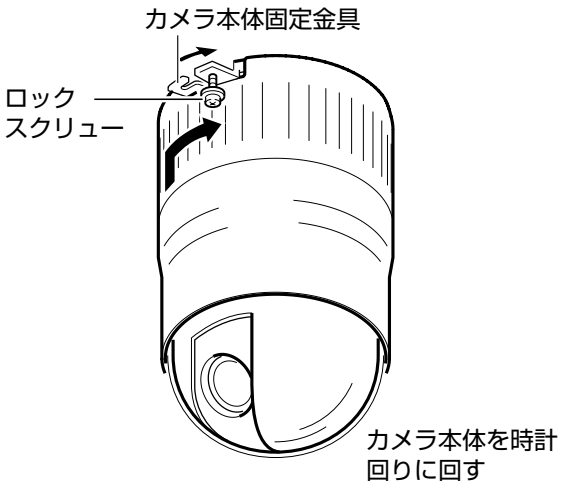


2. ロックスクリューが緩んでいることを確認する

天井取付金具の**ロックスクリュー**が緩んでいないとカメラ本体が正しく取り付きません。

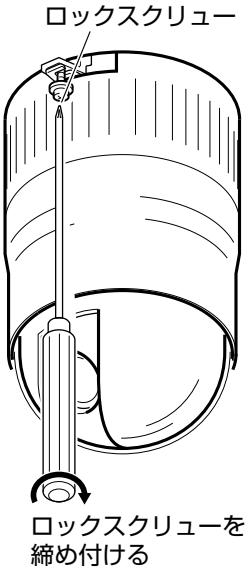
3. カメラ本体を挿入

カメラ本体の“△マーク”と天井取付金具の“▽マーク”を合わせるようにしてカメラ本体を天井取付金具に挿入します。また、**カメラ本体固定金具**と天井取付金具の**ロックスクリュー**の位置をよく確かめてからカメラ本体を天井取付金具に挿入してください。



4. カメラ本体を回す

カメラが傾いていないことを確かめ、カメラ本体を天井側に押し付けながら時計方向に止まるまで回します。このとき、**カメラ本体固定金具**が天井取付金具の**ロックスクリュー**の位置にきていることを確認してください。



5. ロックスクリューを締める

ロックスクリューをプラスドライバーで締め付けます。

> ⚠注意
>
> ロックスクリューの締め付けが不確実だとカメラ本体ががたついたり、落下する恐れがあります。ロックスクリューは確実に取り付けてください。

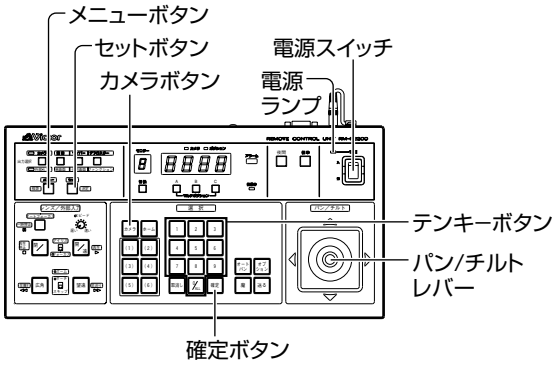
※取り外しは*1.*～*5.*を逆の手順で行なってください。

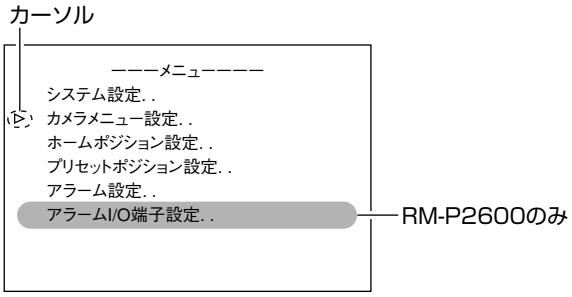
RM-P2200/RM-P2600からカメラの設定を変える

設定方法(RM-P2200/RM-P2600)

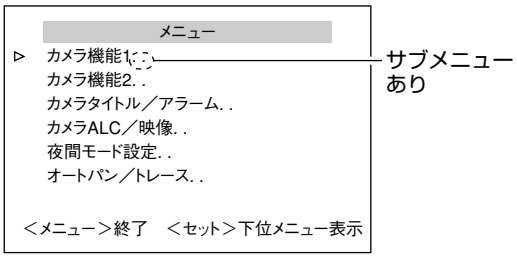
リモートコントロールユニットRM-P2200/RM-P2600を使用したシステムの場合、カメラ側メニューをリモコンから呼び出し、機能設定を行うことができます。
(RM-P2200/RM-P2600の「取扱説明書」をあわせてご覧ください。)

<RM-P2200/RM-P2600からカメラ側メニューの設定を行う方法>

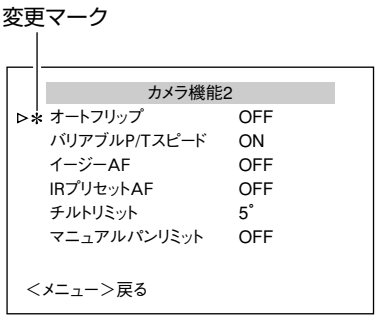




メニュー画面



カメラメニュー設定画面



サブメニュー画面例

1. 電源スイッチを“ON”にする

電源ランプが点灯します。

2. メニューボタンを1秒間押す

・パスワード入力画面が表示されます。

3. テンキーボタンでパスワード“2222”を入力する

4. 確定ボタンを押す

・メニュー画面が表示されます。
・「パスワードが正しくありません」と表示された場合は、正しいパスワードを再入力してください。

5. パン/チルトレバーを上下に動かし、カーソル(▷)を、カメラメニュー設定項目に移動する

・レバーを上側(▲)に押すと、カーソルは上に移動します。
・レバーを下側(▼)に押すと、カーソルは下に移動します。

6. セットボタンを押す

・カメラメニュー設定画面が表示されます。
・項目の最後に“. .”が付いているものは、サブメニューがあります。

7. パン/チルトレバーを上下に動かし項目を選択する

8. セットボタンを押す

・カメラ側のサブメニュー画面が表示されます。

9. パン/チルトレバーを左右に動かし、項目の値を変更する

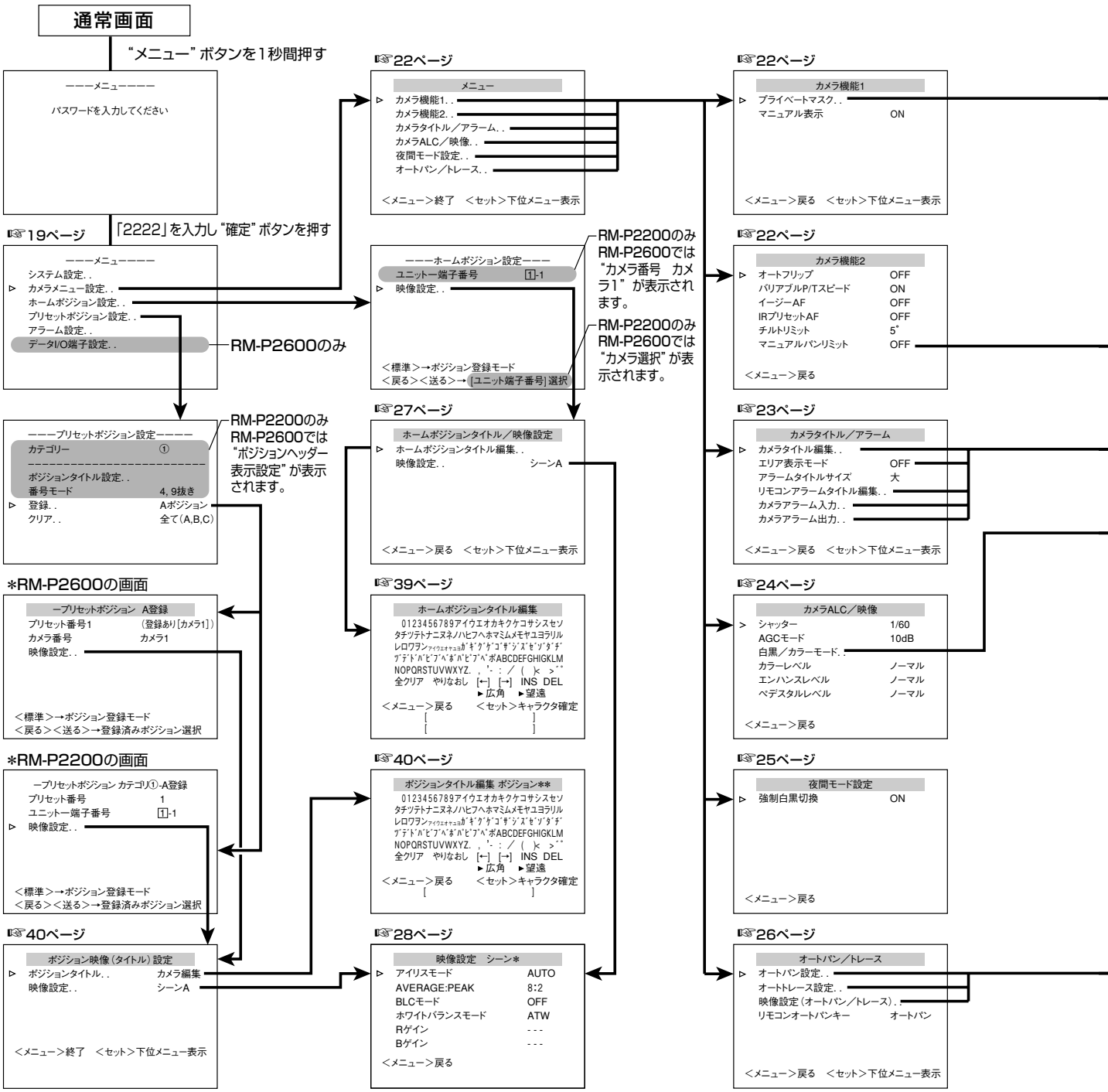
・レバーを左側(◀)に押すと、数値が小さくなります。
・レバーを右側(▶)に押すと、数値が大きくなります。
項目の設定値を変更すると左図のような変更マーク(*)が表示されます。
サブメニューの設定方法の詳細は、次ページ以降をご覧ください。

10. メニューボタンを押す

項目の設定が終わったら、メニューボタンを押し、上位メニュー画面に戻します。

メニュー画面の流れ

メニュー画面は下図のような流れになっています。（詳細は各項目内に記載されている参照ページをご覧ください）



MEMO

■メニュー画面について

本機にはカメラごとに設定できる（すべてのポジションで同じ設定となる）機能と、各プリセットポジションごとに設定できる機能があります。

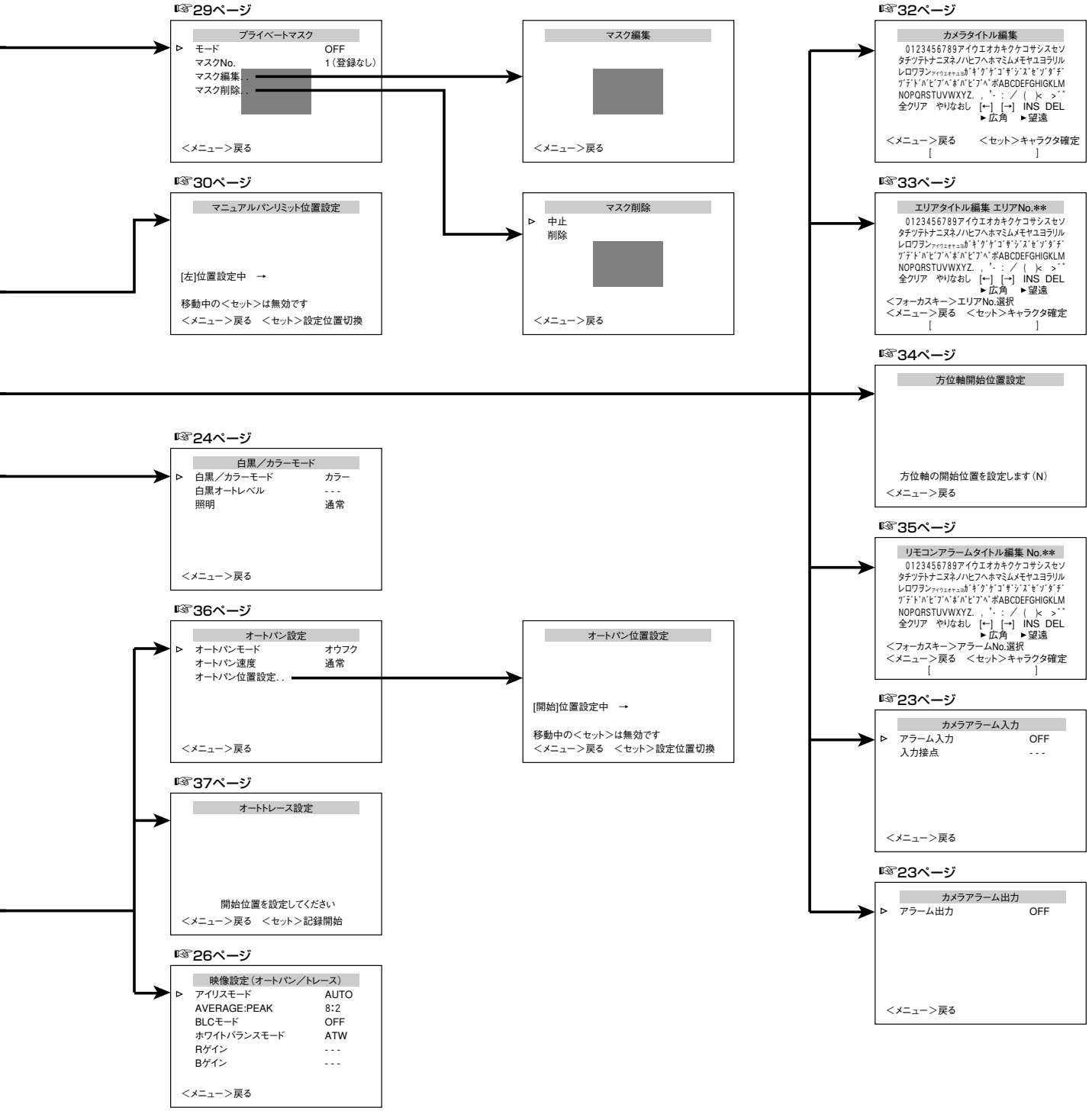
- カメラごとに機能を設定するメニュー
  - ・カメラ機能1　・カメラ機能2
  - ・カメラタイトルアラーム　・カメラALC／映像
  - ・夜間モード設定　・オートパン／トレース
- 各プリセットポジションに対して設定するメニュー
  - ・ポジション機能→映像設定

MEMO

■ポジションごとの映像設定で用いるシーンファイルについて

本機では、ポジションごとに細かな映像設定ができるよう、あらかじめA～H8種類のシーンファイルを用意しています。

各シーンファイルの内容は自由に設定し保存しておくことができます。そして、各プリセットポジションごとにA～Hのうち好みのシーンファイルを選ぶことで、各プリセットポジションへの映像設定を行います。


☞29ページ
プライベートマスク
▷ モード OFF
マスクNo. 1（登録なし）
マスク編集. .
マスク削除. .
<メニュー>戻る
マスク編集
<メニュー>戻る
☞30ページ
マニュアルパンリミット位置設定
[左]位置設定中 →
移動中の<セット>は無効です
<メニュー>戻る <セット>設定位置切換
マスク削除
▷ 中止
削除
<メニュー>戻る
☞32ページ
カメラタイトル編集
0123456789アイウエオカキクケコサシスセソ
タチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリル
レロワヲン ｧｨｩｪｫｬｭｮｯ ｶﾞｷﾞｸﾞｹﾞｺﾞｻﾞｼﾞｽﾞｾﾞｿﾞﾀﾞﾁﾞ
ﾂﾞﾃﾞﾄﾞﾊﾞﾋﾞﾌﾞﾍﾞﾎﾞﾊﾟﾋﾟﾌﾟﾍﾟﾎﾟABCDEFGHIGKLM
NOPQRSTUVWXYZ. , '- : ／ ( )< >゛゜
全クリア やりなおし [←] [→] INS DEL
►広角 ►望遠
<メニュー>戻る <セット>キャラクタ確定
[ ]
☞33ページ
エリアタイトル編集 エリアNo.**
0123456789アイウエオカキクケコサシスセソ
タチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリル
レロワヲン ｧｨｩｪｫｬｭｮｯ ｶﾞｷﾞｸﾞｹﾞｺﾞｻﾞｼﾞｽﾞｾﾞｿﾞﾀﾞﾁﾞ
ﾂﾞﾃﾞﾄﾞﾊﾞﾋﾞﾌﾞﾍﾞﾎﾞﾊﾟﾋﾟﾌﾟﾍﾟﾎﾟABCDEFGHIGKLM
NOPQRSTUVWXYZ. , '- : ／ ( )< >゛゜
全クリア やりなおし [←] [→] INS DEL
►広角 ►望遠
<フォーカスキー>エリアNo.選択
<メニュー>戻る <セット>キャラクタ確定
[ ]
☞34ページ
方位軸開始位置設定
方位軸の開始位置を設定します（N）
<メニュー>戻る
☞35ページ
リモコンアラームタイトル編集 No.**
0123456789アイウエオカキクケコサシスセソ
タチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリル
レロワヲン ｧｨｩｪｫｬｭｮｯ ｶﾞｷﾞｸﾞｹﾞｺﾞｻﾞｼﾞｽﾞｾﾞｿﾞﾀﾞﾁﾞ
ﾂﾞﾃﾞﾄﾞﾊﾞﾋﾞﾌﾞﾍﾞﾎﾞﾊﾟﾋﾟﾌﾟﾍﾟﾎﾟABCDEFGHIGKLM
NOPQRSTUVWXYZ. , '- : ／ ( )< >゛゜
全クリア やりなおし [←] [→] INS DEL
►広角 ►望遠
<フォーカスキー>アラームNo.選択
<メニュー>戻る <セット>キャラクタ確定
[ ]
☞23ページ
カメラアラーム入力
▷ アラーム入力 OFF
入力接点 - - -
<メニュー>戻る
☞23ページ
カメラアラーム出力
▷ アラーム出力 OFF
<メニュー>戻る
☞24ページ
白黒／カラーモード
▷ 白黒／カラーモード カラー
白黒オートレベル - - -
照明 通常
<メニュー>戻る
☞36ページ
オートパン設定
▷ オートパンモード オウフク
オートパン速度 通常
オートパン位置設定. .
<メニュー>戻る
オートパン位置設定
[開始]位置設定中 →
移動中の<セット>は無効です
<メニュー>戻る <セット>設定位置切換
☞37ページ
オートトレース設定
開始位置を設定してください
<メニュー>戻る <セット>記録開始
☞26ページ
映像設定（オートパン／トレース）
▷ アイリスモード AUTO
AVERAGE:PEAK 8:2
BLCモード OFF
ホワイトバランスモード ATW
Rゲイン - - -
Bゲイン - - -
<メニュー>戻る

カメラ機能 1 画面

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
プライベートマスク..	撮影画面の中で、映したくない部分を設定し、その部分だけを灰色にし、映さないようにする機能です。設定した部分は、パン、チルト、ズームに連動して移動します。 **☞29 ページ「プライベートマスク設定」**	–
マニュアル表示	プリセットされたポジション以外にリモートコントロールユニットでマニュアル操作した場合、画面上に“マニュアル”と表示させるかどうかの設定をします。ONに設定すると、その他にオートパン動作中、オートトレース動作中画面上にそれぞれ“オートパン”、“オートトレース”と表示されます。 **ON** ：マニュアル表示します。 **OFF** ：マニュアル表示しません。 ***MEMO*** 本項目が“ON”に設定されていても、エリア表示モード項目 **(☞23 ページ)** が、“タイトル”または“方位”に設定されている場合と、プリセットポジション選択時には、表示されません。	ON

カメラ機能 2 画面

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
オートフリップ	OFFに設定したときは、垂直回転動作をすると、本機は真下を向いたところで停止します。被写体が真下を通過する場合のカメラ操作は、①真下に向ける②水平に180°回転させる③上に向ける。この3 つの手順が必要です。オートフリップ機能を使うと、この手順を減らすことができます。 カメラの真下を通る被写体を撮影するときに設定します。 **OFF** ：オートフリップ機能は動作しません。 **AUTO 1** ：カメラが真下の位置にくると180°水平回転し、止まります。その場合に、カメラの動作方向とパン / チルトレバーの動作方向が一致します。 **AUTO 2** ：カメラが真下の位置にくると180°水平回転し、カメラの動作方向とチルトレバーの動作方向が逆になります。連続して操作したい場合に設定してください。一度操作を停止すると、動作方向は通常に戻ります。 **AUTO 3** ：カメラが真下の位置にくると180°水平回転し、カメラの動作方向とチルトレバーの動作方向が逆になりますが、操作停止後10秒以上経過すると、動作方向は通常に戻ります。	OFF
バリアブル P/T スピード	レンズのズームに応じて、パン（水平回転）、チルト（垂直回転）の動作速度を自動的に可変します。ズームレンズをTELE（望遠）側にすると、パン、チルトの速度は遅くなり、WIDE（広角）側にすると、パン、チルトの速度は速くなります。ズーム比の異なる被写体を撮影する場合に設定します。 **OFF** ：機能しません。 **ON** ：機能します。	ON
イージー AF	ON に設定すると手動でパン、チルト、ズーム操作を行なっている間、自動的にオートフォーカス（AF）が働きます。手動で操作することが多い場合、カメラを動かすごとにフォーカスを取り直す必要がなく便利です。 **OFF** ：機能しません。 **ON** ：機能します。 ***MEMO*** オートフォーカスは被写体によって十分にフォーカスが合わないことがあります。**(☞4 ページ)** その場合は手動でフォーカスを合わせてください。	OFF
IR プリセット AF	白黒モードでは可視光域と近赤外光域両方に感度をもつため、光源の種類によってはカラーモードから白黒モードに切り換えるとフォーカスがずれることがあります。このときONに設定すると、自動的にフォーカスを合わせます。 **OFF** ：機能しません。 **ON** ：機能します。	OFF
チルトリミット	マニュアル操作時のチルト（垂直）動作の可動範囲を設定します。プリセットポジションやオートトレース、オートパトロール動作には影響しません。10°に設定した場合チルト動作の可動範囲は10°から90°になり、0°～9°の間の操作ができなくなります。 [設定値：OFF,1°～10°] ***MEMO*** チルトリミットより優先される動作で、禁止領域内に移動した場合、その後マニュアルでチルト操作すると下記のように動作します。 ・有効領域内に入るまで、禁止領域内でも自由にチルト操作できます。 ・一度有効領域に入ると、その後はチルトリミット設定に従い、有効領域のみでのチルト操作になります。	5°
マニュアルパン リミット	マニュアル操作時のパン（水平）動作の可動範囲を設定します。プリセットポジション、オートパン、オートトレース動作には影響しません。 **☞30 ページ「マニュアルパンリミット設定」**	OFF

カメラタイトル／アラーム画面

タイトルおよびアラームについての設定をします。

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
カメラタイトル編集..	画面左下に常に表示されるタイトルを設定します。タイトルは最大16文字まで設定できます。 **☞32ページ「カメラタイトル設定」**	**──**
エリア表示モード..	エリアに関する設定をします。 **☞33, 34ページ「エリア表示モード設定」**	**OFF**
タイトル	水平回転範囲360°を16エリアに等分し、各エリアに16文字のタイトルを設定することができます。カメラを手動でパンニング（水平回転)させると、設定したエリアタイトルが表示されます。 **☞33ページ**	**──**
方位	基本軸となる方向N（北）を設定します。カメラを手動でパンニング（水平回転)させると、水平回転範囲360°が8エリアに等分され、それぞれ、N, NE, E, SE, S, SW, W, NWと表示されます。**☞34ページ**	
アラームタイトルサイズ	アラーム時に表示するタイトルのサイズを設定します。 **小**：メニュー画面の文字と、同じサイズです。 **大**：メニュー画面の文字に比べ縦・横2倍サイズです。	**大**
リモコンアラームタイトル編集..	アラーム時に表示するタイトルの設定画面です。 **☞35ページ「リモコンアラームタイトル設定」**	**──**
カメラアラーム入力..	アラーム入力端子に関する設定を行います。	
アラーム入力	アラーム入力時に、映像出力するカメラの状態を選択します。 **OFF**　：アラーム入力があっても映像出力しません。 **ホーム**：アラーム入力時、ホームポジションの映像を出力します。	**OFF**
入力接点	アラーム入力信号の極性を設定します。 **メーク**　：各アラーム入力端子とGND端子の接点がオープンからクローズになったときアラームが入ります。 **ブレイク**：各アラーム入力端子とGND端子の接点がクローズがオープンになったときアラームが入ります。 **── *MEMO* ──** アラーム入力項目がOFFに設定されている場合、“---”と表示され設定できません。	**メーク**
カメラアラーム出力	アラーム出力端子についての設定を行います。 **OFF**　：アラームは出力しません。 **アラーム**　：アラーム入力があったとき、アラーム信号を出力します。 **白黒**　：本機が白黒モードになったとき、アラーム信号を出力します。 **プリセット**　：プリセットポジションに移動したとき、アラーム信号を出力します。 **AUX 1～AUX 3**：オグジュアリー入力があったとき、アラーム信号を出力します。	**OFF**

カメラ ALC/ 映像画面

明るさによって自動的に調整を行います。
カラーレベル、輪郭強調などカメラの映像信号についての設定を行います。

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
シャッター	電子シャッターのスピードを設定します。 [設定値: 1/60, 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000] **MEMO** ● 商用電源周波数50Hz地域ではシャッタースピードを1/100に、60Hz地域では1/60に設定すると、蛍光灯などのチラツキを軽減することができます。 ● シャッタースピードは、高速になるほど明るい光源の上下に白い帯のような線が発生するCCD特有のスミア現象が強調されます。	1/60
AGC モード	光量の少ない被写体で電気的に感度を上げるAGC（自動ゲイン調整)の最大ゲインを設定します。 **OFF**　：自動ゲイン調整は行いません。 **10 dB**：被写体の明るさに応じて最大 10 dB までゲインを上げます。 **20 dB**：被写体の明るさに応じて最大 20 dB までゲインを上げます。 **MEMO** ● 白黒／カラーモード項目がオートに設定されている場合は、AGC モード項目は（20 dB）に設定され、設定値は変更できません。 ● ゲインを上げると暗い場所では画面がザラ付きます。	10 dB
白黒／カラーモード	白黒／カラーのモード切り換えに関する設定を行います。 **MEMO** ● 白黒モードでは可視光域と近赤外光域両方に感度をもつため、光源の種類によってはカラーモードから白黒モードに切り換えるとフォーカスがずれることがあります。このときは、白黒モードでフォーカスを合わせ直してください。また、IRプリセットAF項目（☞22ページ）をONに設定すると、モードの切換時に自動的にフォーカスを合わせることができます。 ● 必要に応じて赤外照明を使用してください。	―
白黒／ カラーモード	カラーから白黒モードに切り換える機能について設定します。 **カラー**　　：いつもカラーモードとなり、白黒モードには切り換わりません。 **白黒**　　：いつも白黒モードとなります。 **オート**　　：被写体の輝度が高い場合はカラーモード、低い場合は白黒モードに自動的に切り換わります。 **アラーム入力**：アラーム入力があった場合、白黒モードになります。接点がショート（メイク）時は白黒モードON、オープン（ブレイク）時は白黒モードOFF となります。 **MEMO** 〈白黒／カラー切り換えを確実に行うために〉 白黒／カラーモード項目をオートに設定すると、被写体の明るさに応じて白黒／カラーの切り換えを行うことができますが、照明の条件や画角によっては切り換わらないことがあります。より確実に切り換えを行うためには、外部センサー（別売）の信号を本機のアラーム端子へ入力し、切り換えを行うことをおすすめいたします。	カラー
白黒オートレベル	白黒／カラーモード項目がオートに設定されている場合、白黒モードに切り換わる被写体の信号レベルを設定します。 **低**　　：被写体の信号レベルが低輝度で白黒モードに切り換わります。 **ノーマル**：被写体の信号レベルが標準で白黒モードに切り換わります。 **高**　　：被写体の信号レベルが高輝度で白黒モードに切り換わります。 **MEMO** 白黒／カラーモード項目がオート以外に設定されている場合は“---”と表示され、オートレベル項目の設定変更はおこなえません。	ノーマル
照明	白黒モード時、被写体を照らす照明を設定します。 **通常**：通常の照明はこの設定にします。 **赤外**：赤外発光の照明を使用する場合に設定します。 **MEMO** 通常の太陽光、蛍光灯下で赤外に設定すると、カラーから白黒モードに正常に切り換わりません。	通常

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
カラーレベル	映像信号の色レベル調整を行います。 色を薄くする　…… 数を小さく 色を濃くする　…… 数を大きく [設定値：－ 5 ～ ノーマル～ 5]	**ノーマル**
エンハンスレベル	モニター画面上の鮮明さを強調する輪郭補正調整を行います。 画質をソフトにする　…… 数を小さく 画質をシャープにする　… 数を大きく [設定値：－ 5 ～ ノーマル～ 5]	**ノーマル**
ペデスタルレベル	映像信号のペデスタルレベル（黒の基準)の調整を行います。 画像を暗くする　…… 数を小さく 画像を明るくする　…… 数を大きく [設定値：－ 5 ～ ノーマル～ 5]	**ノーマル**

夜間モード画面

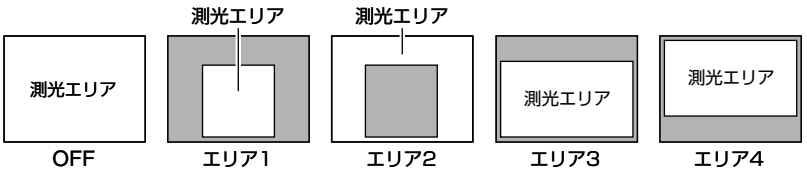
項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
強制白黒切換	夜間モード時の白黒制御を設定します。 **OFF** ：夜間モード時に白黒制御しません。 **ON** ：夜間モード時に白黒制御します。 ***MEMO*** “ON”に設定すると白黒／カラーモード項目が“OFF”、“オート”に設定されていても強制的に白黒になります。	ON

オートパン / トレース画面

ゆっくり水平回転するオートパン機能､手動でカメラ操作した内容を再現するオートトレース機能に関する設定を行います。

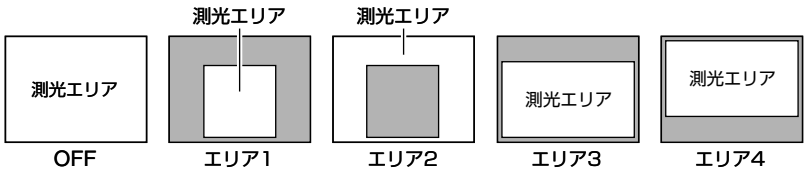
項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
オートパン設定 ..	オートパン動作に関する設定を行います。 **☞36 ページ「オートパン設定」**	**──**
オートパンモード	オートパン時の回転方向を設定します。 **オウフク**：開始位置と終了位置の往復 **右回転**　：右回転 **左回転**　：左回転	**オウフク**
オートパン速度	オートパン時の回転速度を設定します。 **低速**：低速回転 **通常**：標準回転 **高速**：高速回転	**通常**
オートパン位置設定 ..	オウフク時のオートパンの開始位置と終了位置を設定します。	**──**

オートパン / トレース画面（つづき）

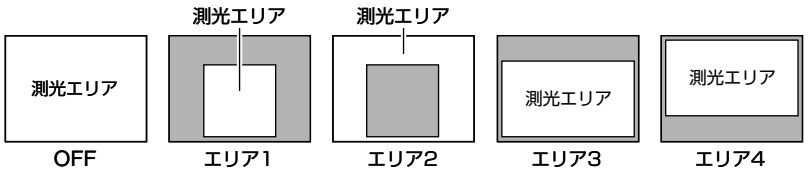
項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
オートトレース設定	オートトレース動作に関する設定を行います。 **☞37 ページ「オートトレース設定」**	**―**
映像設定（オートパン/トレース）	オートパン、オートトレース時の映像に関する設定を行います。	**―**
アイリスモード	レンズアイリスの調整方法を設定します。 **AUTO**　：自動でアイリスを標準状態に調整します。 **AUTO+**　：自動でアイリスを標準状態より明るめに調整します。 **AUTO −**　：自動でアイリスを標準状態より暗めに調整します。 **MANUAL**：手動でアイリスを調整するときに設定します。	**AUTO**
AVERAGE：PEAK	露出検出のしかたを平均値とピーク値の割合で設定します。 ● AVERAGE 値大：画面のハイライト部以外が暗くつぶれ気味のとき設定します。（例　10:0） ● PEAK 値大：画面のハイライト部がハレーション気味のとき設定します。（例 5：5） [設定値 10：0，9：1，8：2，7：3，6：4，5：5]	**8：2**
BLC モード	逆光補正機能を設定します。被写体の背景に明るい光源などがあり、オートアイリス機能で被写体が暗くなってしまう場合に設定します。不要な光源が測光エリア外となるようにします。 **OFF**　：逆光補正しません。 **エリア 1 ～エリア 4**　：下図を参照し設定します。 	**OFF**
ホワイトバランスモード	ホワイトバランス調整機能を設定します。色温度2300K～10000Kの範囲内の照明に対して調整できます。 **ATW**　：Auto-Tracking White Balance(自動色温度追尾)モードになります。照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。ATW 設定時は、R ゲイン , B ゲイン項目は“- - -”と表示され、色相調整は行えません。 **AWC**　：Auto White Control（自動白バランス調整)モードとなり、“〈セット〉AWC 開始”と表示されます。セットボタンを押すと AWC が機能し、ホワイトバランスを調整します。	**ATW**
R ゲイン	AWC 時の R（赤)の色相を調整します。 数字を大きくすると赤味が強くなります。 [設定値　0 ～ 255]	**―**
B ゲイン	AWC 時の B（青）の色相を調整します。 数字を大きくすると青味が強くなります。 [設定値　0 ～ 255]	**―**
リモコンオートパンキー	リモコンの AUTO PAN ボタンを押すと動作する機能を設定します。 **オートパン**　：オートパン機能 **オートトレース**　：オートトレース機能	**オートパン**

ホームポジション機能設定画面

ホームポジションに関する設定を行います

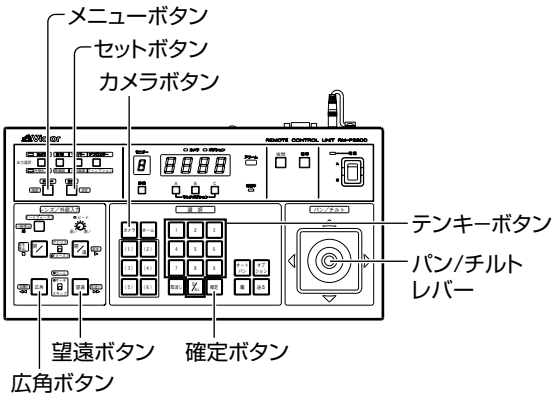
項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
ホームポジション タイトル設定 ..	ホームポジションタイトルを 20 文字× 2 行まで設定し、画面に表示します。 **☞39 ページ「ホームポジションタイトル設定」**	**——**
映像設定	ホームポジションでの映像に関する設定を行います。 A ～ H の 8 種類のシーン設定を行います。	**A**
アイリスモード	レンズアイリスの調整方法を設定します。 **AUTO**　：自動でアイリスを標準状態に調整します。 **AUTO+**　：自動でアイリスを標準状態より明るめに調整します。 **AUTO −**　：自動でアイリスを標準状態より暗めに調整します。 **MANUAL**：手動でアイリスを調整するときに設定します。	**AUTO**
AVERAGE： PEAK	露出検出のしかたを平均値とピーク値の割合で設定します。 ● AVERAGE 値大：画面のハイライト部以外が暗くつぶれ気味のとき設定します。（例　10:0） ● PEAK 値大：画面のハイライト部がハレーション気味のとき設定します。（例 5：5） [設定値 10：0，9：1，8：2，7：3，6：4，5：5]	**8：2**
BLC モード	逆光補正機能を設定します。被写体の背景に明るい光源などがあり、オートアイリス機能で被写体が暗くなってしまう場合に設定します。不要な光源が測光エリア外となるようにします。 **OFF**　：逆光補正しません。 **エリア 1 ～エリア 4**　：下図を参照し設定します。 	**OFF**
ホワイトバランス モード	ホワイトバランス調整機能を設定します。色温度2300K～10000Kの範囲内の照明に対して調整できます。 **ATW**　：Auto-Tracking White Balance(自動色温度追尾)モードになります。照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。ATW 設定時は、R ゲイン , B ゲイン項目は“- - -”と表示され、色相調整は行えません。 **AWC**　：Auto White Control（自動白バランス調整)モードとなり、“〈セット〉AWC 開始”と表示されます。セットボタンを押すと AWC が機能し、ホワイトバランスを調整します。	**ATW**
R ゲイン	AWC 時の R（赤)の色相を調整します。 数字を大きくすると赤味が強くなります。 [設定値　0 ～ 255]	**——**
B ゲイン	AWC 時の B（青）の色相を調整します。 数字を大きくすると青味が強くなります。 [設定値　0 ～ 255]	**——**

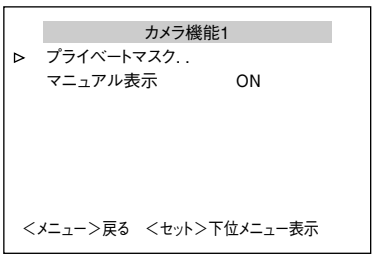
ポジション映像(タイトル)設定画面

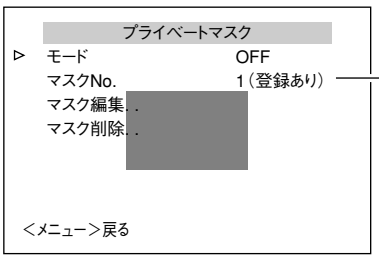
項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
ポジションタイトル設定 ..	プリセットポジションのタイトルの表示を設定します。 **—— *MEMO* ——** ポジションタイトルは、ホームポジション設定では表示されません。	——
リモコン	リモートコントロールユニットRM-P2200/RM-P2600で設定した値を表示します。設定値はカテゴリタイトル、ポジション番号、マルチポジションなどです。	
カメラ編集	編集したタイトルを表示します。セットボタンを押して編集画面を起動し設定します。 **☞40 ページ「プリセットポジションタイトル設定」**	
映像設定	プリセットポジションでの映像に関する設定を行います。 A ～ H の 8 種類のシーン設定を行います。	A
アイリスモード	レンズアイリスの調整方法を設定します。 **AUTO**　：自動でアイリスを標準状態に調整します。 **AUTO+**　：自動でアイリスを標準状態より明るめに調整します。 **AUTO −**　：自動でアイリスを標準状態より暗めに調整します。 **MANUAL**：手動でアイリスを調整するときに設定します。	AUTO
AVERAGE：PEAK	露出検出のしかたを平均値とピーク値の割合で設定します。 ● AVERAGE 値大：画面のハイライト部以外が暗くつぶれ気味のとき設定します。（例　10:0） ● PEAK 値大：画面のハイライト部がハレーション気味のとき設定します。（例 5：5） [設定値 10：0，9：1，8：2，7：3，6：4，5：5]	8：2
BLC モード	逆光補正機能を設定します。被写体の背景に明るい光源などがあり、オートアイリス機能で被写体が暗くなってしまう場合に設定します。不要な光源が測光エリア外となるようにします。 **OFF**　：逆光補正しません。 **エリア 1 ～エリア 4**　：下図を参照し設定します。 	OFF
ホワイトバランスモード	ホワイトバランス調整機能を設定します。色温度2300K～10000Kの範囲内の照明に対して調整できます。 **ATW**　：Auto-Tracking White Balance(自動色温度追尾)モードになります。照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。ATW 設定時は、R ゲイン , B ゲイン項目は“- - -”と表示され、色相調整は行えません。 **AWC**　：Auto White Control（自動白バランス調整)モードとなり、“〈セット〉AWC 開始”と表示されます。セットボタンを押すと AWC が機能し、ホワイトバランスを調整します。	ATW
R ゲイン	AWC 時の R（赤)の色相を調整します。 数字を大きくすると赤味が強くなります。 [設定値　0 ～ 255]	——
B ゲイン	AWC 時の B（青）の色相を調整します。 数字を大きくすると青味が強くなります。 [設定値　0 ～ 255]	——

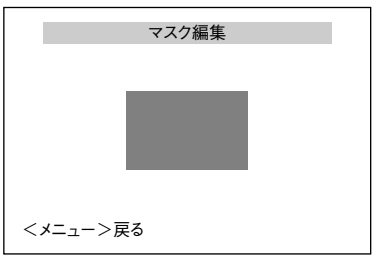
プライベートマスク設定

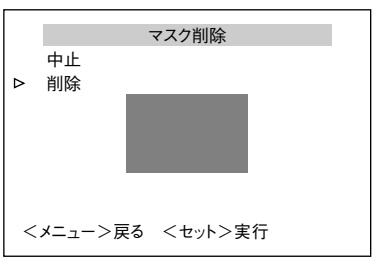
撮影画面で映したくない部分を灰色にするプライベートマスクの設定を行ないます。
設定は表示画面中に 4 か所、カメラ全体で 8 か所設定できます。











1. カメラを選択(☞ RM-P2200/2600各「取扱説明書」)
カメラボタン→テンキーボタン（カメラ番号）→確定ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. カメラメニュー設定画面を表示(☞19ページ *2.*～ *6.*)

カメラメニュー設定画面が表示されます。

3. パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(▷)をカメラ機能 1 項目に移動し、セットボタンを押す

カメラ機能 1 画面が表示されます。

4. カーソル(▷)をプライベートマスク項目に移動し、セットボタンを押す

プライベートマスク画面が表示されます。

5. 機能の ON/OFF を設定

モード項目がONでプライベートマスクが機能し、OFFでは機能しません。
(初期値：OFF)

6. マスク番号を選択

マスク No.1 ～ No.8 でプライベートマスクする No. を選択してからカーソルをマスク編集項目に移動します。
1 画面に設定できるのはそのうちの 4 か所のみです。
すでに編集されたマスク番号を選択したときは(登録あり)と表示されます。

7. マスク範囲を設定

- マスク編集 項目にカーソルを移動し、セットボタンを押しマスク編集 画面を表示させます。(マスクエリアが灰色に表示されます)
- パン / チルトレバーでマスクをかける中心に灰色部がくるように画角を合わせます。
- 望遠ボタン、広角ボタンでマスクをかける範囲を設定します。

8. メニューボタンを押す

- 設定したマスクの設定を保存し、上位メニュー画面(プライベートマスク 画面)に戻ります。
- プライベートマスクエリアを消去する場合は、削除したいマスク No. を選択し、マスク削除ページに入ります。削除にカーソルを移動し、セットボタンを押します。
  データ消去後に、プライベートマスク画面に戻ります。
- 消去をやめる場合は、中止項目を選択しセットボタンを押します。

9. *6.*～ *8.* を繰り返す

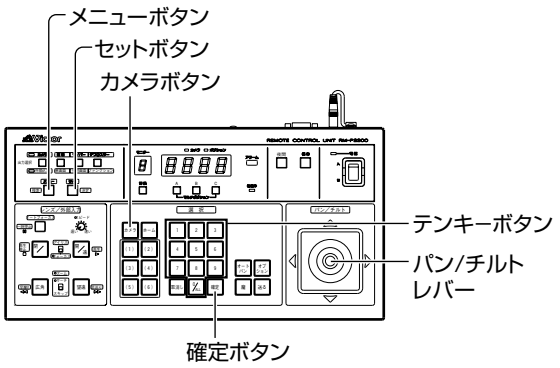
10. メニューボタンを押す

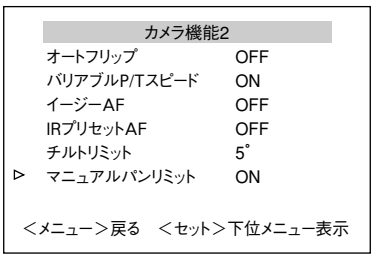
— MEMO —

- 設定されたプライベートマスク範囲でもカメラの向き、またはズーム位置によっては対象物が映ってしまう場合があります。必ず設定後にカメラの向きとズーム位置を動かしてプライベートマスク設定範囲が映らないことを確認してください。また対象物が映ってしまう場合は“7.マスク範囲を設定”でマスク範囲を大きく設定してください。
- 電源投入直後の初期動作時は、プライベートマスク機能は正常に動作しません
- マスクが5 つ以上設定されている画面を映した場合は、全画面にマスクが表示されます。
- チルト位置が水平方向から約40°以上の場合、マスクの設定はできません。
- 同一画面に設定できるマスクは4か所です。
- 同一画面に4か所マスクを設定している場合、ごく近い領域では次のマスクを設定できないことがあります。その場合は画角を設定し直してください。

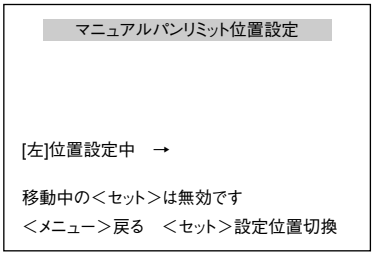
マニュアルパンリミット設定

マニュアル操作する場合の、パン(水平)操作できる範囲を設定します。

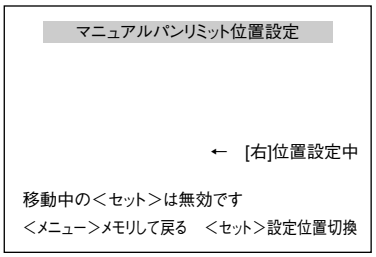




カメラ機能２画面



マニュアルパンリミット設定画面(左位置)



マニュアルパンリミット設定画面(右位置)

1. カメラを選択(☞ RM-P2200/2600各「取扱説明書」)
カメラ ボタン→テンキーボタン（カメラ番号)→確定ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. メニュー画面表示（☞ 19ページ2.～ 6.）

メニュー画面が表示されます。

3. パン/チルトレバーを上下に動かし、カーソル（▷）をカメラ機能2項目に移動し、セットボタンを押す

カメラ機能２画面が表示されます。

4. カーソル（▷）をマニュアルパンリミット項目に移動し、パン/チルトレバーを左右に動かしONを選択する

5. セットボタンを押す

マニュアルパンリミット位置設定画面(左位置)が表示されます。

6. 左リミット位置を設定

・パン/チルトレバーで左側のリミット位置を決めます。
・操作中画面左下に「[左]位置設定中→」と表示されます。

7. セットボタンを押す

8. 右リミット位置を設定

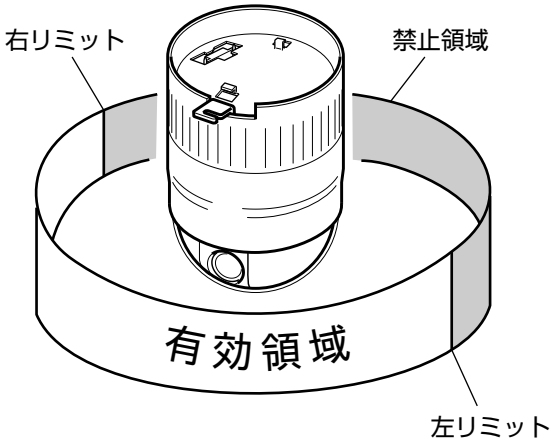
パン/チルトレバーで右側のリミット位置を決めます。操作中画面右下に「←[右]位置設定中」と表示されます。

9. メニューボタンを押す

設定済みのリミット位置が記憶され、カメラ機能2画面に戻ります。

— MEMO —

- 本メニュー中も、チルト操作、ズーム操作、フォーカス操作は可能です。
- すでにパンリミットが設定されている場合に本メニューを起動したとき、カメラは設定された左リミット位置に移動します。
- パン移動中の〈セット〉は無効です。パン移動が停止してから〈セット〉ボタンを押してください。
- オートフリップの移動先が本項目で設定した領域外の場合、オートフリップ動作が優先となります。
- プリセットポジション設定中、マニュアルパンリミットは有効です。
- プリセットポジション移動はマニュアルパンリミットを無視して動作します。
- マニュアルパンリミット設定がONの場合でも、以下の設定には影響しません。
  ・プライベートマスク設定
  ・オートパン位置設定
  ・エリア表示モード設定



■マニュアルパンリミットの基本動作

●マニュアルパンリミットを設定すると、有効領域のみパン操作できます。

●マニュアルパンリミットより優先される動作で、禁止領域内に移動した場合、その後マニュアルでパン操作すると、下記のように動作します。

・有効領域に入るまで、禁止領域内でも自由にパン操作できます。

・一度有効領域に入るとその後はマニュアルパンリミット設定に従い、有効領域のみのパン操作になります。

■マニュアルパンリミットより優先される動作

下記動作は、マニュアルパンリミットで設定した禁止領域に関係なく動作します。

・オートパン動作
・オートトレース動作
・プリセットポジション移動
・オートフリップ動作

■マニュアルパンリミットより優先される設定

下記メニューの設定は、パン動作をともないますが、マニュアルパンリミットが設定されていても、禁止領域に関係なく設定できます。

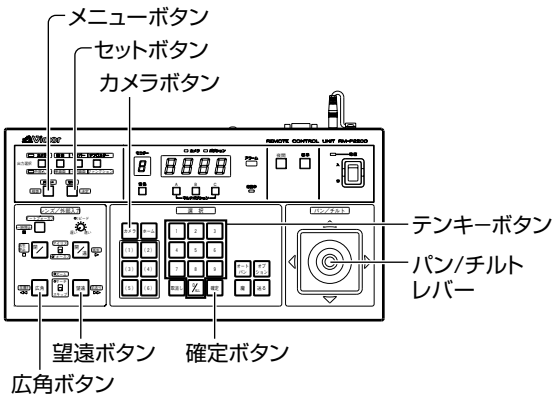
・プライベートマスク設定
・オートパン設定
・エリア表示モード(エリアタイトル)設定
・エリア表示モード(方位)設定

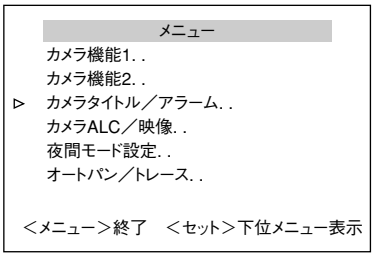
— MEMO —

オートトレース設定、プリセットポジション設定は、設定時にマニュアルパンリミット設定がONになっている場合、禁止領域ではパン操作できません。
ただし、オートトレース動作とプリセットポジション移動は、マニュアルパンリミットより優先される動作なので、マニュアルパンリミット設定の前にオートトレース設定または、プリセットポジション設定を行い、その後マニュアルパンリミット設定を行なっても、禁止領域に関係なく動作します。

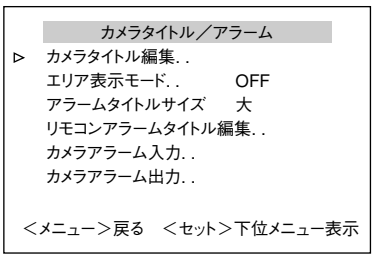
カメラタイトル設定

タイトルを最大 16 文字まで設定できます。
画面左下に常に表示されます。

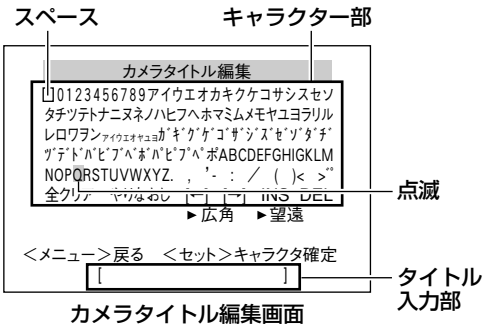




カメラメニュー設定画面



カメラタイトル／アラーム画面



カメラタイトル編集画面

1. カメラを選択(☞RM-P2200/2600各「取扱説明書」)
カメラボタン → テンキーボタン(カメラ番号)
→ 確定ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. カメラメニュー設定画面を表示(☞19ページ*2.*～ *6.*)

カメラメニュー設定画面が表示されます。

3. パン/チルトレバーを上下に動かし、カーソル(▷)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、セットボタンを押す

カメラタイトル／アラーム画面が表示されます。

4. カメラタイトル編集にカーソル(▷)があることを確認し、セットボタンを押す

- カメラタイトル編集画面が表示されます。
- キャラクター部の 1 文字目が点滅し入力状態となります。

5. パン/チルトレバーを上下左右に動かし、キャラクター部から1文字目を選択する

- 選択した文字は点滅表示します。

6. セットボタンを押す

- タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
- 広角ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. *5.*～*6.*を繰り返す

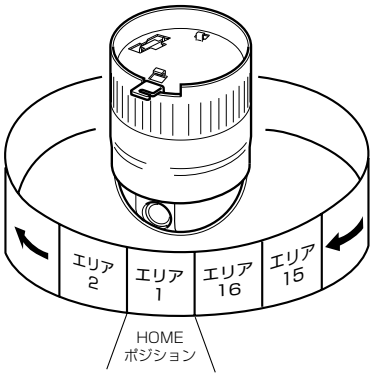
カメラタイトルをすべて入力します。

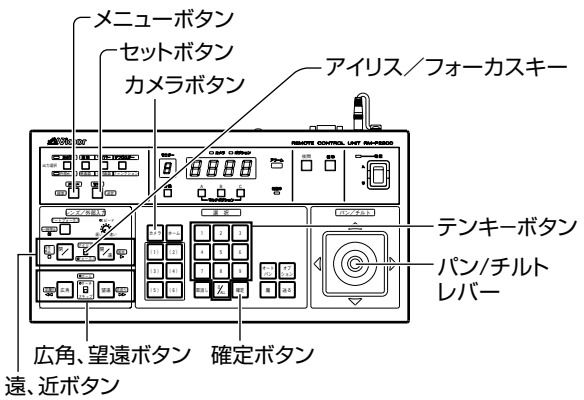
8. メニューボタンを押す

- 設定したカメラタイトルが保存され、上位メニュー画面が表示されます。
- 複数のカメラタイトルを設定する場合は、*1.*～ *7.*を繰り返し行なってください。

エリア表示モード設定(タイトル)

360°のパンニング(水平回転)範囲を 16 エリアに等分割し、カメラを手動で回転させるとき、エリアタイトルを画面に表示します。各エリアに 16 文字まで設定できます。(エリアタイトル表示の入 / 切 ☞ 23 ページ「エリアタイトル項目」)






```
        メニュー
    カメラ機能1. .
    カメラ機能2. .
▷   カメラタイトル／アラーム. .
    カメラALC／映像. .
    夜間モード設定. .
    オートパン／トレース. .

 <メニュー>終了  <セット>下位メニュー表示
```

カメラメニュー設定画面

```
      カメラタイトル／アラーム
    カメラタイトル編集. .
▷   エリア表示モード. .      タイトル
    アラームタイトルサイズ    大
    リモコンアラームタイトル編集. .
    カメラアラーム入力. .
    カメラアラーム出力. .

 <メニュー>戻る  <セット>下位メニュー表示
```

カメラタイトル／アラーム画面

スペース　　キャラクター部

```
      エリアタイトル編集 エリアNo.**
 0123456789アイウエオカキクケコサシスセソ
タチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリル
レロワヲンｧｨｩｪｫｬｭｮｶﾞｷﾞｸﾞｹﾞｺﾞｻﾞｼﾞｽﾞｾﾞｿﾞﾀﾞﾁﾞ
ﾂﾞﾃﾞﾄﾞﾊﾞﾋﾞﾌﾞﾍﾞﾎﾞﾊﾟﾋﾟﾌﾟﾍﾟﾎﾟABCDEFGHIGKLM
NOPQRSTUVWXYZ. , '- : / ( )< >"
全クリア  ﾔﾘなおし  ←  →  INS  DEL
                ▶広角  ▶望遠
<フォーカスキー>エリアNo.選択
<メニュー>戻る  <セット>キャラクタ確定
[                    ]
```

点滅

タイトル入力部

エリアタイトル編集画面

1. **カメラを選択(☞RM-P2200/2600各「取扱説明書」)カメラボタン→テンキーボタン（カメラ番号）→確定ボタン**

選択カメラの映像が出力されます。

2. **カメラメニュー設定画面を表示(☞19ページ*2.*～ *6.*)**

カメラメニュー設定画面が表示されます。

3. **パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(▷)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、セットボタンを押す**

カメラタイトル／アラーム 画面が表示されます。

4. **エリア表示モード編集項目にカーソル(▷)を移動し、パン／チルトレバーを左右に動かしタイトルを選択し、セットボタンを押す**

・エリアタイトル編集エリア No.1 画面が表示されます。
（ホームポジションはエリア No.1 に対応）
・キャラクター部の 1 文字目が点滅し、入力状態となります。

5. **パン／チルトレバーを上下左右に動かし、キャラクター部から 1 文字目を選択する**

・選択した文字は点滅表示します。

6. **セットボタンを押す**

・タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
・広角ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. **アイリス／フォーカスキーをフォーカスにして、遠ボタンを押す**

・カメラが次のエリアに移動し、エリアタイトル編集エリア No.2 画面が表示されます。
・近ボタンを押すと前のエリアに戻り、前のエリアタイトル編集エリア No.1 画面が表示されます。

8. ***5.*** **～** ***7.*** **を繰り返す**

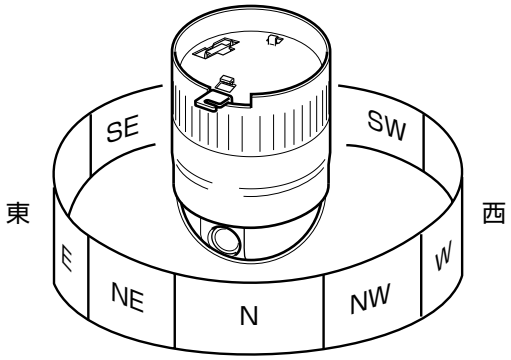
・すべてのエリアタイトルを入力します。

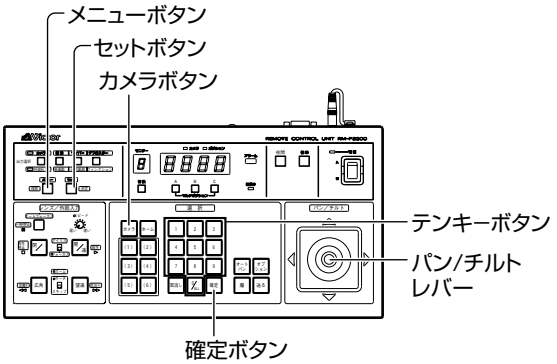
9. **メニューボタンを押す**

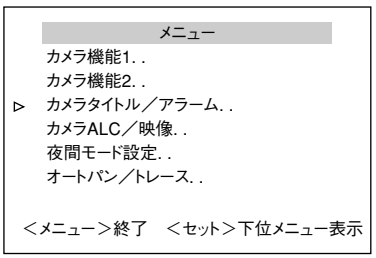
・設定したエリアタイトルが保存され、上位メニュー画面が表示されます。

エリア表示モード設定(方位)

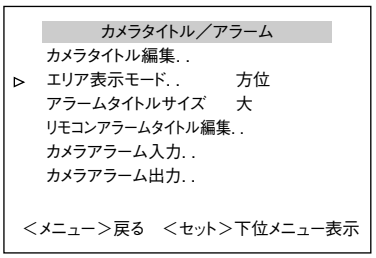
基本軸となる方向N（北）を設定すると、360°のパンニング（水平回転)範囲が８エリアに等分割され、カメラを手動でパンニング(水平回転)させると、それぞれ、N,NE,E,SE,S,SW,W,NWと表示されます。



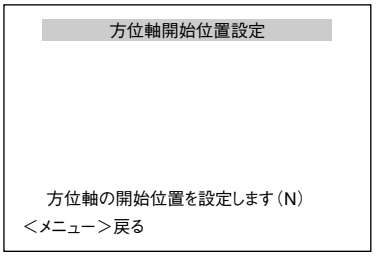




カメラメニュー設定画面



カメラタイトル／アラーム画面



方位軸開始位置設定画面

1. カメラを選択(☞RM-P2200/2600各「取扱説明書」)
カメラボタン→テンキーボタン(カメラ番号)
→確定ボタン
選択カメラの映像が出力されます。

2. カメラメニュー設定画面を表示(☞19ページ*2.*～*6.*)
カメラメニュー設定画面が表示されます。

3. パン/チルトレバーを上下に動かし、カーソル(▷)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、セットボタンを押す
カメラタイトル／アラーム画面が表示されます。

4. エリア表示モード項目にカーソル（▷)を移動し、パン/チルトレバーを左右に動かし方位を選択する

5. セットボタンを押す
· 方位軸開始位置設定画面が表示されます。

6. パン/チルトレバーを左右に動かし基本軸となる方位（N）を設定します。

5. メニューボタンを押す
· 方位軸開始位置が設定され、通常画面左上に方位が表示されます。
· 方位はそれぞれN(北),NE(北東),E(東),SE(南東),S(南),SW(南西),W(西),NW(北西)で表示されます。

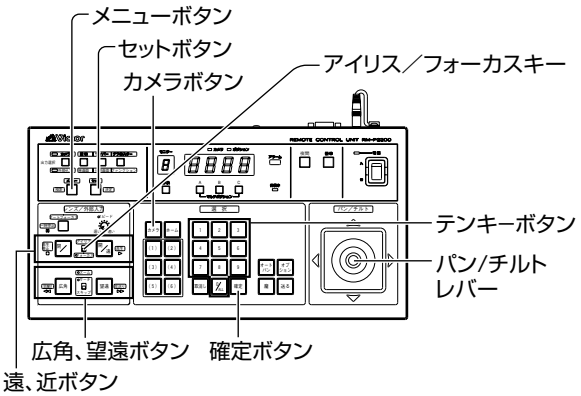
MEMO

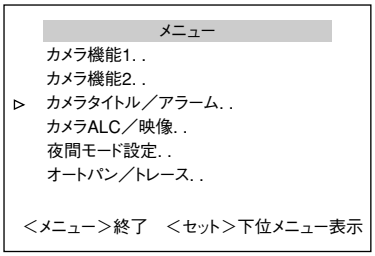
- 本メニュー中も、チルト操作、ズーム操作、フォーカス操作は可能です。
- すでに方位軸開始位置が設定されている場合に本メニューを起動したとき、カメラは設定された方位軸開始位置に移動します。

リモコンアラームタイトル設定

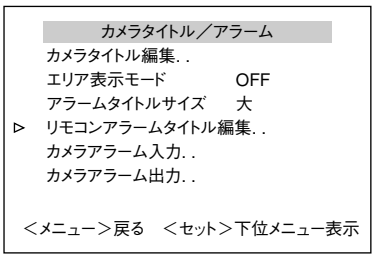
アラーム入力時、表示するタイトルを設定します。

タイトルは10種類(リモコンアラームタイトルNo.1 ～No. 10)設定でき、それぞれ12 文字設定できます。

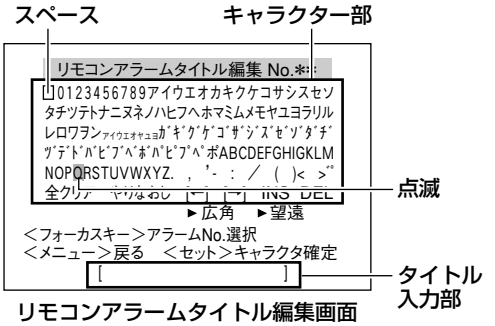




カメラメニュー設定画面



カメラタイトル／アラーム画面



リモコンアラームタイトル編集画面

1. カメラを選択(☞RM-P2200/2600各「取扱説明書」)カメラボタン→テンキーボタン(カメラ番号)→確定ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. カメラメニュー設定画面を表示(☞19ページ*2.*～*6.*)

カメラメニュー設定画面が表示されます。

3. パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(▷)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、セットボタンを押す

カメラタイトル／アラーム 画面が表示されます。

4. リモコンアラームタイトル編集項目にカーソル(▷)を移動しセットボタンを押す

・リモコンアラームタイトル編集 No.1 画面が表示されます。
・キャラクター部の 1 文字目が点滅し、入力状態となります。

5. パン／チルトレバーを上下左右に動かし、キャラクター部から1文字目を選択する

・選択文字は点滅表示します。

6. セットボタンを押す

・タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
・広角ボタンを押すと、タイトル入力部の位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. アイリス／フォーカスキーをフォーカスにして、遠ボタンを押す

・次のアラーム入力(リモコンアラームタイトル編集No.2)画面が表示されます。
・近ボタンを押すと、前のアラーム入力画面に戻ります。

8. *5.*～*7.* を繰り返す

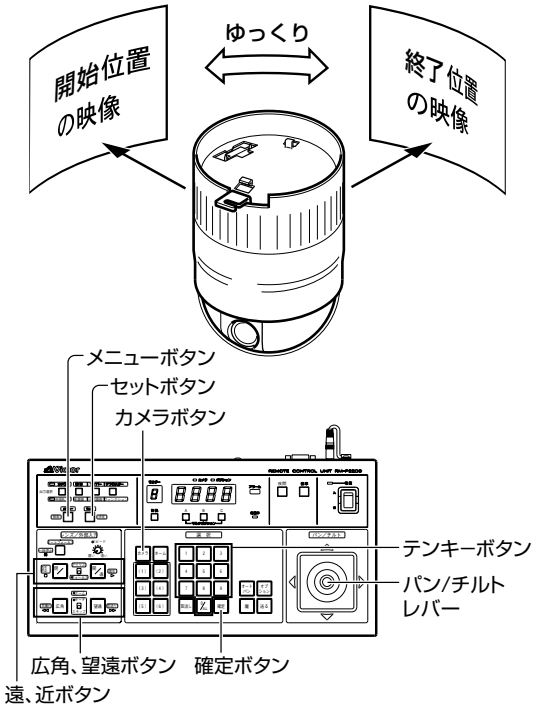
・すべてのアラーム入力画面(リモコンアラームタイトル編集No.1 ～ No.10)において、タイトルを設定します。

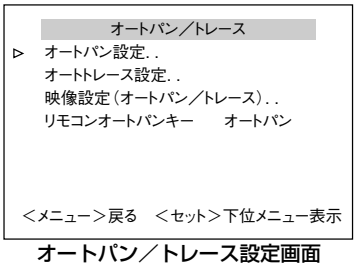
9. メニューボタンを押す

設定したリモコンアラームタイトルが保存され、上位メニュー画面が表示されます。

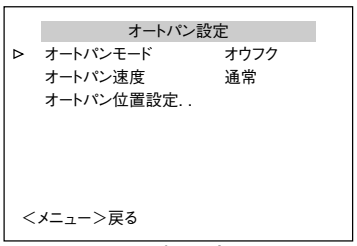
オートパン設定

ゆっくり水平方向に回転するオートパン機能を設定します。
オートパンモードには、2 点間をオウフク，右回転，左回転の 3 つのモードがあります。

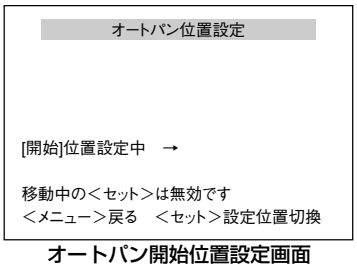




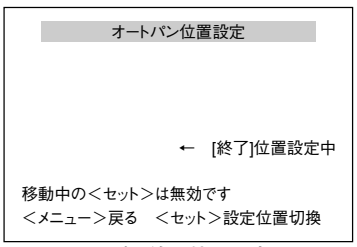
オートパン／トレース設定画面



オートパン設定画面



オートパン開始位置設定画面



オートパン終了位置設定画面

1. カメラを選択(☞RM-P2200/2600各「取扱説明書」)
カメラボタン → テンキーボタン(カメラ番号)
→ 確定ボタン
選択カメラの映像が出力されます。

2. カメラメニュー設定画面を表示(☞19ページ*2.*～ *6.*)
カメラメニュー設定画面が表示されます。

3. パン/チルトレバーを上下に動かし、カーソル（▷）をオートパン/トレース項目に移動し、セットボタンを押す
オートパン / トレース画面が表示されます。

4. セットボタンを押す
カーソルがオートパン設定項目にある事を確認し、セットボタンを押します。

5. モードと速度を設定
・オートパンモード項目でオートパンの動作を設定します。オウフク（2 点間の往復)、右回転、左回転
・オートパン速度項目で、オートパンの回転速度を設定します。低速、通常、高速

6. オートパン位置設定項目にカーソル（▷）を移動し、セットボタンを押す（オウフク時のみ）
オートパン位置設定画面が表示されます。

7. 開始位置の画角を合わせる（オウフク時のみ）
・パン/チルトレバー、フォーカス、ズームボタンで画面を合わせます。
・戻り位置で上下方向およびフォーカス、ズームなどのレンズ操作は行えません。
・設定中画面左下に「[開始]位置設定中→」と表示されます。

8. セットボタンを押す（オウフク時のみ）
開始位置から終了位置に切り換わります。

9. 終了位置を設定する（オウフク時のみ）
・パン / チルトレバーで戻り位置を設定します。
・設定中画面右下に「←[終了]位置設定中」と表示されます。

10. メニューボタンを押す
・設定したオートパン位置が保存され、上位メニュー画面（「オートパン設定」画面）が表示されます。

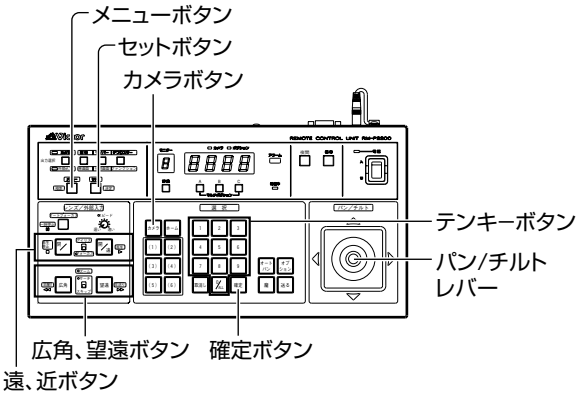
— MEMO

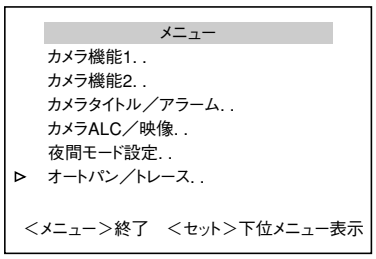
- 戻り位置での上下（チルト)方向の移動およびレンズ操作は行えません。
- カメラが移動中に、セットボタン、またはメニューボタンを押すと、正しい設定データが書き込まれません。必ずカメラが停止していることを確認してからセットボタンまたはメニューボタンを押してください。
- 本メニュー中はマニュアルパンリミットモードは一時的にOFFになります。メニュー終了後、マニュアルパンリミットが設定されても動作には影響しません。

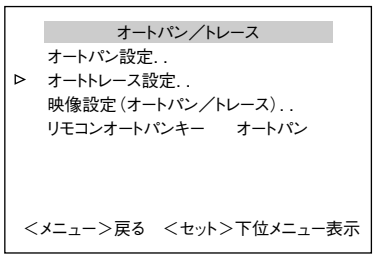
設定後、カメラをオートパン動作させるには、RM-P2200 もしくは、RM-P2600 のオートパンボタンを押します。
☞ RM-P2200/RM-P2600 各取扱説明書「オートパン動作」

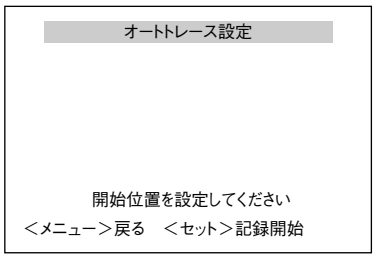
オートトレース設定

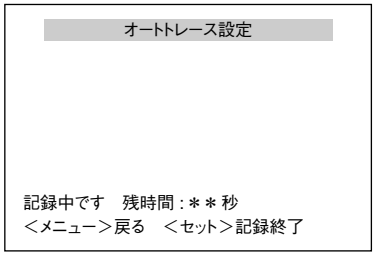
手動でカメラ操作した内容を再現するオートトレース機能(約 30 秒間)を設定します。











1. カメラを選択(☞RM-P2200/2600 各「取扱説明書」)カメラボタン→テンキーボタン(カメラ番号)→確定ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. カメラメニュー設定画面を表示(☞19ページ*2.*～ *6.*)

カメラメニュー設定画面が表示されます。

3. パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(▷)をオートパン／トレース項目に移動し、セットボタンを押す

オートパン／トレース 画面が表示されます。

4. カーソルをオートトレース設定項目に移動し、セットボタンを押す

オートトレース設定 画面が表示されます。

5. 開始位置の設定

パン/チルトレバー、フォーカス、ズームボタンなどでオートトレース機能の開始位置を設定します。

6. セットボタンを押す(記録開始)

- オートトレース記録状態となりますので、パン / チルトレバー、フォーカス、ズームボタンでカメラを操作します。
- オートトレース機能は最大約 30 秒間記憶され、“その間“記録中です。残時間：＊＊秒”と表示されます。
- 約 30 秒経過後、自動的に記録は終了します。
- 30 秒以内に記録を終了する場合のみ *7.* を行なってください。
- 操作する内容によって、記録する時間は短くなることがあります。(最小約 10 秒)

7. セットボタンを押す(記録終了)

- オートトレース記録状態が終了し、“記録終了しました”と表示されます。

8. メニューボタンを押す。

オートパン／トレース 画面に戻ります。

— MEMO —

- 本メニュー中はオート動作の記憶はできません。
- 本メニュー中はマニュアルパンリミット有効です。
- 本メニュー終了後、新たにマニュアルパンリミット設定されても、オートトレース動作には影響しません。
- オートトレースは、マニュアル操作を簡易的に記録しているため、再生時に位置が多少ずれることがあります。

オートトレース動作をさせるには

設定後カメラをオートトレース動作させるには、まずRM-P2200または、RM-P2600のオートパンボタンにオートトレース機能を設定する必要があります。

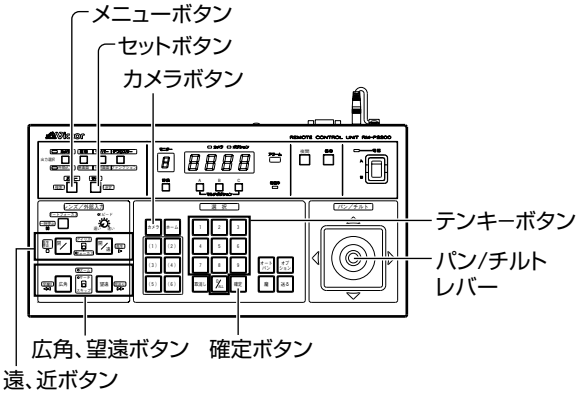
☞26 ページ「リモコンオートパンキー項目」

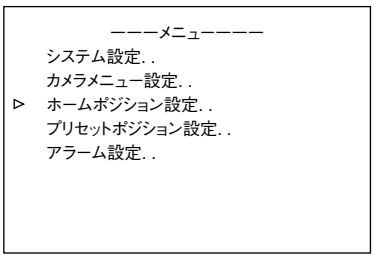
オートトレース機能を設定したボタンを押すと、ボタンランプが点灯し、オートトレース動作を開始します。オートトレース動作は動作終了後開始位置に戻り、30 秒間停止したのち繰り返し動作します。

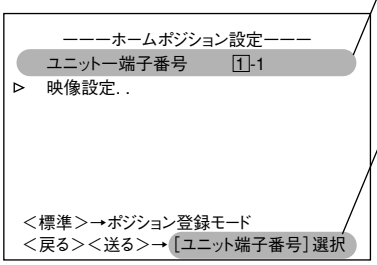
動作を終了するには、オートトレース機能を設定したボタンをもう一度押しボタンランプを消灯させます。

オートホワイトバランス調整

光源によって光の色(色温度)が異なるため、被写体を照らす主要な光源が変わったときは、ホワイトバランス項目を AWC に設定してホワイトバランスを再調整してください。

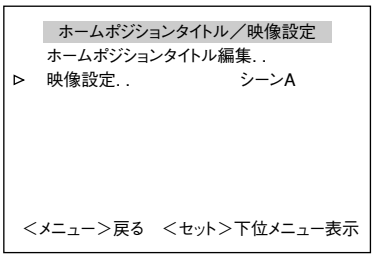


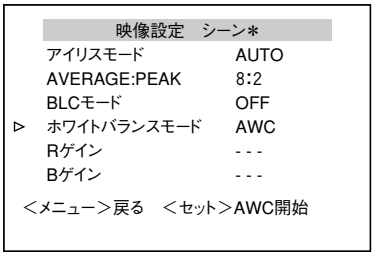




RM-P2200のみ RM-P2600では“カメラ番号 カメラ1”が表示されます。

RM-P2200のみ RM-P2600では“カメラ選択”が表示されます。





注記

映像設定シーン画面を表示するには下記に示すホームポジション設定から入る方法とプリセットポジション設定から入る方法の2とおりがあります。プリセットポジション設定から入る方法はP20のメニュー画面の流れを参照して操作してください。

1. 画面の中心付近に被写体と同じ照明条件のところに白いものを置き、ズームアップして画面に白を映します。

2. メニュー画面を表示 (☞19ページ *2.*～ *4.*) パン／チルトレバーでホームポジション設定項目選択→セットボタン

カメラはホームポジションに移動します。
ホームポジション設定画面が表示されます。

3. パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(▷)を映像設定項目に移動し、セットボタンを押す

ポジション映像設定画面が表示されます。

4. 映像設定シーン A 画面を表示

パン／チルトレバーでシーンを選択→セットボタン映像設定シーン画面が表示されます。

5. カーソルをホワイトバランス項目に移動し、パン／チルトレバーでAWCに設定します。

画面に“〈セット〉AWC 開始”が表示されます。

6. セットボタンを押す(調整開始)

オートホワイトバランス調整機能が動作中、画面左下に“AWC 動作中”と表示します。
正しくホワイトバランスがとれると、“AWC 正常終了”と表示します。

7. エラー表示

オートホワイトバランス調整が正常に終了しなかった場合、下記のようなメッセージを表示します。

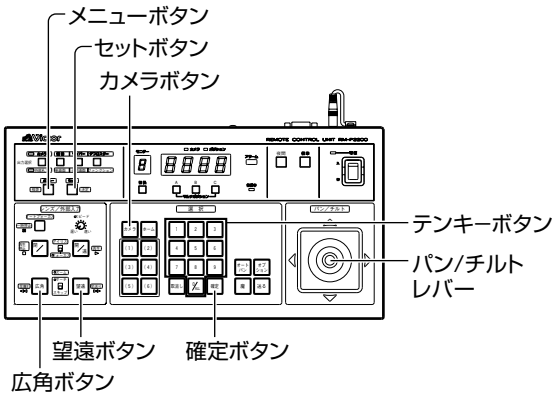
- **AWC エラー：補正範囲外**
  被写体の白が少ないときや色温度が適正でないときなどに表示されます。
  白い被写体が画面に十分になるようにして、再びホワイトバランスを取り直してください。
- **AWC エラー：ローライト(光量不足)**
  照明が暗いときに表示されますので照明を明るくしてホワイトバランスを取り直してください。
- **AWC エラー：ハイライト(光量過剰)**
  照明が明るすぎるときに表示されますので照明を暗くしてホワイトバランスを取り直してください。

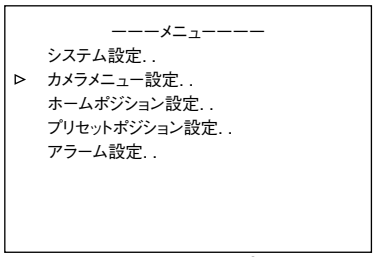
MEMO

白黒モードで動作中はAWCに設定してもホワイトバランスは再調整されません。

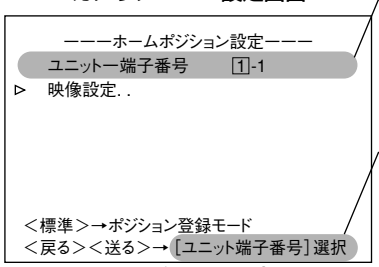
ホームポジションタイトル設定

タイトルを最大２行 40 文字まで設定できます。
タイトルがホームポジションの画面下に表示されます。





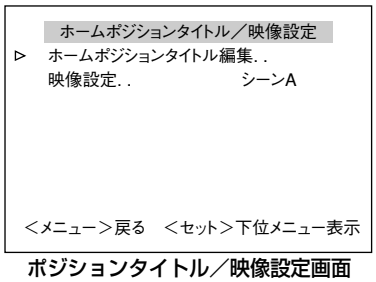
カメラメニュー設定画面



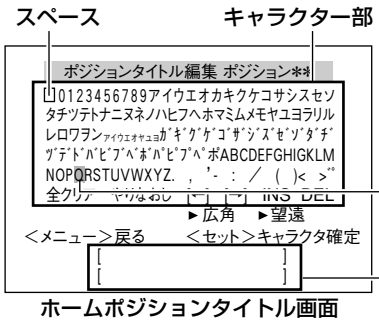
RM-P2200のみ
RM-P2600では
“カメラ番号 カメラ1”が表示されます。

RM-P2200のみ
RM-P2600では
“カメラ選択”が表示されます。

ホームポジション設定画面



ポジションタイトル／映像設定画面



点滅

タイトル
入力部

ホームポジションタイトル画面

1. **カメラを選択(☞RM-P2200/2600各「取扱説明書」)
カメラボタン→テンキーボタン(カメラ番号)
→確定ボタン**

選択カメラの映像が出力されます。

2. **メニュー画面を表示(☞19ページ *2.*～ *4.*)**

メニュー画面が表示されます。

3. **パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(▷)をホームポジション設定項目に移動し、セットボタンを押す**

ホームポジション設定画面が表示されます。

4. **パン／チルトレバーを上下に動かし､カーソル(▷)を映像設定項目に移動し、セットボタンを押す**

ホームポジションタイトル／映像設定画面が表示されます。

5. **ホームポジションタイトル編集にカーソル(▷)があることを確認し、セットボタンを押す**

・ホームポジションタイトル 画面が表示されます。
・キャラクター部の１文字目が点滅し入力状態となります。

6. **パン／チルトレバーを上下左右に動かし、キャラクター部から1文字目を選択する**

・選択した文字は点滅表示します。

7. **セットボタンを押す**

・タイトルの1 文字目が確定し､2 文字目が入力状態となります。
・広角ボタンを押すと､タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

8. ***6.*～ *7.*を繰り返す**

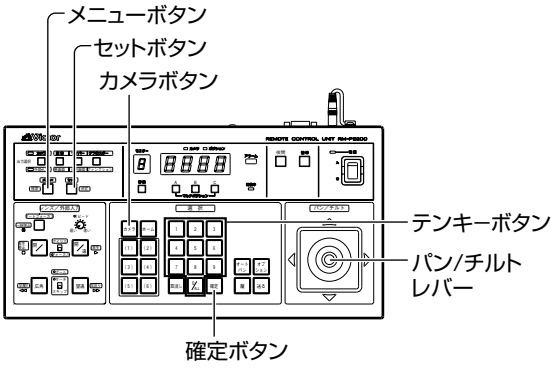
ホームポジションタイトルをすべて入力します。

9. **メニューボタンを押す**

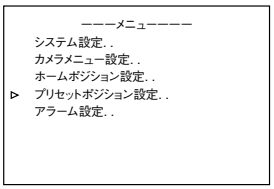
・上位メニュー画面が表示されます。
・複数のカメラにホームポジションタイトルを設定する場合は、***1.*～ *8.***を繰り返し行なってください。

プリセットポジションタイトル設定

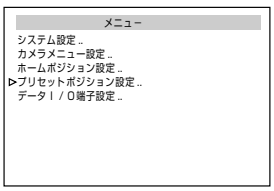
ポジション選択時に表示するタイトルを設定します。
各ポジションごとに最大 16 文字まで設定できます。



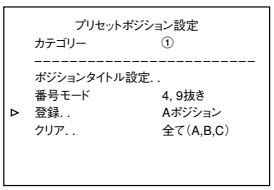
＊RM-P2200の画面

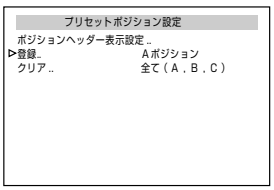


＊RM-P2600の画面

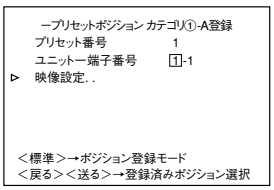


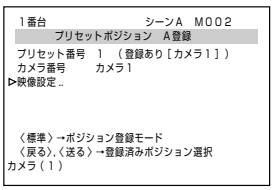
メニュー画面



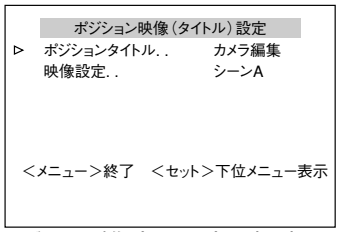


プリセットポジション設定画面

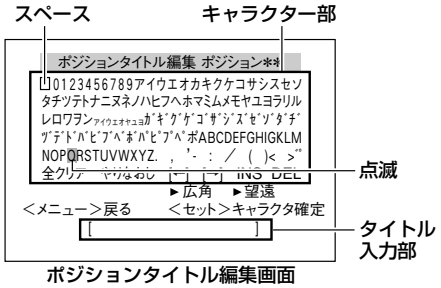




プリセットポジション登録画面



ポジション映像（タイトル）設定設定画面



ポジションタイトル編集画面

1. **カメラを選択(☞RM-P2200/2600各「取扱説明書」)カメラボタン→テンキーボタン(カメラ番号)→確定ボタン**
選択カメラの映像が出力されます。

2. **メニュー画面表示（☞19ページ *2.*〜 *4.*）**
メニュー画面が表示されます。

3. **パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(▷)をプリセットポジション設定項目に移動し、セットボタンを押す**
プリセットポジション設定画面が表示されます。

4. **カーソル(▷)を登録項目に移動し、セットボタンを押す**
プリセットポジション登録画面が表示されます。

5. **パン／チルトレバーを左右に動かし、プリセット番号を選択する**

6. **パン／チルトレバーを上下に動かし、カーソル(▷)を映像設定項目に移動し、セットボタンを押す**
ポジション映像(タイトル)設定画面が表示されます。

7. **カーソル(▷)をポジションタイトル項目に移動し、パン／チルトレバーを左右に動かし、カメラ編集を選択する**

8. **セットボタンを押す**
・ポジションタイトル編集画面が表示されます。
・キャラクター部の 1 文字目が点滅し入力状態となります。

9. **パン／チルトレバーを上下に動かし、キャラクター部から 1 文字目を選択する**
選択した文字は点滅表示します。

10. **セットボタンを押す**
・タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
・広角ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

11. ***5.*〜 *10.*** **を繰り返す**
プリセットポジションタイトルをすべて入力します。

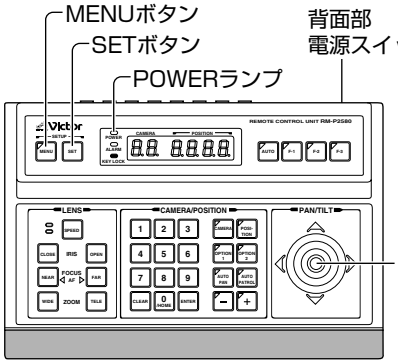
12. **メニューボタンを押す**
・設定したポジションタイトルが保存され、上位メニュー画面が表示されます。
・複数のプリセットポジションタイトルを設定する場合は、 ***1.***〜 ***11.*** を繰り返し行なってください。

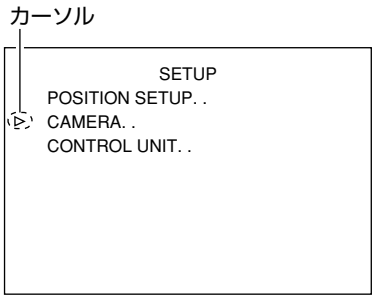
RM-P2580からカメラの設定を変える

設定方法(RM-P2580)

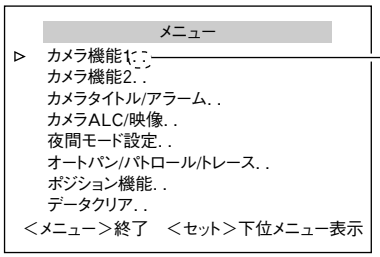
リモートコントロールユニットRM-P2580 を使用したシステムの場合、カメラ側メニューをリモコンから呼び出し、機能設定を行うことができます。
(RM − P2580 の「取扱説明書」をあわせてご覧ください。)

< RM-P2580 からカメラ側メニューの設定を行う方法>

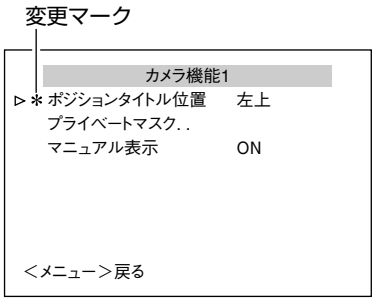




SETUP画面



メニュー画面



サブメニュー画面例

1. 背面部電源スイッチを“ON”にする
POWER ランプが点灯します。

2. MENUボタンを3秒間押す
- MENU ボタンランプ が点灯します。
- MONITOR OUTPUT-1 からリモコン側の SET UP 画面が表示されます。

3. PAN/TILTレバーを下に動かし、カーソル(▷)を、CAMERA項目に移動する
- レバーを上側(▲)に押すと、カーソルは上に移動します。
- レバーを下側(▼)に押すと、カーソルは下に移動します。

4. SETボタンを押す
- メニュー画面が表示されます。
- 項目の最後に“. .”が付いているものは、サブメニューがあります。

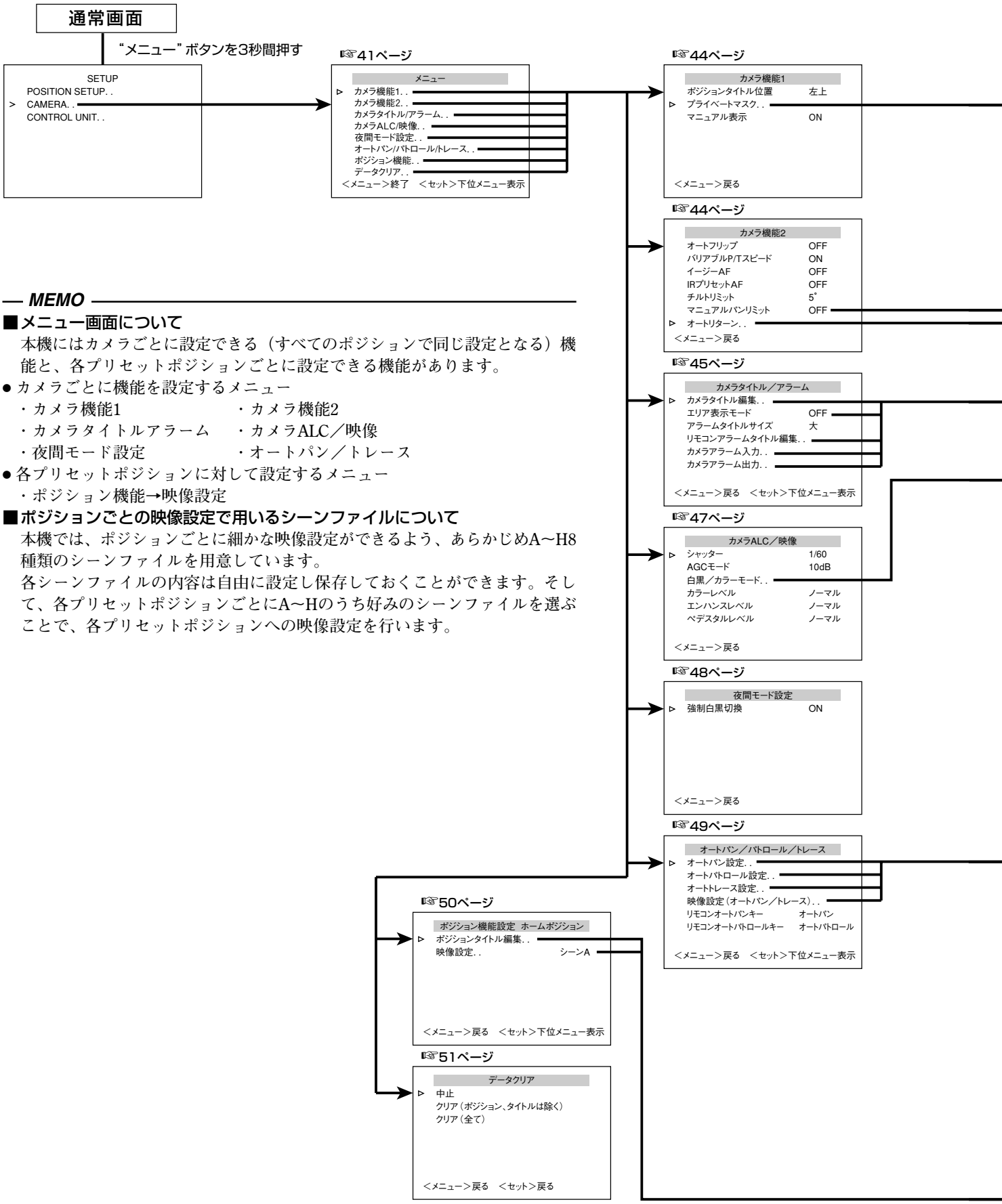
5. PAN/TILTレバーを上下に動かし項目を選択する

6. PAN/TILTレバーを左右に動かし項目の値を変更する
- レバーを左側(◀)に押すと、数値が小さくなります。
- レバーを右側(▶)に押すと、数値が大きくなります。
  項目の設定値を変更すると左図のような変更マーク(＊)が表示されます。
  サブメニューの設定方法の詳細は次ページ以降をご覧ください。

7. MENUボタンを押す
項目の設定が終わったら、MENU ボタンを押し、上位メニュー画面に戻します。

MEMO
- カメラの誤動作を防止するため、カメラのイニシャル動作が終るまで、メニュー操作は行わないでください。

メニュー画面の流れ



— ***MEMO*** —

■メニュー画面について

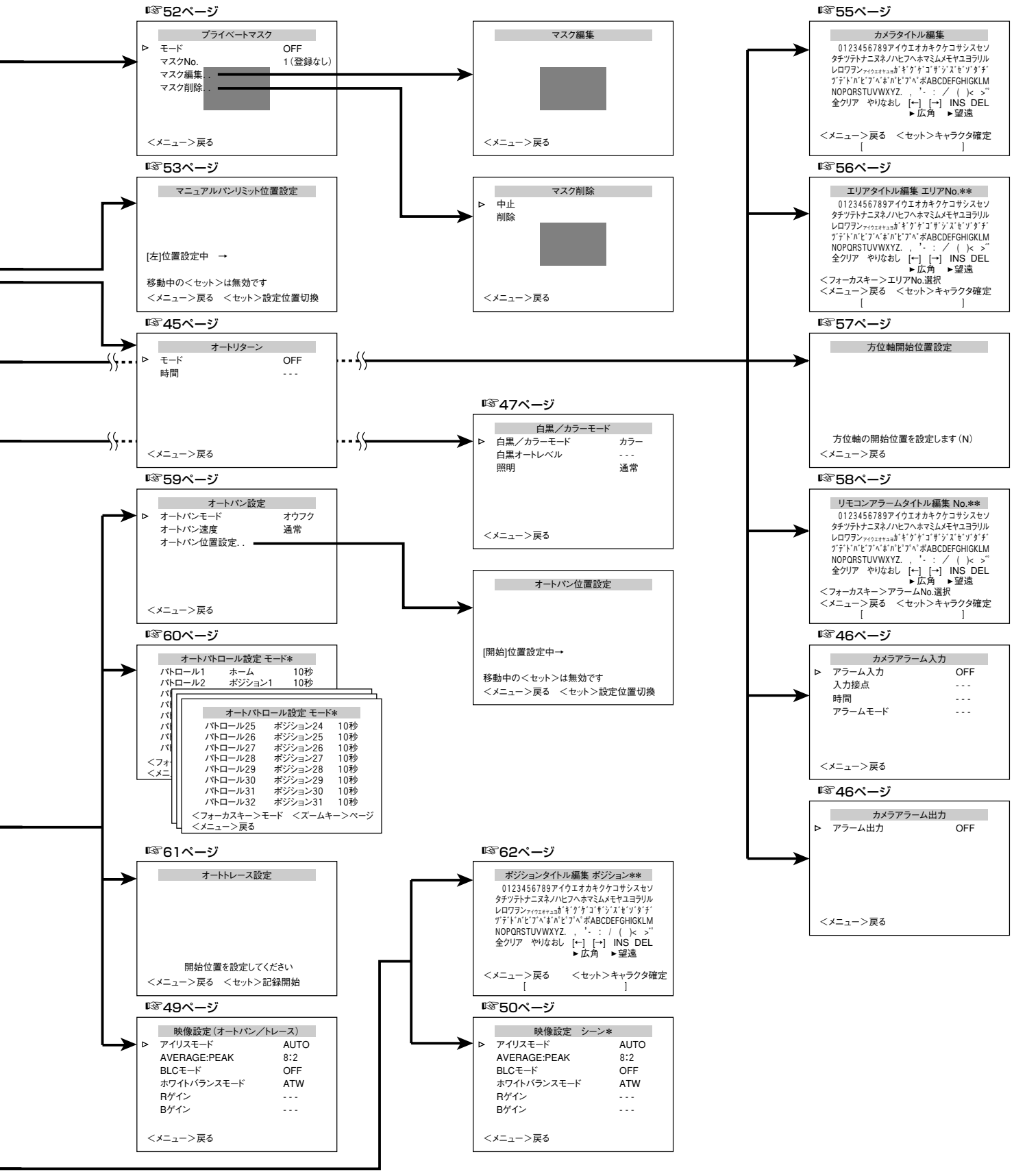
本機にはカメラごとに設定できる（すべてのポジションで同じ設定となる）機能と、各プリセットポジションごとに設定できる機能があります。

- カメラごとに機能を設定するメニュー
  - ・カメラ機能1　・カメラ機能2
  - ・カメラタイトルアラーム　・カメラALC／映像
  - ・夜間モード設定　・オートパン／トレース
- 各プリセットポジションに対して設定するメニュー
  - ・ポジション機能→映像設定

■ポジションごとの映像設定で用いるシーンファイルについて

本機では、ポジションごとに細かな映像設定ができるよう、あらかじめA～H8種類のシーンファイルを用意しています。

各シーンファイルの内容は自由に設定し保存しておくことができます。そして、各プリセットポジションごとにA～Hのうち好みのシーンファイルを選ぶことで、各プリセットポジションへの映像設定を行います。


☞52ページ
プライベートマスク
モード OFF
マスクNo. 1（登録なし）
マスク編集. .
マスク削除. .
＜メニュー＞戻る
マスク編集
＜メニュー＞戻る
マスク削除
中止
削除
＜メニュー＞戻る
☞55ページ
カメラタイトル編集
0123456789アイウエオカキクケコサシスセソ
タチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリル
レロワヲン
全クリア やりなおし [←] [→] INS DEL
►広角 ►望遠
＜メニュー＞戻る ＜セット＞キャラクタ確定
☞53ページ
マニュアルパンリミット位置設定
[左]位置設定中 →
移動中の＜セット＞は無効です
＜メニュー＞戻る ＜セット＞設定位置切換
☞56ページ
エリアタイトル編集 エリアNo.**
0123456789アイウエオカキクケコサシスセソ
タチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリル
レロワヲン
全クリア やりなおし [←] [→] INS DEL
►広角 ►望遠
＜フォーカスキー＞エリアNo.選択
＜メニュー＞戻る ＜セット＞キャラクタ確定
☞45ページ
オートリターン
モード OFF
時間 - - -
＜メニュー＞戻る
☞57ページ
方位軸開始位置設定
方位軸の開始位置を設定します（N）
＜メニュー＞戻る
☞47ページ
白黒／カラーモード
白黒／カラーモード カラー
白黒オートレベル - - -
照明 通常
＜メニュー＞戻る
☞59ページ
オートパン設定
オートパンモード オウフク
オートパン速度 通常
オートパン位置設定. .
＜メニュー＞戻る
オートパン位置設定
[開始]位置設定中→
移動中の＜セット＞は無効です
＜メニュー＞戻る ＜セット＞設定位置切換
☞58ページ
リモコンアラームタイトル編集 No.**
0123456789アイウエオカキクケコサシスセソ
タチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリル
レロワヲン
全クリア やりなおし [←] [→] INS DEL
►広角 ►望遠
＜フォーカスキー＞アラームNo.選択
＜メニュー＞戻る ＜セット＞キャラクタ確定
☞60ページ
オートパトロール設定 モード*
パトロール1 ホーム 10秒
パトロール2 ポジション1 10秒
オートパトロール設定 モード*
パトロール25 ポジション24 10秒
パトロール26 ポジション25 10秒
パトロール27 ポジション26 10秒
パトロール28 ポジション27 10秒
パトロール29 ポジション28 10秒
パトロール30 ポジション29 10秒
パトロール31 ポジション30 10秒
パトロール32 ポジション31 10秒
＜フォーカスキー＞モード ＜ズームキー＞ページ
＜メニュー＞戻る
☞46ページ
カメラアラーム入力
アラーム入力 OFF
入力接点 - - -
時間 - - -
アラームモード - - -
＜メニュー＞戻る
☞46ページ
カメラアラーム出力
アラーム出力 OFF
＜メニュー＞戻る
☞61ページ
オートトレース設定
開始位置を設定してください
＜メニュー＞戻る ＜セット＞記録開始
☞62ページ
ポジションタイトル編集 ポジション**
0123456789アイウエオカキクケコサシスセソ
タチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリル
レロワヲン
全クリア やりなおし [←] [→] INS DEL
►広角 ►望遠
＜メニュー＞戻る ＜セット＞キャラクタ確定
☞49ページ
映像設定（オートパン／トレース）
アイリスモード AUTO
AVERAGE:PEAK 8:2
BLCモード OFF
ホワイトバランスモード ATW
Rゲイン - - -
Bゲイン - - -
＜メニュー＞戻る
☞50ページ
映像設定 シーン*
アイリスモード AUTO
AVERAGE:PEAK 8:2
BLCモード OFF
ホワイトバランスモード ATW
Rゲイン - - -
Bゲイン - - -
＜メニュー＞戻る

カメラ機能 1 画面

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
ポジションタイトル位置	ポジションタイトル、エリアタイトルの表示位置を設定します。 左上：画面の左上部に表示します。　中下：画面の中央下に表示します。 左下：画面の左下部に表示します。　右上：画面の右上部に表示します。 中上：画面の中央上に表示します。　右下：画面の右下部に表示します。 ［設定値：左上，左下，中上，中下，右上，右下］	左上
プライベートマスク	撮影画面の中で、映したくない部分を設定し、その部分だけを灰色にし、映さないようにする機能です。設定した部分は、パン、チルト、ズームに連動して移動します。 ☞52 ページ「プライベートマスク設定」	―
マニュアル表示	プリセットされたポジション以外にリモートコントロールユニットでマニュアル操作した場合、画面上に“マニュアル”と表示させるかどうかの設定をします。ONに設定すると、その他にオートパン動作中、オートトレース動作中画面上にそれぞれ“オートパン”、“オートトレース”と表示されます。 ON　:マニュアル表示します。 OFF :マニュアル表示しません。 ― *MEMO* ― 本項目が“ON”に設定されていても、エリア表示モード項目（☞45 ページ）が、“タイトル”または“方位”に設定されている場合と、プリセットポジション選択時には、表示されません。	ON

カメラ機能 2 画面

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
オートフリップ	OFFに設定したときは、垂直回転動作をすると、本機は真下を向いたところで停止します。被写体が真下を通過する場合のカメラ操作は、①真下に向ける②水平に180°回転させる③上に向ける。この3 つの手順が必要です。オートフリップ機能を使うと、この手順を減らすことができます。 カメラの真下を通る被写体を撮影するときに設定します。 OFF　　:オートフリップ機能は動作しません。 AUTO 1 :カメラが真下の位置にくると180°水平回転し、止まります。その場合に、カメラの動作方向とパン/チルトレバーの動作方向が一致します。 AUTO 2 :カメラが真下の位置にくると180°水平回転し、カメラの動作方向とチルトレバーの動作方向が逆になります。連続して操作したい場合に設定してください。一度操作を停止すると、動作方向は通常に戻ります。 AUTO 3 :カメラが真下の位置にくると180°水平回転し、カメラの動作方向とチルトレバーの動作方向が逆になりますが、操作停止後10秒以上経過すると、動作方向は通常に戻ります。	OFF
バリアブル P/T スピード	レンズのズームに応じて、パン（水平回転）、チルト（垂直回転)の動作速度を自動的に可変します。ズームレンズをTELE（望遠)側にすると、パン、チルトの速度は遅くなり、WIDE（広角)側にすると、パン、チルトの速度は速くなります。ズーム比の異なる被写体を撮影する場合に設定します。 OFF ：機能しません。 ON　：機能します。	ON
イージー AF	ON に設定すると手動でパン、チルト、ズーム操作を行なっている間、自動的にオートフォーカス（AF)が働きます。手動で操作することが多い場合、カメラを動かすごとにフォーカスを取り直す必要がなく便利です。 OFF ：機能しません。 ON　：機能します。 ― *MEMO* ― オートフォーカスは被写体によって十分にフォーカスが合わないことがあります。（☞4 ページ）その場合は手動でフォーカスを合わせてください。	OFF
IR プリセット AF	白黒モードでは可視光域と近赤外光域両方に感度をもつため、光源の種類によってはカラーモードから白黒モードに切り換えるとフォーカスがずれることがあります。このとき ON に設定すると、自動的にフォーカスを合わせます。 OFF ：機能しません。 ON　：機能します。	OFF

カメラ機能 2 画面（つづき）

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
チルトリミット	マニュアル操作時のチルト（垂直）動作の可動範囲を設定します。プリセットポジションやオートトレース、オートパトロール動作には影響しません。10°に設定した場合チルト動作の可動範囲は10°から90°になり、0°～9°の間の操作ができなくなります。 [設定値：OFF,1°～10°] ***MEMO*** チルトリミットより優先される動作で、禁止領域内に移動した場合、その後マニュアルでチルト操作すると下記のように動作します。 ・有効領域内に入るまで、禁止領域内でも自由にチルト操作できます。 ・一度有効領域に入ると、その後はチルトリミット設定に従い、有効領域のみでのチルト操作になります。	5°
マニュアル パンリミット	マニュアル操作時のパン（水平）動作の可動範囲を設定します。プリセットポジション、オートパン、オートトレース、オートパトロール動作には影響しません。 **☞53 ページ「マニュアルパンリミット設定」**	OFF
オートリターン	マニュアル操作したカメラを“時間”で設定した期間操作しないとカメラが自動的に“モード”で設定した状態に戻ります。 **ご注意** 本機能は、RM-P2580 のシリアルナンバープレートに表示される機種名が、RM-P2580(A)の商品でないと、正常に機能しません。	
モード	オートリターン後の動作を設定します。 **OFF**　：オートリターン動作しません。 **ホーム**　：ホームポジションに戻ります。 **オートパンキー**　：オートパンキーで設定された動作に戻ります。**(☞50 ページ)** **オートパトロールキー**　：リモコンオートパトロールキーで設定された動作に戻ります。**(☞50 ページ)** ***MEMO*** 本機能を使用する場合は、RM-P2580背面のDIP SW4を“ON”に設定してください。	OFF
時間	オートリターンで動作を戻すまでの時間を設定します。 [設定値：1 分、2 分、3 分、5 分、10 分、20 分、30 分、60 分] ***MEMO*** モード項目がOFFに設定されている場合、“---”と表示され設定できません。	1 分

カメラタイトル / アラーム画面

タイトルおよびアラームについての設定をします。

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
カメラタイトル編集 ..	画面左下に常に表示されるタイトルを設定します。タイトルは最大16文字まで設定できます。 **☞55 ページ「カメラタイトル設定」**	―
エリア表示モード	エリアに関する設定をします。 **☞56, 57 ページ「エリア表示モード設定」**	OFF
OFF	表示しません。	―
タイトル	水平回転範囲360°を16エリアに等分し、各エリアに16文字のタイトルを設定することができます。カメラを手動でパンニング（水平回転)させると、設定したエリアタイトルが表示されます。**☞56ページ「エリア表示モード設定（タイトル)」**	
方位	基本軸となる方向N（北）を設定します。カメラを手動でパンニング（水平回転)させると、水平回転範囲360°が8エリアに等分され、それぞれ、N, NE, E, SE, S, SW, W, NWと表示されます。**☞57ページ「エリア表示モード設定（方位)」**	

カメラタイトル/アラーム画面（つづき）

タイトルおよびアラームについての設定をします。

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
アラームタイトルサイズ	アラーム時に表示するタイトルのサイズを設定します。 **小**：メニュー画面の文字と、同じサイズです。 **大**：メニュー画面の文字に比べ縦・横2倍サイズです。	**大**
リモコンアラームタイトル編集..	アラーム時に表示するタイトルの設定画面です。 **☞58ページ「リモコンアラームタイトル設定」**	**――**
カメラアラーム入力..	アラーム入力端子に関する設定を行います。	
アラーム入力	アラーム入力時に、映像出力するカメラの状態を選択します。 **OFF**　：アラーム入力があっても映像出力しません。 **ホーム**　：アラーム入力時、ホームポジジョンの映像を出力します。 **プリセット1～31**　：アラーム入力時、選択したプリセットポジジョンの映像を出力します。 ***MEMO*** 白黒／カラーモード設定（☞47ページ）がアラーム入力に設定されている場合、“(白黒)”となり、設定変更できません。	**OFF**
入力接点	アラーム入力信号の極性を設定します。 **メーク**　：各アラーム入力端子とGND端子の接点がオープンからクローズになったときアラームが入ります。 **ブレィク**　：各アラーム入力端子とGND端子の接点がクローズがオープンになったときアラームが入ります。 ***MEMO*** アラーム入力項目がOFFに設定されている場合、“---”と表示され設定できません。	**メーク**
時間	アラームが発生したときに出力する、アラーム信号の出力時間、アラームタイトルの表示時間を設定します。 [設定値：5秒、6秒、7秒、8秒、9秒、10秒、15秒、20秒、30秒、60秒] ***MEMO*** アラーム入力項目がOFF、もしくは白黒／カラーモード設定（☞47ページ）が、アラーム入力に設定されている場合、“---”と表示され設定できません。 **ご注意** RM-P2580のシステムではこの設定は無効となります。RM-P2580のアラームタイム項目で設定してください。（☞RM-P2580「取扱説明書」）	**5秒**
アラームモード	カメラをマニュアル操作しているときにアラーム入力があった場合の動作を設定します。 **アラーム優先**　：マニュアル操作中である・なしに関わらず、アラーム入力があるとアラーム動作になります。（アラーム動作優先） **マニュアル優先**：マニュアル操作中のカメラにアラーム入力があってもアラーム動作しません。（マニュアル操作優先） ***MEMO*** アラーム入力項目がOFFに設定されている場合、“---”と表示され設定できません。 **ご注意** RM-P2580のシステムでは、この設定は無効となり、アラーム優先モードとなります。	**アラーム優先**
カメラアラーム出力..	アラーム出力端子についての設定を行います。 **OFF**　：アラームは出力しません。 **アラーム**　：アラーム入力があったとき、アラーム信号を出力します。 **白黒**　：本機が白黒モードになったとき、アラーム信号を出力します。 **プリセット**　：プリセットポジションに移動したとき、アラーム信号を出力します。 **AUX 1～AUX 3**　：オグジュアリー入力があったとき、アラーム信号を出力します。	**OFF**

カメラ ALC/ 映像画面

明るさによって自動的に調整を行います。
カラーレベル、輪郭強調などカメラの映像信号についての設定を行います。

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
シャッター	電子シャッターのスピードを設定します。 [設定値: 1/60, 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000] ***MEMO*** ● 商用電源周波数50Hz地域ではシャッタースピードを1/100に、60Hz地域では1/60に設定すると、蛍光灯などのチラツキを軽減することができます。 ● シャッタースピードは、高速になるほど明るい光源の上下に白い帯のような線が発生するCCD特有のスミア現象が強調されます。	**1/60**
AGC モード	光量の少ない被写体で電気的に感度を上げるAGC（自動ゲイン調整)の最大ゲインを設定します。 **OFF**　：自動ゲイン調整はおこないません。 **10 dB**：被写体の明るさに応じて最大 10 dB までゲインを上げます。 **20 dB**：被写体の明るさに応じて最大 20 dB までゲインを上げます。 ***MEMO*** ● 白黒／カラーモード項目がオートに設定されている場合は、AGC モード項目は［20 dB］に設定され、設定値は変更できません。 ● ゲインを上げると暗い場所では画面がザラ付きます。	**10 dB**
白黒 / カラーモード..	白黒／カラーモードの切り換えに関する設定を行います。 ***MEMO*** ● 白黒モードでは可視光域と近赤外光域両方に感度をもつため、光源の種類によってはカラーモードから白黒モードに切り換えるとフォーカスがずれることがあります。このときは、白黒モードでフォーカスを合わせ直してください。また、IRプリセットAF項目（☞44ページ）をONに設定すると、モードの切換時に自動的にフォーカスを合わせることができます。 ● 必要に応じては赤外照明を使用してください。	**——**
白黒切換	カラーから白黒モードに切り換える機能について設定します。 **カラー**　　：いつもカラーモードとなり、白黒モードには切り換わりません。 **白黒**　　：いつも白黒モードとなります。 **オート**　　：被写体の輝度が高い場合はカラーモード、低い場合は白黒モードに自動的に切り換わります。 **アラーム入力**：アラーム入力があった場合、白黒モードになります。カメラ入力アラームの入力接点がショート（メイク）時は白黒モードON、オープン（ブレイク）時は白黒モードOFF となります。 ***MEMO*** 〈白黒／カラー切り換えを確実に行うために〉 白黒／カラーモード項目をオートに設定すると、被写体の明るさに応じて白黒／カラーの切り換えを行うことができますが、照明の条件や画角によっては切り換わらないことがあります。より確実に切り換えを行うためには、外部センサー（別売）の信号を本機のアラーム端子へ入力し、切り換えを行うことをおすすめいたします。	**カラー**
白黒オートレベル	白黒／カラーモード項目がオートに設定されている場合、白黒モードに切り換わる被写体の信号レベルを設定します。 **低**　　：被写体の信号レベルが低輝度で白黒モードに切り換わります。 **ノーマル**：被写体の信号レベルが標準で白黒モードに切り換わります。 **高**　　：被写体の信号レベルが高輝度で白黒モードに切り換わります。 ***MEMO*** 白黒／カラーモード項目がオート以外に設定されている場合は“---”と表示され、オートレベル項目の設定変更はおこなえません。	**ノーマル**
照明	白黒モード時、被写体を照らす照明を設定します。 **通常**：通常の照明はこの設定にします。 **赤外**：赤外発光の照明を使用する場合に設定します。 ***MEMO*** 白黒／カラーモード項目がオート以外に設定されている場合は“---”と表示され、オートレベル項目の設定変更は行えません。	**通常**

カメラALC/映像画面（つづき）

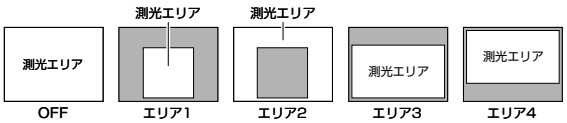
項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
カラーレベル	映像信号の色レベル調整を行います。 色を薄くする　…… 数を小さく 色を濃くする　…… 数を大きく [設定値：－ 5 ～ ノーマル～ 5]	ノーマル
エンハンスレベル	モニター画面上の鮮明さを強調する輪郭補正調整を行います。 画質をソフトにする　…… 数を小さく 画質をシャープにする　… 数を大きく [設定値：－ 5 ～ ノーマル～ 5]	ノーマル
ペデスタルレベル	映像信号のペデスタルレベル（黒の基準)の調整を行います。 画像を暗くする　…… 数を小さく 画像を明るくする　…… 数を大きく [設定値：－ 5 ～ ノーマル～ 5]	ノーマル

夜間モード画面

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
強制白黒切換	夜間モード時の白黒制御を設定します。 OFF　：夜間モード時の白黒制御しません。 ON　：夜間モード時の白黒制御します。 ***MEMO*** “ON”に設定すると白黒／カラーモードが“OFF”、“オート”に設定されていても強制的に白黒になります。 **ご注意** RM-P2580では、夜間モード設定はできますが、リモコン本体から夜間モードに切り換えることはできません。	ON

オートパン / パトロール / トレース画面

ゆっくり水平回転するオートパン機能、設定された順に複数のポジションを移動するオートパトロール機能、手動でカメラ操作した内容を再現するオートトレース機能に関する設定を行います。

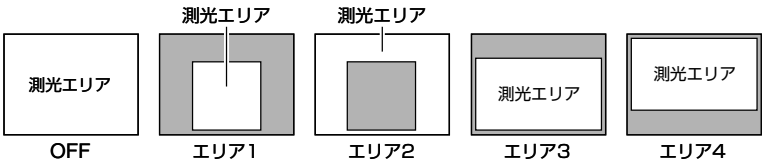
項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
オートパン設定	オートパン動作に関する設定を行います。 **☞59 ページ「オートパン設定」**	**―**
オートパンモード	オートパン時の回転方向を設定します。 **オウフク**：開始位置と終了位置の往復 **右回転**　：右回転 **左回転**　：左回転	**オウフク**
オートパン速度	オートパン時の回転速度を設定します。 **低速**：低速回転 **通常**：標準回転 **高速**：高速回転	**通常**
オートパン位置設定 ..	オウフク時のオートパンの開始位置と終了位置を設定します。	**―**
オートパトロール設定 ..	オートパトロール動作に関する設定を行います。 **☞60 ページ「オートパトロール設定」**	**―**
モード	オートパトロール動作モードのパターンを選択します。 [設定値：1 ～ 3]	**1**
ポジション	パトロールするポジションの順番を設定します。設定したポジションの順番でオートパトロールします。 [設定値：ホーム、ポジション 1 ～ポジション 31]	**―**
時間	1 つのポジションに滞在する時間を設定します。 [設定値：スキップ、10 秒、20 秒、30 秒、40 秒、1 分、2 分]	**10 秒**
オートトレース設定	オートトレース動作に関する設定を行います。 **☞61 ページ「オートトレース設定」**	**―**
映像設定（オートパン / トレース）	オートパン、オートトレース時の映像に関する設定を行います。	**―**
アイリスモード	レンズアイリスの調整方法を設定します。 **AUTO**　：自動でアイリスを標準状態に調整します。 **AUTO+**　：自動でアイリスを標準状態より明るめに調整します。 **AUTO −**　：自動でアイリスを標準状態より暗めに調整します。 **MANUAL**　：手動でアイリスを調整するときに設定します。	**AUTO**
AVERAGE : PEAK	露出検出のしかたを平均値とピーク値の割合で設定します。 ・AVERAGE 値大　：画面のハイライト部以外が暗くつぶれ気味のとき設定します。(例　10:0) ・PEAK 値大　　：画面のハイライト部がハレーション気味のとき設定します。(例　5 : 5) [設定値 10 : 0，9 : 1，8 : 2，7 : 3，6 : 4，5 : 5]	**8 : 2**
BLC モード	逆光補正機能を設定します。被写体の背景に明るい光源などがあり、オートアイリス機能で被写体が暗くなってしまう場合に設定します。不要な光源が測光エリア外となるようにします。 **OFF**　：逆光補正しません。 **エリア 1 ～エリア 4**　：下図を参照し設定します。  	**OFF**
ホワイトバランスモード	ホワイトバランス調整機能を設定します。色温度 2300K ～ 10000K の範囲内の照明に対して調整できます。 **ATW**　：Auto-Tracking White Balance（自動色温度追尾)モードになります。照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。ATW 設定時は、R ゲイン , B ゲイン項目は“- - -”と表示され、色相調整は行えません。 **AWC**　：Auto White Control（自動白バランス調整)モードとなり、“〈セット〉AWC 開始”と表示されます。SET ボタンを押すと AWC が機能し、ホワイトバランスを調整します。	**ATW**
R ゲイン	AWC 時の R（赤)の色相を調整します。 数字を大きくすると赤味が　強くなります。 [設定値　0 ～ 255]	**―**
B ゲイン	AWC 時の B（青）の色相を調整します。 数字を大きくすると青味が強くなります。 [設定値　0 ～ 255]	**―**

オートパン / パトロール / トレース画面（つづき）

項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
リモコンオートパンキー	リモコンの AUTO PAN ボタンを押すと動作する機能を設定します。 **オートパン**　：オートパン機能 **オートパトロール**：オートパトロール機能 **オートトレース**　：オートトレース機能	**オートパン**
リモコンオートパトロールキー	リモコンの AUTO PATROL ボタンを押すと動作する機能を設定します。 **オートパン**　：オートパン機能 **オートパトロール**：オートパトロール機能 **オートトレース**　：オートトレース機能	**オートパトロール**

ポジション機能設定画面

ポジションに関する設定を行います

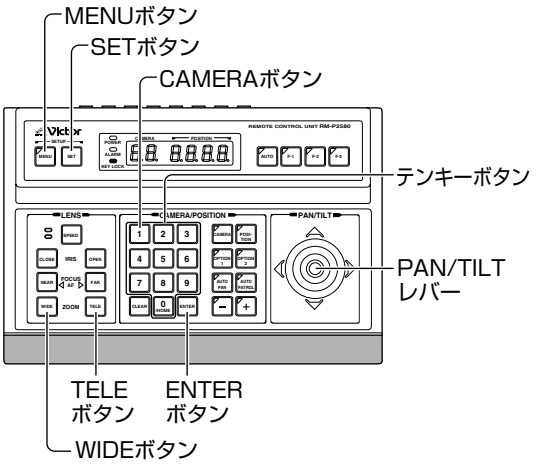
項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
ポジションタイトル設定 ..	プリセットポジションのタイトルを 16 文字まで設定し、画面に表示します。 ☞ 62 ページ「ポジションタイトル設定」	──
映像設定	ホームポジションでの映像に関する設定を行います。 A ～ H の 8 種類のシーン設定を行います。	──
アイリスモード	レンズアイリスの調整方法を設定します。 **AUTO**　：自動でアイリスを標準状態に調整します。 **AUTO+**　：自動でアイリスを標準状態より明るめに調整します。 **AUTO −**　：自動でアイリスを標準状態より暗めに調整します。 **MANUAL**　：手動でアイリスを調整するときに設定します。	**AUTO**
AVERAGE : PEAK	露出検出のしかたを平均値とピーク値の割合で設定します。 ・AVERAGE 値大　：画面のハイライト部以外が暗くつぶれ気味のとき設定します。（例　10:0） ・PEAK 値大　：画面のハイライト部がハレーション気味のとき設定します。（例　5 : 5） [設定値 10 : 0,　9 : 1,　8 : 2,　7 : 3,　6 : 4,　5 : 5]	**8 : 2**
BLC モード	逆光補正機能を設定します。被写体の背景に明るい光源などがあり、オートアイリス機能で被写体が暗くなってしまう場合に設定します。不要な光源が測光エリア外となるようにします。 **OFF**　：逆光補正しません。 **エリア 1 ～エリア 4**　：下図を参照し設定します。 	**OFF**
ホワイトバランスモード	ホワイトバランス調整機能を設定します。色温度 2300K ～ 10000K の範囲内の照明に対して調整できます。 **ATW**　：Auto-Tracking White Balance（自動色温度追尾)モードになります。照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。ATW 設定時は、R ゲイン , B ゲイン項目は “- - -” と表示され、色相調整は行えません。 **AWC**　：Auto White Control(自動白バランス調整)モードとなり、“〈セット〉AWC 開始” と表示されます。SET ボタンを押すと AWC が機能し、ホワイトバランスを調整します。	**ATW**
R ゲイン	AWC 時の R（赤)の色相を調整します。 数字を大きくすると赤味が強くなります。 [設定値　0 ～ 255]	──
B ゲイン	AWC 時の B（青）の色相を調整します。 数字を大きくすると青味が強くなります。 [設定値　0 ～ 255]	──

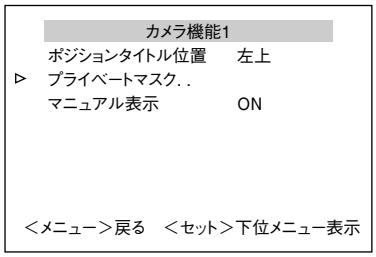
データクリア画面

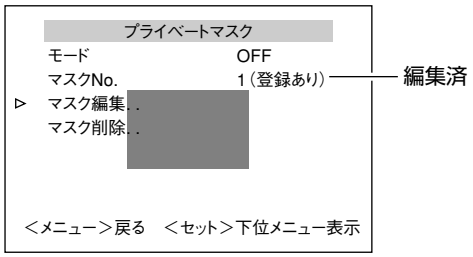
項　目	機　能　と　設　定　値	初　期　値
データクリア	メニューで設定した値を初期値に戻します。SET ボタンを押すと約 20 秒間“データクリア実行中”と表示し、設定値を初期値に戻します。 終了時に”データをクリアしました“と表示します。 **中止**　：初期値に戻しません。MENU ボタンか、SET ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。 **クリア**（**ポジション、タイトルは除く**）　：設定値を初期値に戻します。ただし、設定ポジション、ポジションごとの設定データと各種タイトルは初期値に戻りません。終了後はメニュー画面に戻ります。 **クリア（全て）**　：タイトル、設定ポジションを含め、すべての設定値を初期値に戻します。終了後は、メニュー画面に戻ります。	―

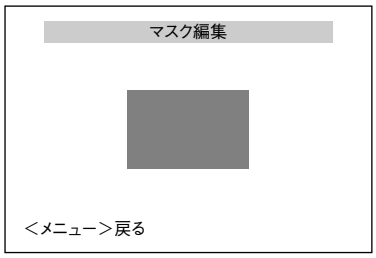
プライベートマスク設定

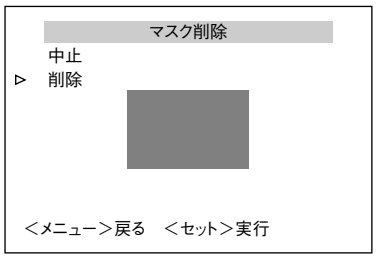
撮影画面で映したくない部分を灰色にするプライベートマスクの設定を行います。
設定は表示画面中に 4 か所、カメラ全体で 8 か所設定できます。











1. カメラを選択(☞RM-P2580「取扱説明書」)
CAMERAボタン→テンキーボタン（カメラ番号)→ENTERボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. メニュー画面を表示(☞41 ページ *2.*～ *4.*)

メニュー設定画面が表示されます。

3. PAN/TILTレバーを上下に動かし、カーソル(▷)をカメラ機能 1 項目に移動し、SET ボタンを押す

カメラ機能画面が表示されます。

4. カーソル(▷)をプライベートマスク項目に移動し、SET ボタンを押す

プライベートマスク画面が表示されます。

5. 機能の ON/OFF を設定

モード項目が ON でプライベートマスクが機能し、OFF では機能しません。(初期値：OFF)

6. マスク番号を選択

マスク No.1 ～ No.8 でプライベートマスクする No, を選択してからカーソルをマスク編集項目に移動します。
1 画面に設定できるのはそのうちの 4 か所のみです。
すでに設定されたマスク番号を選択したときは(登録あり)と表示されます。

7. マスク範囲を設定

- マスク編集 項目にカーソルを移動し、SETボタンを押しマスク編集画面を表示させます。(マスクエリアが灰色に表示されます)
- PAN/TILTレバーでマスクをかける中心に灰色部がくるように画角をあわせます。
- TELE ボタン、WIDE ボタンでマスクをかける範囲を設定します。

8. MENU ボタンを押す

- 設定したマスクの設定を保存し、上位メニュー画面(プライベートマスク 画面)に戻ります。
- プライベートマスクエリアを消去する場合は、削除したいマスク No. を選択し、マスク削除ページに入ります。削除にカーソルを移動し、SET ボタンを押します。
  データ消去後に、プライベートマスク画面に戻ります。
- 消去をやめる場合は、中止項目を選択し SET ボタンを押します。

9. *6.*～ *8.* を繰り返す

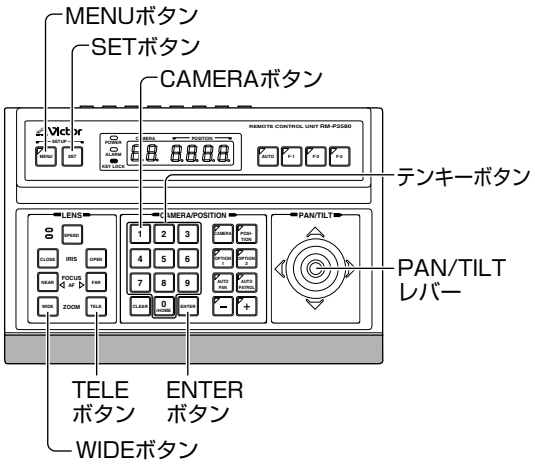
10. MENU ボタンを押す

— MEMO —

- 設定されたプライベートマスク範囲でもカメラの向き、またはズーム位置によっては対象物が映ってしまう場合があります。必ず設定後にカメラの向きとズーム位置を動かしてプライベートマスク設定範囲が映らないことを確認してください。また対象物が映ってしまう場合は“7. マスク範囲を設定”でマスク範囲を大きく設定してください。
- 電源投入直後の初期動作時は、プライベートマスク機能は正常に動作しません
- マスクが5 つ以上設定されている画面を映した場合は、全画面にマスクが表示されます。
- チルト位置が水平方向から約40° 以上の場合、マスクの設定はできません。
- 同一画面に設定できるマスクは 4 か所です。
- 同一画面に 4 か所マスクを設定している場合、ごく近い領域では次のマスクを設定できないことがあります。その場合は画角を設定し直してください。

マニュアルパンリミット設定

マニュアル操作する場合の、パン（水平）操作できる範囲を設定します。



カメラ機能2
オートフリップ OFF
バリアブルP/Tスピード ON
イージーAF OFF
IRプリセットAF OFF
チルトリミット 5°
▷ マニュアルパンリミット. . ON
オートリターン. .
<メニュー>戻る <セット>下位メニュー表示

カメラ機能２画面

マニュアルパンリミット位置設定
[左]位置設定中 →
移動中の<セット>は無効です
<メニュー>戻る <セット>設定位置切換

マニュアルパンリミット設定画面(左位置)

マニュアルパンリミット位置設定
← [右]位置設定中
移動中の<セット>は無効です
<メニュー>メモリして戻る <セット>設定位置切換

マニュアルパンリミット設定画面(右位置)

1. カメラを選択(☞ RM-P2580「取扱説明書」)
CAMERA ボタン→テンキーボタン(カメラ番号)→ ENTER ボタン
選択カメラの映像が出力されます。

選択カメラの映像が出力されます。

2. メニュー画面を表示(☞41 ページ *2.*～ *4.*)

メニュー画面が表示されます。

3. PAN/TILT レバーを上下に動かし、カーソル（▷）をカメラ機能2項目に移動し、SET ボタンを押す

カメラ機能２画面が表示されます。

4. カーソル（▷）をマニュアルパンリミット項目に移動し、PAN/TILT レバーを左右に動かしONを選択する

5. SETボタンを押す

マニュアルパンリミット位置設定画面(左位置)が表示されます。

6. 左リミット位置を設定

・PAN／TILT レバーで左側のリミット位置を決めます。
・操作中画面左下に「[左]位置設定中→」と表示されます。

7. SETボタンを押す

・右位置設定画面に切り換わります。

8. 右リミット位置を設定

・PAN／TILT レバーで右側のリミット位置を決めます。操作中画面右下に「←[右]位置設定中」と表示されます。

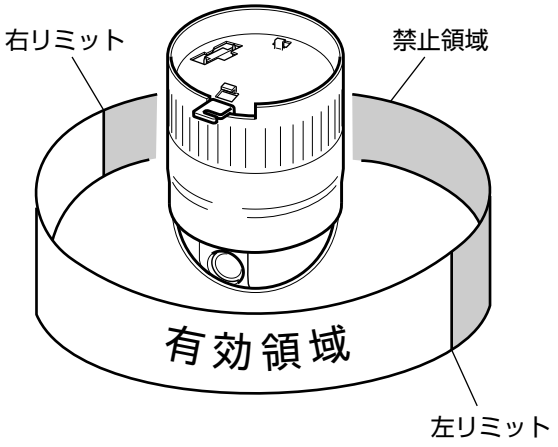
9. MENUボタンを押す

設定済みのリミット位置が記憶され、カメラ機能２画面に戻ります。

— MEMO

- 本メニュー中も、チルト操作、ズーム操作、フォーカス操作は可能です。
- すでにパンリミットが設定されている場合に本メニューを起動したとき、カメラは設定された左リミット位置に移動します。
- パン移動中の〈セット〉は無効です。パン移動が停止してから〈セット〉ボタンを押してください。
- オートフリップの移動先が本項目で設定した領域外の場合、オートフリップ動作が優先となります。
- プリセットポジション設定中、マニュアルパンリミットは有効です。
- プリセットポジション移動はマニュアルパンリミットを無視して動作します。
- マニュアルパンリミット設定がONの場合でも、以下の設定には影響しません。
  ・プライベートマスク設定
  ・オートパン位置設定
  ・エリア表示モード設定

マニュアルパンリミット設定（つづき）



■マニュアルパンリミットの基本動作

●マニュアルパンリミットを設定すると、有効領域のみパン操作できます。

●マニュアルパンリミットより優先される動作で、禁止領域内に移動した場合、その後マニュアルでパン操作すると、下記のように動作します。

・有効領域に入るまで、禁止領域内でも自由にパン操作できます。

・一度有効領域に入るとその後はマニュアルパンリミット設定に従い、有効領域のみのパン操作になります。

■マニュアルパンリミットより優先される動作

下記動作は、マニュアルパンリミットで設定した禁止領域に関係なく動作します。

・オートパン動作
・オートトレース動作
・プリセットポジション移動
・オートフリップ動作

■マニュアルパンリミットより優先される設定

下記メニューの設定は、パン動作をともないますが、マニュアルパンリミットが設定されていても、禁止領域に関係なく設定できます。

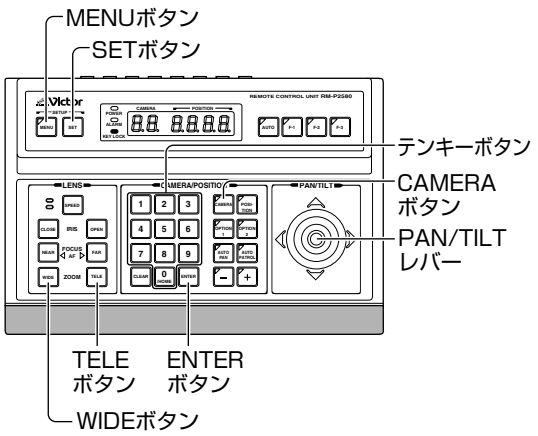
・プライベートマスク設定
・オートパン設定
・エリア表示モード（エリアタイトル）設定
・エリア表示モード（方位）設定

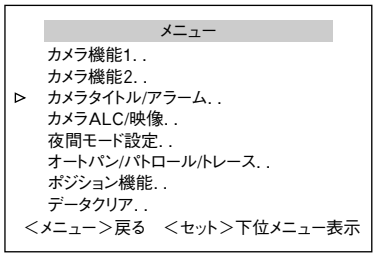
— MEMO —

オートトレース設定、プリセットポジション設定は、設定時にマニュアルパンリミット設定がONになっている場合、禁止領域ではパン操作できません。
ただし、オートトレース動作とプリセットポジション移動は、マニュアルパンリミットより優先される動作なので、マニュアルパンリミット設定の前にオートトレース設定または、プリセットポジション設定を行い、その後マニュアルパンリミット設定を行なっても、禁止領域に関係なく動作します。

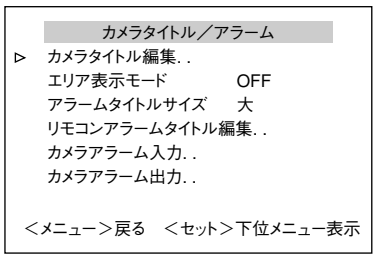
カメラタイトル設定

タイトルを最大 16 文字まで設定できます。
画面左下に常に表示されます。

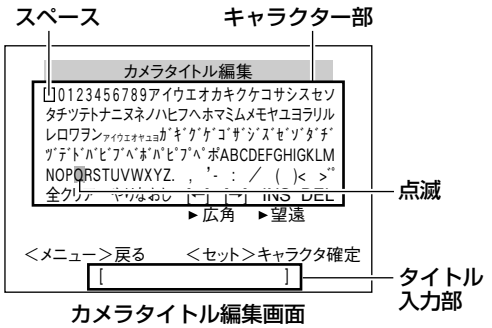




メニュー画面



カメラタイトル／アラーム画面



カメラタイトル編集画面

1. カメラを選択(☞RM-P2580「取扱説明書」)
CAMERA ボタン→テンキーボタン(カメラ番号)→ ENTER ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. メニュー画面を表示(☞41 ページ *2.*～ *4.*)

メニュー画面が表示されます。

3. PAN/TILTレバーを上下に動かし、カーソル(▷)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、SETボタンを押す

カメラタイトル／アラーム画面が表示されます。

4. カメラタイトル編集にカーソル(▷)があることを確認し、SETボタンを押す

- カメラタイトル編集画面が表示されます。
- キャラクター部の 1 文字目が点滅し入力状態となります。

5. PAN/TILTレバーを上下左右に動かし、キャラクター部から1文字目を選択する

- 選択した文字は点滅表示します。

6. SETボタンを押す

- タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
- WIDE ボタンを押すと、タイトル入力部の位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. *5.*～*6.*を繰り返す

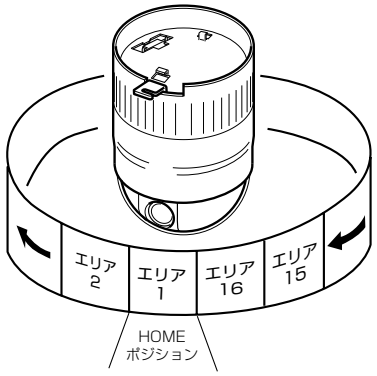
カメラタイトルをすべて入力します。

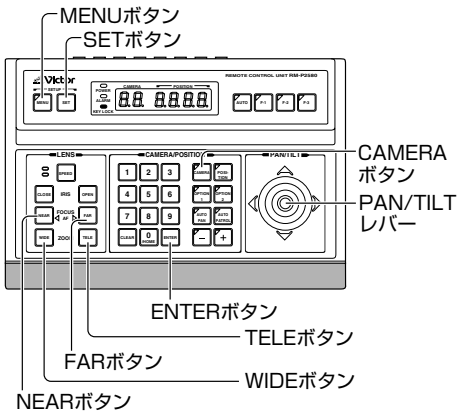
8. MENUボタンを押す

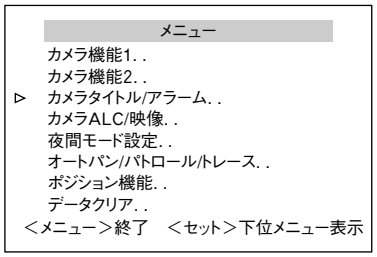
- 設定したカメラタイトルが保存され、上位メニュー画面が表示されます。
- 複数のカメラタイトルを設定する場合は、*1.*～ *7.*を繰り返し行なってください。

エリア表示モード設定(タイトル)

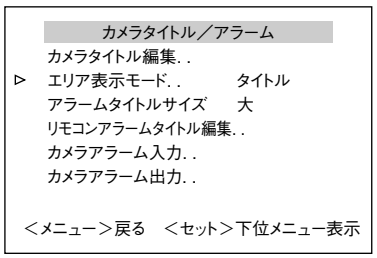
360°のパンニング(水平回転)範囲を 16 エリアに等分割し、カメラを手動で回転させるとき、エリアタイトルを画面に表示します。各エリアに 16 文字まで設定できます。(エリアタイトル表示の入 / 切 ☞45 ページ「エリア表示モード項目」)



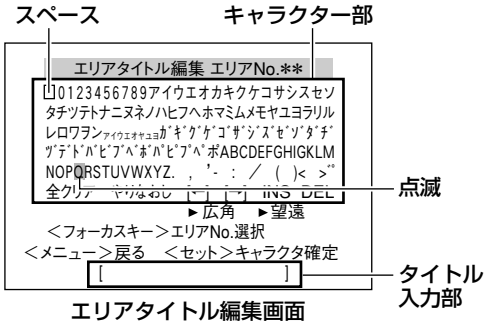




メニュー画面



カメラタイトル／アラーム画面



エリアタイトル編集画面

1. カメラを選択(☞ RM-P2580「取扱説明書」) CAMERAボタン→テンキーボタン（カメラ番号）→ENTERボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. メニュー画面を表示(☞41 ページ *2.*～ *4.*)

メニュー画面が表示されます。

3. PAN／TILTレバーを上下に動かし、カーソル(▷)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、SETボタンを押す

カメラタイトル／アラーム 画面が表示されます。

4. エリア表示モード項目にカーソル(▷)を移動し、PAN/TILT レバーを左右に動かし、タイトルを選択し、SET ボタンを押す

・エリアタイトル編集 エリア No.1 画面が表示されます。
（ホームポジションはエリアタイトル No.1 に対応）
・キャラクター部の 1 文字目が点滅し、入力状態となります。

5. PAN／TILT レバーを上下左右に動かし、キャラクター部から 1 文字目を選択する

・選択した文字は点滅表示します。

6. SET ボタンを押す

・タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
・WIDE ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. FAR ボタンを押す

・カメラが次のエリアに移動し、エリアタイトル編集 エリア No.2 画面が表示されます。
・NEARボタンを押すと前のエリアに戻り、前のエリアタイトル編集 エリア No.1 画面が表示されます。

8. *5.*～ *7.* を繰り返す

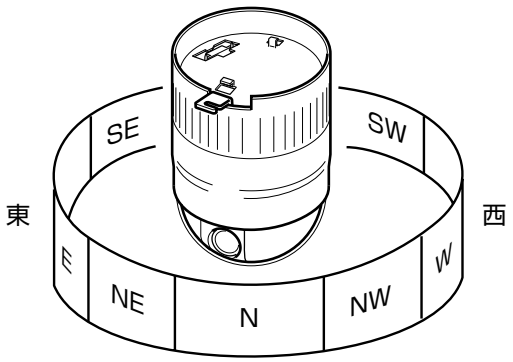
・すべてのエリアタイトルを入力します。

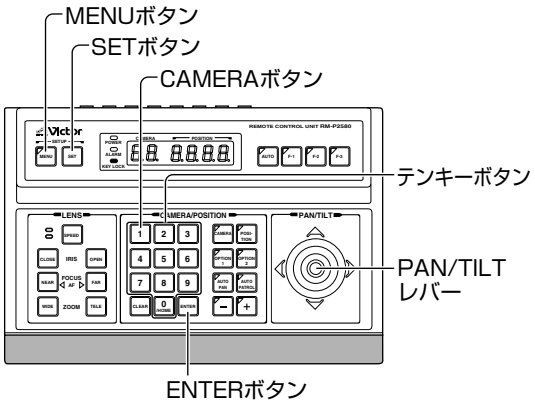
9. MENU ボタンを押す

・設定したエリアタイトルが保存され、上位メニュー画面が表示されます。

エリア表示モード設定(方位)

基本軸となる方向N（北）を設定すると、360°のパンニング（水平回転)範囲が８エリアに等分割され、カメラを手動でパンニング(水平回転)させると、それぞれ、N,NE,E,SE,S,SW,W,NWと表示されます。





1. カメラを選択(☞ RM-P2580「取扱説明書」)
CAMERA ボタン→テンキーボタン(カメラ番号)
→ ENTER ボタン
選択カメラの映像が出力されます。

2. カメラメニュー設定画面を表示(☞41ページ*2.*～ *4.*)
カメラメニュー設定画面が表示されます。

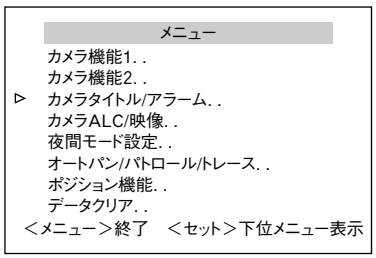
3. PAN/TILTレバーを上下に動かし、カーソル（▷）をカメラタイトル/アラーム項目に移動し、SET ボタンを押す
カメラタイトル / アラーム画面が表示されます。

4. エリア表示モード項目にカーソル（▷)を移動し、PAN/ TILTレバーを左右に動かし方位を選択する

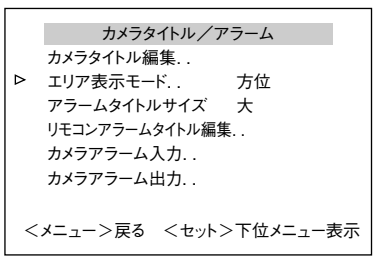
5. SETボタンを押す
・方位軸開始位置設定画面が表示されます。

6. PAN/TILTレバーを左右に動かし基本軸となる方位（N）を設定します。

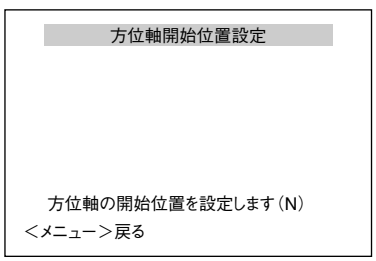
7. MENUボタンを押す
・方位軸開始位置が設定され、通常画面左上に方位が表示されます。
・方位はそれぞれN(北),NE(北東), E(東), SE(南東), S(南), SW(南西), W(西), NW(北西)で表示されます。



メニュー画面



カメラタイトル／アラーム画面



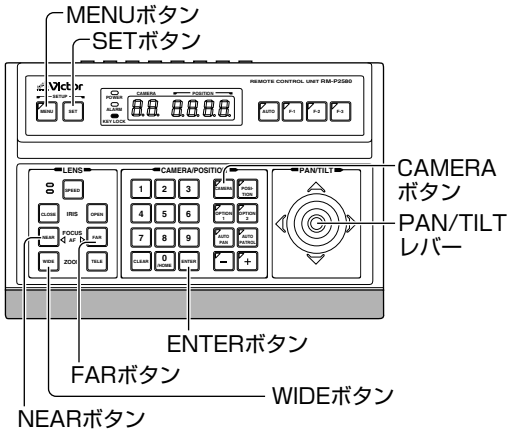
方位軸開始位置設定画面

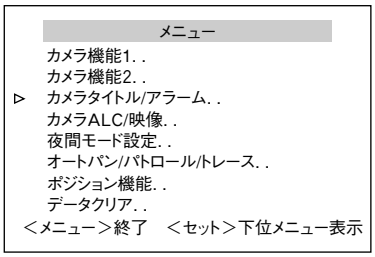
— MEMO

- 本メニュー中も、チルト操作、ズーム操作、フォーカス操作は可能です。
- すでに方位軸開始位置が設定されている場合に本メニューを起動したとき、カメラは設定された方位軸開始位置に移動します。

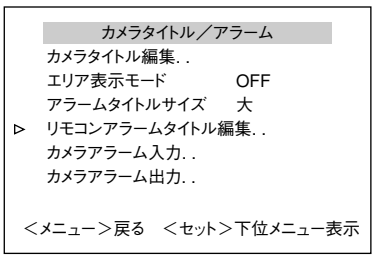
リモコンアラームタイトル設定

RM-P2580の背面パネルのアラーム入力端子へアラーム入力時､表示するタイトルを設定します。タイトルは 10 種類(リモコンアラームタイトル 1 ～ 10)設定でき、それぞれ 12 文字設定できます。

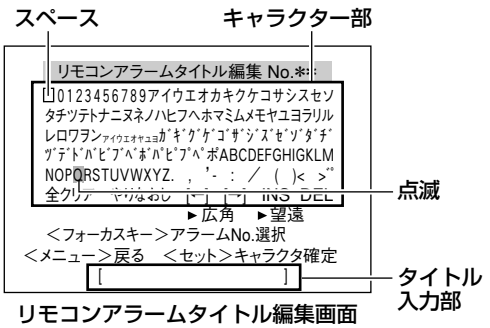




メニュー画面



カメラタイトル／アラーム画面



リモコンアラームタイトル編集画面

1. カメラを選択(☞ RM-P2580「取扱説明書」)
CAMERA ボタン→テンキーボタン(カメラ番号)→ ENTER ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. メニュー画面を表示(☞41 ページ *2.* ～ *4.*)
メニュー画面が表示されます。

3. PAN／TILTレバーを上下に動かし､カーソル(▷)をカメラタイトル／アラーム項目に移動し、SETボタンを押す
カメラタイトル／アラーム 画面が表示されます。

4. リモコンアラームタイトル編集項目にカーソル(▷)を移動しSETボタンを押す
・リモコンアラームタイトル編集 No.1 画面が表示されます。
・キャラクター部の 1 文字目が点滅し、入力状態となります。

5. PAN／TILTレバーを上下左右に動かし､キャラクター部から1文字目を選択する
・選択文字は点滅表示します。

6. SET ボタンを押す
・タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
・WIDE ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

7. FAR ボタンを押す
・次のアラーム入力(リモコンアラームタイトル編集No.2)画面が表示されます。
・NEAR ボタンを押すと、前のアラーム入力画面に戻ります。

8. *5.*～*7.* を繰り返す
・すべてのアラーム入力画面(リモコンアラームタイトル編集No.1 ～ No.10)において、タイトルを設定します。

9. MENU ボタンを押す
設定したリモコンアラームタイトルが保存され、上位メニュー画面が表示されます。

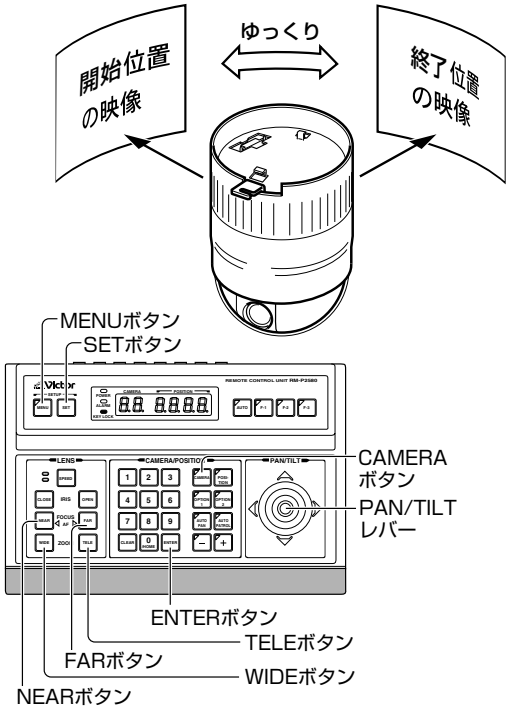
アラーム時に設定したタイトルを表示させるには、RM-P2580 のメニュー設定が必要です。

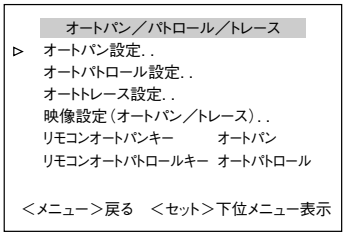
1. MENU ボタンを 3 秒間押し、リモコン(RM-P2580)の SETUP 画面を表示する。
2. リモコンの CONTROL UNIT 画面→ DATA I/O 画面→ INPUT ASSIGMENT 画面の順に画面を選択する。
3. リモコンの ALARM TEXT 項目で EDIT1 を選択すると、リモコンアラームタイトル編集 No.1 で設定したタイトルがモニターに表示されます。

※アラーム信号は、RM-P2580 背面部　DATA　I/O 端子から入力します。

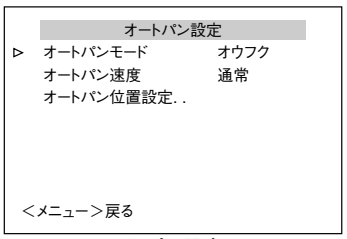
オートパン設定

ゆっくり水平方向に回転するオートパン機能を設定します。
オートパンモードには、2 点間をオウフク，右回転，左回転の 3 つのモードがあります。

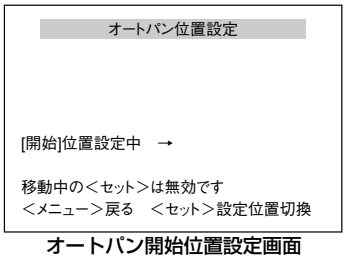




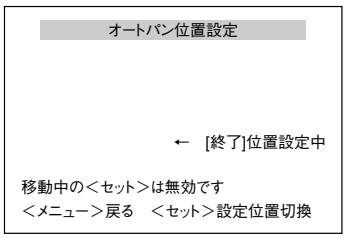
オートパン／パトロール／トレース設定画面



オートパン設定画面



オートパン開始位置設定画面



オートパン終了位置設定画面

1. カメラを選択(☞ RM-P2580「取扱説明書」)
CAMERA ボタン→テンキーボタン(カメラ番号)→ ENTER ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. メニュー画面を表示(☞41 ページ *2.*～ *4.*)

メニュー画面が表示されます。

3. PAN/TILTレバーを上下に動かし、カーソル（▷）をオートパン／パトロール／トレース項目に移動し、SET ボタンを押す

オートパン／パトロール／トレース画面が表示されます。

4. セットボタンを押す

カーソルがオートパン設定項目にある事を確認し､SETボタンを押します。

5. モードと速度を設定

・オートパンモード項目でオートパンの動作を設定します｡オウフク（2 点間の往復)、右回転、左回転
・オートパン速度項目で、オートパンの回転速度を設定します。低速、通常、高速

6. オートパン位置設定項目にカーソル（▷）を移動し、SETボタンを押す（オウフク時のみ）

オートパン位置設定画面が表示されます。

7. 開始位置の画角を合わせる（オウフク時のみ）

・PAN/TILTレバー、FOCUS、ZOOMボタンで画面を合わせます。
・戻り位置で上下方向およびFOCUS、ZOOMなどのレンズ操作は行えません。
・設定中画面左下に「[開始]位置設定中→」と表示されます。

8. SETボタンを押す（オウフク時のみ）

開始位置から終了位置に切り換わります。

9. 終了位置を設定する（オウフク時のみ）

・PAN/TILT レバーで戻り位置を設定します。
・設定中画面右下に「←[終了]位置設定中」と表示されます。

10. MENUボタンを押す

設定したオートパン位置が保存され､上位メニュー画面(「オートパン設定」画面)が表示されます。

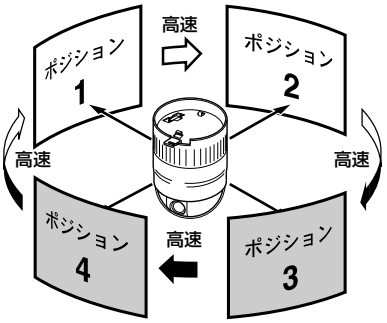
— MEMO —

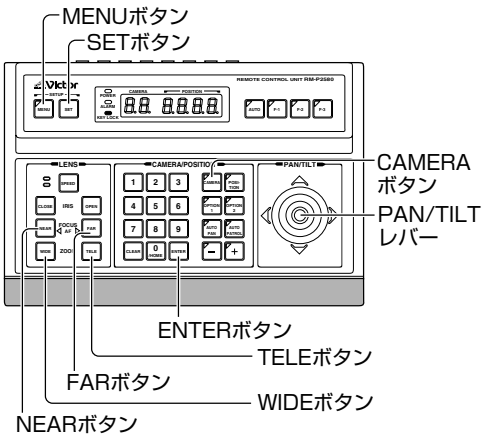
- 戻り位置での上下（チルト)方向の移動およびレンズ操作は行えません。
- カメラが移動中に、SETボタン、またはMENUボタンを押すと、正しい設定データが書き込まれません。必ずカメラが停止していることを確認してからSETボタンまたはMENUボタンを押してください。
- 本メニュー中はマニュアルパンリミットモードは一時的にOFFになります。メニュー終了後、マニュアルパンリミットが設定されても動作には影響しません。

設定後､カメラをオートパン動作させるには､RM-P2580 のAUTO PAN ボタンを押します。
☞ RM-P2580 取扱説明書「オートパン動作」

オートパトロール設定

複数のポジションを順番に移動するオートパトロール機能を設定します。
モード 1 ～ 3、各モード にパトロール 1 ～ 32 まで設定できます。（モード は曜日や時間帯、例えばモード 1 は夜、モード 2 は昼のように設定すると便利です。）






```
        オートパン／パトロール／トレース
        オートパン設定. .
▷       オートパトロール設定. .
        オートトレース設定. .
        映像設定（オートパン／トレース）. .
        リモコンオートパンキー        オートパン
        リモコンオートパトロールキー  オートパトロール

  <メニュー>戻る  <セット>下位メニュー表示
```

オートパン／パトロール／トレース画面

```
        オートパトロール設定 モード1
▷       パトロール1   ホーム        10秒
        パトロール2   ポジション1   10秒
        パトロール3   ポジション2   10秒
        パトロール4   ポジション3   10秒
        パトロール5   ポジション4   10秒
        パトロール6   ポジション5   10秒
        パトロール7   ポジション6   10秒
        パトロール8   ポジション7   10秒
  <フォーカスキー>モード  <ズームキー>ページ
  <メニュー>戻る
```

オートパトロール　モード1画面
（パトロール1～8表示例）

```
        オートパトロール設定 モード1
▷       パトロール9   ポジション8   10秒
        パトロール10  ポジション9   10秒
        パトロール11  ポジション10  10秒
        パトロール12  ポジション11  10秒
        パトロール13  ポジション12  10秒
        パトロール14  ポジション13  10秒
        パトロール15  ポジション14  10秒
        パトロール16  ポジション15  10秒
  <フォーカスキー>モード  <ズームキー>ページ
  <メニュー>戻る
```

オートパトロール　モード1画面
（パトロール9～16表示例）

1. カメラを選択(☞ RM-P2580「取扱説明書」)
CAMERA ボタン→テンキーボタン(カメラ番号)→ ENTER ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. メニュー画面を表示(☞41 ページ *2.*～ *4.*)

メニュー画面が表示されます。

3. PAN/TILTレバーを上下に動かしカーソル(▷)をオートパン／パトロール／トレース項目に移動し、SET ボタンを押す

オートパン／パトロール／トレース画面が表示されます。

4. オートパトロール設定項目にカーソル(▷)を移動し、SET ボタンを押す

オートパトロール設定 モード 1 画面が表示されます。

5. PAN/TILT レバーを上下に動かし、カーソル(▷)を設定したいパトロール番号に移動する

・次の設定ページ(パトロール 9 ～ 16)を表示するには **TELE** ボタンを押します。
・前のページを表示するには、**WIDE** ボタンを押します。

6. ポジションを設定する
POSITION ボタン→テンキーボタン(ポジション番号)→ENTER ボタン

・初期設定値はパトロール 1 ～ 32 にホーム～ 31 が順番に設定されています。

7. 時間を設定する

・PAN/TILT レバーを左右に動かし、時間を設定します。(秒, 分)
・選択できる時間 : スキップ、10 秒、20 秒、30 秒、40 秒、1 分、2 分（スキップを設定すると､オートパトロール時スキップ(とばされ)され、選択されません）
・初期設定値は全て 10 秒に設定されています

8. *5.*～ *7.* を繰り返す

・すべてのパトロール番号のポジションと時間を設定します。

9. モードを切換える

・FAR ボタン、NEAR ボタンでモードを切り換えます。
・モードを切換えたら、*5.*～ *8.* を繰り返してください。

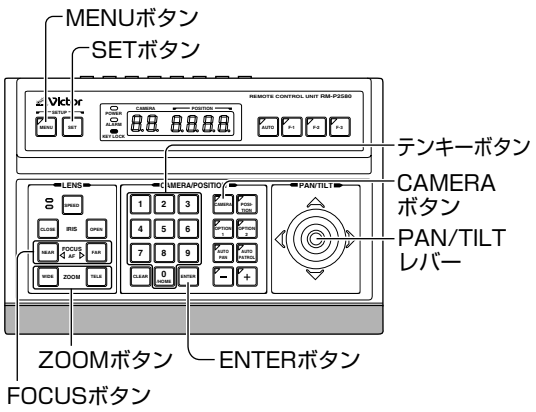
10. MENU ボタンを押す

上位メニューに戻ります。

・設定後、カメラをオートパトロールさせるには、RM-P2580 の AUTO PATROL ボタンを押します。
・設定後、オートパトロールのモードを切換えるにはオートパトロールモード画面を表示し、FAR ボタン NEAR ボタンで行なってください。
・オートパトロールはRM-P2580からのみ設定できます。他のリモートコントロールユニットのオートシーケンス動作とは異なります。

オートトレース設定

手動でカメラ操作した内容を再現するオートトレース機能(約 30 秒間)を設定します。



メニュー
カメラ機能1. .
カメラ機能2. .
カメラタイトル/アラーム. .
カメラALC/映像. .
夜間モード設定. .
▷ オートパン/パトロール/トレース. .
ポジション機能. .
データクリア. .
＜メニュー＞終了　＜セット＞下位メニュー表示

オートパン／パトロール／トレース
オートパン設定. .
オートパトロール設定. .
▷ オートトレース設定. .
映像設定(オートパン／トレース). .
リモコンオートパンキー　オートパン
リモコンオートパトロールキー　オートパトロール
＜メニュー＞戻る　＜セット＞下位メニュー表示

オートトレース設定
開始位置を設定してください
＜メニュー＞戻る　＜セット＞記録開始

オートトレース設定
記録中です　残時間：＊＊秒
＜メニュー＞戻る　＜セット＞記録終了

1. カメラを選択(☞RM-P2580「取扱説明書」)
CAMERAボタン→テンキーボタン(カメラ番号)→ENTER ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. メニュー画面を表示(☞41 ページ *2.* ～ *4.*)

メニュー画面が表示されます。

3. PAN／TILTレバーを上下に動かし、カーソル(▷)をオートパン／パトロール／トレース項目に移動し、SETボタンを押す

オートパン／パトロール／トレース 画面が表示されます。

4. カーソルをオートトレース設定項目に移動し、SETボタンを押す

オートトレース設定 画面が表示されます。

5. 開始位置の設定

PAN/TILT レバー、FOCUS, ZOOM ボタンなどでオートトレース機能の開始位置を設定します。

6. SET ボタンを押す(記録開始)

- オートトレース記録状態となりますので、PAN/TILT レバー、FOCUS, ZOOM ボタンでカメラを操作します。
- オートトレース機能は最大約30秒間記録され、その間“記録中です　残時間：＊＊秒”と表示されます。
- 約 30 秒経過後、自動的に記録は終了します。
- 30 秒以内に記録を終了する場合のみ ***7.*** を行なってください。
- 操作する内容によって、記録する時間は短くなることがあります。(最小約 10 秒)

7. SET ボタンを押す(記録終了)

- オートトレース記録状態は終了し、“記録終了しました”と表示されます。

8. MENU ボタンを押す。

オートパン／パトロール／トレース 画面に戻ります。

MEMO

- 本メニュー中はオート動作の記憶はできません。
- 本メニュー中はマニュアルパンリミット有効です。
- 本メニュー終了後、新たにマニュアルパンリミット設定されても、オートトレース動作には影響しません。
- オートトレースは、マニュアル操作を簡易的に記録しているため、再生時に位置が多少ずれることがあります。

オートトレース動作をさせるには

設定後カメラをオートトレース動作させるには、まず RM-P2580 の AUTO PAN あるいは AUTO PATROL ボタンにオートトレース機能を設定する必要があります。

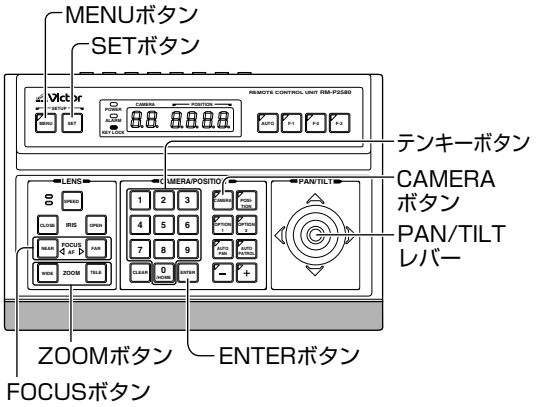
☞50 ページ「リモコンオートパンキー 項目、リモコンオートパトロールキー項目」

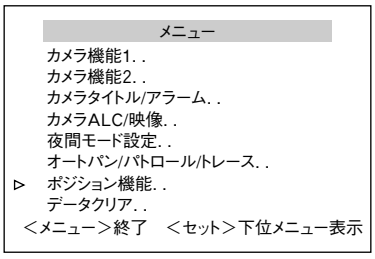
オートトレース機能を設定したボタンを押すと、ボタンランプが点灯し、オートトレース動作を開始します。オートトレース動作は動作終了後開始位置に戻り、30 秒間停止したのち繰り返し動作します。

動作を終了するには、オートトレース機能を設定したボタンをもう一度押しボタンランプを消灯させます。

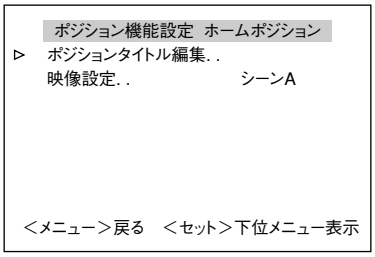
ポジションタイトル設定

ポジション選択時に表示するタイトルを設定します。
各ポジションごとに 16 文字まで設定できます。

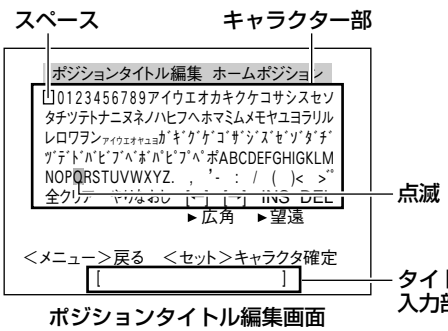




メニュー画面



ポジション機能設定画面



ポジションタイトル編集画面

1. **カメラを選択（☞RM-P2580「取扱説明書」）**
CAMERA ボタン→テンキーボタン(カメラ番号)→ ENTER ボタン

選択カメラの映像が出力されます。

2. **メニュー画面を表示（☞41ページ *2.*～ *4.*）**

メニュー画面が表示されます。

3. **PAN/TILTレバーを上下に動かし、カーソル（▷）をポジション機能 項目に移動し、SETボタンを押す**

ポジション機能設定 画面が表示されます。

4. **ポジションタイトル編集項目にカーソル（▷）があることを確認し、SET ボタンを押す**

・ポジションタイトル編集画面が表示されます。
・キャラクター部の 1 文字目が点滅し、入力状態となります。

5. **ポジションを選択(☞RM-P2580「取扱説明書」)**
POSITIONボタン→テンキーボタン（ポジション番号）→ENTER ボタン

・選択ポジションの映像が出力します。
・次のポジションは、＋ボタンでも選択できます。

6. **PAN/TILTレバーを上下左右に動かし、キャラクター部から1 文字目を選択する**

・選択文字は点滅表示します

7. **SETボタンを押す**

・タイトルの 1 文字目が確定し、2 文字目が入力状態となります。
・WIDE ボタンを押すと、タイトル入力部の点滅位置が左に移動します。設定したタイトルを修正するときに使用します。

8. ***5.*～ *7.*を繰り返す**

・次のポジションを選択するとポジションタイトルは登録されます。
・すべてのポジションにおいてタイトルを設定します。

9. **MENU ボタンを押す**

設定したポジションタイトルが保存され、上位メニューに戻ります。

その他

故障かな？と思ったら

症　　状	原　　因	処　　置
電源が入らない	● 天井取付金具の端子台へケーブル類が正しく接続されていますか？	● ケーブル類を正しく接続します。
一度電源が入るが、回転台が動作すると電源がすぐ落ちる	● 本機と電源ユニット間のケーブルに問題はありませんか？ （ケーブルが長すぎたり、細いものを使用するとケーブルの抵抗値が大きくなり回転台動作中電流が流れ電圧が低下してしまいます。）	● 電源ケーブルの抵抗値を低いもの（太いもの、短かいもの）にかえてください。

CCU接続システム（SW-2200, SW-2600）の場合

症　　状	原　　因	処　　置
映像が出ない	● CCU、電源ユニットの両方の電源が“入”となっていますか? （本機はCCU、電源ユニットの両方の電源が“入”となってはじめて映像が出力します。CCUの電源を“入”にしただけでは映像は出力しません。）	● CCU、電源ユニット両方の電源が“入”となっているか確認してください。
	● 本機と電源ユニットを接続する電源ケーブルに問題はありませんか? （電源ケーブルが長すぎたり又は細いとケーブルの抵抗値が大きくなり正しい電圧が供給されない可能性があります。）	● 抵抗値の低いケーブルを正しいケーブル長で接続してください。 （本機の動作中（定格電流が流れた状態）にて本機端子での供給電圧が定格の電圧となっていることを確認してください。）
映像の同期がみだれる	● 使用ケーブル長に応じて、設定スイッチ1,2の設定が正しく行われていますか？	● 使用ケーブル長によって**設定スイッチ**を切り換えてください。（☞11ページ）
● リモコンの操作がきかない **● リモコンの操作に対し、カメラの動作がスムーズでない** **● パン／チルトレバーの操作はできるが、メニュー画面が表示できない**	● 設定スイッチ4, 5の設定が正しく行われていますか? ● キーロック（誤操作防止）状態になっていませんか?	● スイッチを正しく設定します（☞11ページ） ● キーロックを解除します（☞ RM-P2200、もしくはRM-P2600 取扱説明書）

CCUを使用しないシステム（RM-P2580）の場合

症　　状	原　　因	処　　置
映像が出ない **電源が入らない**	● 電源ケーブルの太さは十分ですか？ ● スイッチ7は“ON”になっていますか？	● 正しい太さのケーブルを使ってください（☞16ページ） ● “ON”に設定します（☞11ページ）
● リモコンの操作がきかない **● リモコンの操作に対し、カメラの動作がスムーズでない** **● パン／チルトレバーの操作はできるが、メニュー画面が表示できない**	● 設定スイッチ 4, 5, 8 の設定が正しく行われていますか? ● キーロック（誤操作防止）状態になっていませんか? ● 制御信号ケーブルの接続は正しく行われていますか？	● スイッチを正しく設定します（☞11ページ） ● キーロックを解除します（☞ RM-P2580 取扱説明書） ● ケーブルをを正しく接続します（☞16ページ）

その他

SW-2600システムの場合

症　　状	原　　因	処　　置
映像が出ない	● SW-2600、電源ユニットの両方の電源が“入”となっていますか? （本機はSW-2600、電源ユニットの両方の電源が“入”となってはじめて映像が出力します。SW-2600の電源を“入”にしただけでは映像は出力しません。）	● SW-2600、電源ユニット両方の電源を“入”にします。
	● 本機と電源ユニットを接続する電源ケーブルに問題はありませんか? （電源ケーブルが長すぎたり又は細いとケーブルの抵抗値が大きくなり正しい電圧が供給されない可能性があります。）	● 抵抗値の低いケーブルを正しいケーブル長で接続してください。 （本機の動作中（定格電流が流れた状態）にて本機端子での供給電圧が定格の電圧となっていることを確認してください。）
SW-2600の過電流保護回路が動作し、カメラの電源が入らない （**画面に“カデンリュウを検出しました!”と表示される**）	● 天井取付金具の設定スイッチ7の設定は正しく行われていますか？	● スイッチを正しく設定します。 スイッチ7“OFF” （☞11ページ）
● リモコンの操作がきかない	● 設定スイッチ4, 5の設定が正しく行われていますか?	● スイッチを正しく設定します。 （☞11ページ）
● リモコンの操作に対し、カメラの動作がスムーズでない	● キーロック（誤動作防止）状態になっていませんか?	● キーロックを解除します。 （☞ RM-P2600 「取扱説明書」）
● パン／チルトレバーの操作はできるが、メニュー画面が表示できない	● RM-P2600のメニューでカメラタイプの設定が“通信制御カメラ”に設定されていますか？	● カメラタイプの設定を“通信制御カメラ”に設定します。 （☞ RM-P2600 「取扱説明書」）

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

● 保証期間について

保証期間はお買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容によりお買上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

● 消耗部品について

下表は消耗部品の一覧です。これらの部品の交換にともなう部品代および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。

部品名	備　考
撮像素子(CCD 等)	一年保証のみ。 追加延長保証の対象外です。
ズームレンズ組み立て スリップリング 冷却ファン	消耗部品

● 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

● メンテナンス契約のご案内

本機は、機械的可動部分を持つため定期的な保守、点検が必要です。安心してご使用いただくためメンテナンス契約されることをおすすめします。詳しくはお買い上げの販売店又は最寄りのビクターサービスにご相談ください。

● アフターサービスについてのお問い合わせ先

その他アフタサービスについてご不明の点は、お買上げ販売店又は別紙ビクターサービス窓口ご案内をご覧のうえ、最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

調子が悪いときは、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な調整で直ることがあります。それでも具合が悪いときは、お買上げ販売店又はビクターサービスにご相談ください。

・機種名：TK-S625
・故障の状態をできるだけ詳しく：
・ご購入年月日：
・ご住所、ご氏名、電話番号

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

仕様

■カメラ部

撮像素子	1/4 型、インターライン転送方式 CCD 768(H)× 494(V)
同期方式	外部同期(専用CCU からの特殊複合同期信号による), 内部同期
映像出力	CCU 接続時：専用CCU に適合 CCU 非接続時：VBS 1V(p-p)75 Ω
走査周波数	水平 15.734 kHz、垂直 59.94 Hz
S / N	50 dB(標準) (AGC モード：OFF、エンハンスレベル：－5)
水平解像度	540 本(TYP、WIDE 端)
最低被写体照度	カラー時： 3.6lx(50% 出力, AGC20 dB, WIDE 端) 1.8lx(25% 出力, AGC20 dB, WIDE 端) 白黒時： 0.15 lx(50% 出力, AGC 20 dB, WIDE端)
ホワイトバランス	TTL 自動追尾／手動
電子シャッター	1/60 秒(標準)1/100 秒(50 Hz フリッカーレス), 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000
逆光補正	可、測光エリアは 4 ヵ所を選択可
カラーレベル調整	可
輪郭補整	水平、垂直両効き(レベル調整可)

■レンズ部

ズーム比	約 12 倍
焦点距離	3.8 mm ～ 45.6 mm
最大口径比	F1.6(WIDE)～ F2.7(TELE)

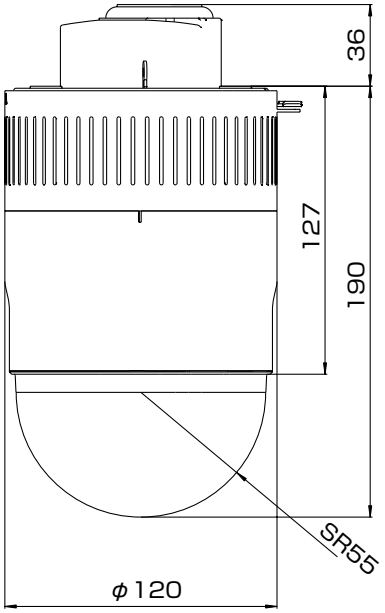
■回転台部

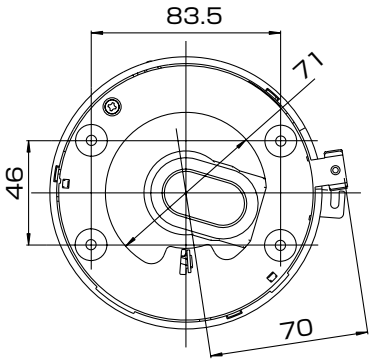
水平回転範囲	360° エンドレス回転
水平回転速度	1.5° / 秒～ 180° / 秒
垂直回転範囲	0° ～ 90°(水平～垂直)
垂直回転速度	1° / 秒～ 120° / 秒

■総合

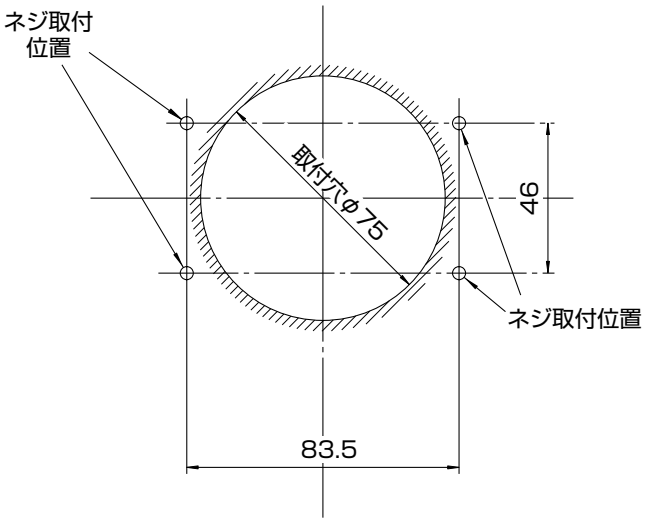
電源	AC24 V 20 W (CCU : DC15 V～DC21 V, 28 mA)
プリセットポジション数	32
適合コントロールユニット	RM-P2200,RM-P2580, RM-P2600
周囲温度	－ 10 ℃～ 50 ℃(動作) 0 ℃～ 40 ℃(推奨)
湿度	35%～ 90%RH(結露なきこと)
質量	1.3 kg
添付物・付属品	取扱説明書 ..... 1 安全上のご注意 ..... 1 保証書 ..... 1 ビクターサービス窓口案内 ..... 1 天井取付金具 ..... 1 テンプレート 1

■ 外形寸法図［単位：mm］





■ 天井取付穴［単位：mm］



※本機ならびに関連商品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

TK-S625　コンビネーションカメラ（ドーム型）

お客様ご相談センター

フリーダイヤル
0120－2828－17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話 (045)450-8950［代表］
FAX (045)450-2275
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

日本ビクター株式会社

プロシステムカンパニー

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　　電話（0426）60-7203

© 2005 Victor Company of Japan, Limited

LWT0253-001A-H